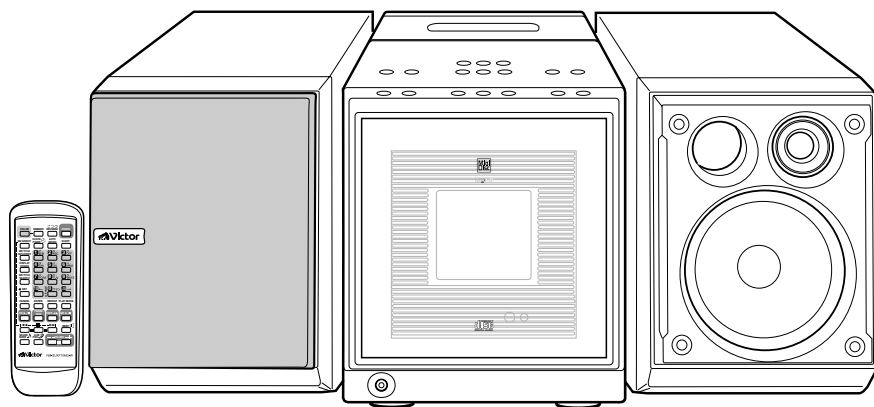
取扱説明書

マイクロコンポーネントMDシステム

型 名 UX-F70MD UX-NDL21

＊外観のデザインは色によって異なります。

● もくじは 2 ページにあります。

お買いあげいただき、ありがとうございます。

⚠ご使用の前に

この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に 3 ～ 6 ページの「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

GVT0061-001C

目　次

はじめに　ページ

準　備　ページ

聞　く　ページ

録音する　ページ

編集する　ページ

タイマーを使う　ページ

知っておいてほしいこと　ページ

安全上のご注意 ーはじめにお読みくださいー

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。
絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

⚠ 注意

この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

はじめに

注意をうながす記号

一般的注意

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

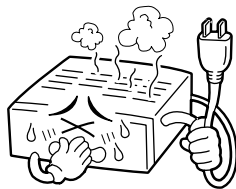
行為を指示する記号

一般的指示

電源プラグを抜く

⚠ 警告

万一、次のような異常が発生したときはすぐ使用をやめる。

- 煙が出ていたり、へんなにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ってしまったとき
- 落としたり、破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

電源プラグを抜く

すぐに電源を「切」にし、電源プラグをコンセントから抜く。

異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

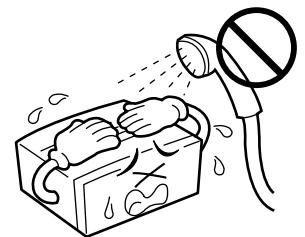
分解や改造をしない。カバーを外さない。

火災や感電の原因となります。内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

分解禁止

風呂場やシャワー室では使用しない。

本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。

水場での使用禁止

⚠ 警告

本機の中に物を入れない。

通風孔やディスク挿入口などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。

特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

電源コードを傷つけない。

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。特に、次のことに注意してください。

- 電源コードを加工しない
- 電源コードを無理に曲げない
- 電源コードをねじらない
- 電源コードを引っ張らない
- 電源コードを熱器具に近づけない
- 電源コードの上に家具などの重い物をのせない

電源プラグは、根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全ですと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。

また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

電源プラグは定期的に清掃する。

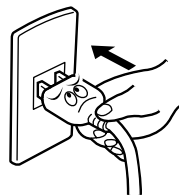
電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取ってください。

本機の上に水の入った容器を置かない。

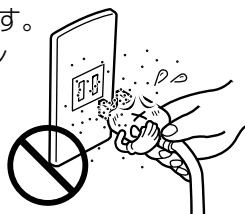
花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など水の入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

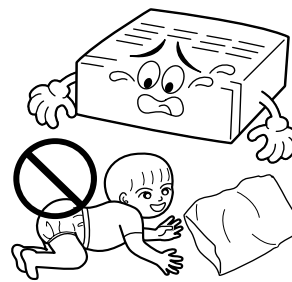
雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。

感電の原因となります。

接触禁止

表示された電源電圧（交流 100 ボルト）で使用する。

火災の原因となります。本機を使用できるのは日本国内のみです。

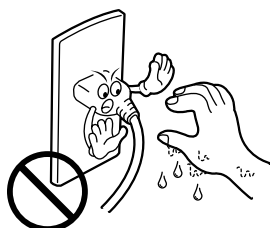
This set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。

頭からかぶると窒息の原因となります。

⚠ 注意

電源プラグは、コードの部分を持って抜かない。

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

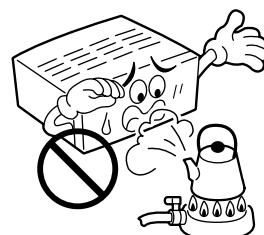
感電の原因となることがあります。

通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所で使用しない。

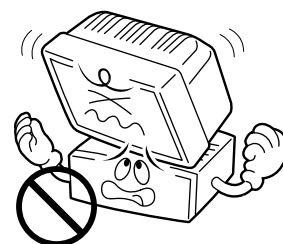
本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

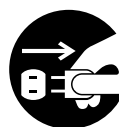
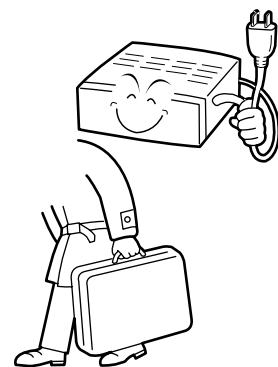
- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロスを掛けない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 設置するときは、壁などから10 cm以上離す

置き場所に注意する。

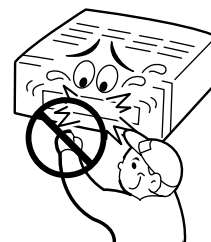
次のような所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる所
- 湿気やほこりの多い所
- 熱器具の近くなど高温になる所
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所

本機の上に重い物を置かない。

テレビなどの重い物や本機からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。

可動部の作動中には無理な操作を加えない。

一つの動作が終了してから、次の操作に移ってください。誤動作や故障の原因となることがあります。

はじめに

⚠ 注意

お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

移動するときは、接続コード類や電源プラグを抜く。

接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

はじめから音量を上げすぎない。

突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。

電源を切る前に音量（ボリューム）を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないようにする。

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響をおよぼすことがあります。

ディスク挿入口に、手を入れない。

けがの原因になることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。

手を挟まれないよう注意

3年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。

内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。

電池の取り扱いに注意する。

電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災･けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。

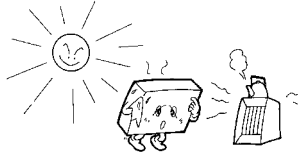
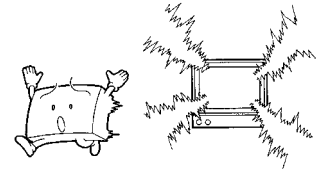
- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス⊕とマイナス⊖を間違えない
- 電池のプラス⊕とマイナス⊖をショートさせない
- 電池を加熱しない
- 分解しない
- 火や水の中に入れない
- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池と混ぜて使用しない
- 乾電池は充電しない
- 長期間使わないときは、電池を取り出しておく

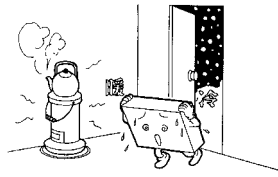
もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよく拭きとってください。万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

使用上のご注意 ーはじめにお読みくださいー

本機やCD、MD、テープの置き場所について

故障などを防止するために、次のような場所には置かないでください。
本機の使用環境温度は、3 ～ 35˚C です。この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となることがあります。

- 湿気やほこりの多い所
- 風通しの悪い狭い場所

- 直射日光の当たる所
- 熱器具の近く

- テレビや他のアンプ、チューナーなどのすぐそば
- バランスの悪い不安定な所

- 極端に寒い所

- 寒い所から急に暖かい部屋へ移動した後しばらくの間

- 磁気を発生する所
- OA機器やけい光灯のすぐそば
- 振動の激しい所

ステレオを聞くときのエチケット

ヘッドホンをご使用になるときには、耳を刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

■ ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。
特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓を閉めたりヘッドホンをご使用になるなどお互いに気を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

露がついたら

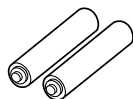
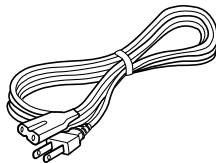
次のようなとき、本機のレンズに露（水滴）が付いて正しく演奏できない場合があります。

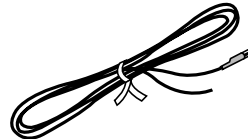
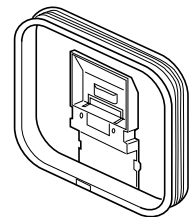
- 暖房を始めた直後
- 湯気や湿気の多いところに置いてあるとき
- 冷えた所から急に暖かい部屋に移動したとき

このようなときは、電源を「入」にしたまま約1～2時間待ってから、ご使用ください。

付属品の確認

お使いになる前に、付属品をお確かめください。
不足しているものがありましたら、お買い上げの販売店にご連絡ください。

リモコン
RM-SUXF70MD-W
（1個）

リモコン用
単3形乾電池
（動作確認用、2 本）

電源コード
（1本）

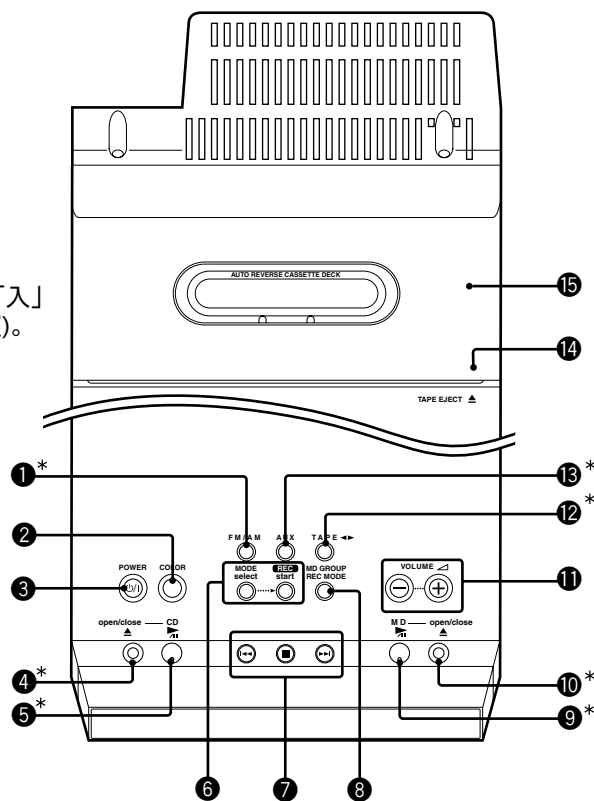
スペーサー
（2 個）

FM簡易型アンテナ
（1本）

AMループアンテナ
（1個）

- この製品には付属品の他に、取扱説明書(本書)や保証書が添付されています。

はじめに

各部の名前と働き —□内の数字のページに説明があります—

本体上部

＊ 印のボタンを押すと電源も「入」になります(➡ 15 ページ参照)。

❶ FM/AM ボタン* 15 20～22
ソース(音源)をラジオ放送にするとき使います。
放送を受信中に押すと、FMまたはAMに切り換わります。

❷ COLOR ボタン 14 17 18
電動パネルの照明を切り換えるとき使います。

❸ POWER (電源) ボタン 15 61
電源を「入/切」するとき使います。
「入」のとき本体前面のPOWER (電源)ランプ(⓴)が点灯します。

❹ CD open/close ▲ (CD取出し) ボタン* 23
CDを出し入れするとき使います。
電動パネルが上がりCDトレイが出てきます。

❺ CD ►/❚❚ ボタン* 15 23～27 39 43
ソース(音源)をCDにするとき使います。
CD演奏中に押すと、一時停止になります。

❻ 録音ボタン(2つのボタンを続けて操作します)
MODE select ボタン 39～43
録音方式を選ぶとき使います。
REC (録音) start ボタン 39～43
録音を始めるとき使います。

❼ I◄◄、■、►►I ボタン
CD、MD、テープの早送り、早戻し(巻戻し)、頭出し、停止、時刻やタイマーの設定、MDの編集などに使います。

❽ MD GROUP REC MODE ボタン 39
録音と同時にMDグループを作るとき使います。

❾ MD ►/❚❚ ボタン* 15 28～34
ソース(音源)をMDにするとき使います。
MD演奏中に押すと、一時停止になります。

❿ MD open/close ▲ (MD取出し) ボタン* 28
MDを出し入れするとき使います。
電動パネルが下がりMD挿入口が現れます。
MDが入っているときは、MDが取り出せます。

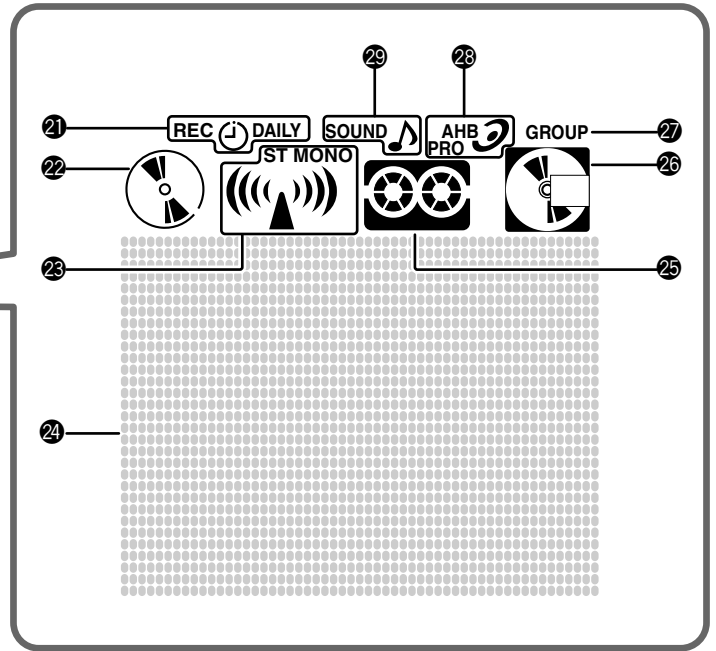
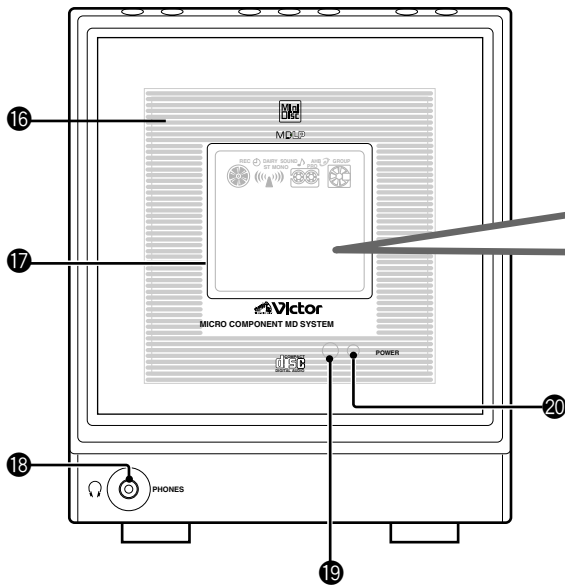
⓫ VOLUME (音量調節) +/– ボタン 19
「VOL MAX」(最大)～「VOL MIN」(最小)までの41段階に音量が調節できます。

⓬ TAPE ◄ ► ボタン* 15 35
ソース(音源)をTAPEにするとき使います。
テープ再生中に押すと、テープの走行方向(順方向/逆方向)を変えることができます。

⓭ AUX (外部機器) ボタン* 15 36
ソース(音源)をAUXにするとき使います。

⓮ テープ取出し部 35

⓯ カセットホルダー

本体正面と表示窓

本体正面

⑯ 電動パネル
CDやMDを出し入れするときに電動で開閉します。
MDを入れると、自動的に閉まります。

⑰ 表示窓
演奏中や録音中、操作中にさまざまな情報を表示します。

⑱ PHONES(ホーンズ) (ヘッドホン) 端子
ヘッドホン(別売り)をつなぎます。プラグを接続するとスピーカーから音は出なくなります。

⑲ リモコン受光部

⑳ POWER(パワー) (電源) ランプ
電源が「入」のとき点灯します。

表示窓

㉑ タイマー表示 [57]～[61]
REC(レック) ⏲ :録音タイマー表示
⏲ DAILY(デイリー) :目覚ましタイマー表示

㉒ CD 動作表示
演奏中は、ディスクが回転しているアニメーションに変わります。

㉓ 放送受信表示とFM 放送受信モード表示 [20]
ラジオ放送を選んでいるとき、電波を受信しているアニメーションに変わります。
ST :FMステレオ放送を受信中、自動的に表示されます。
MONO :モノラル受信を選んだとき表示されます。

㉔ 情報表示部
タイトル名、グループ、曲(トラック)番号、録音･演奏時間など、さまざまな情報を表示します。

㉕ テープ 動作表示
再生中や録音中は、テープが回転しているアニメーションに変わります。
テープが入っていないときは、消えます。

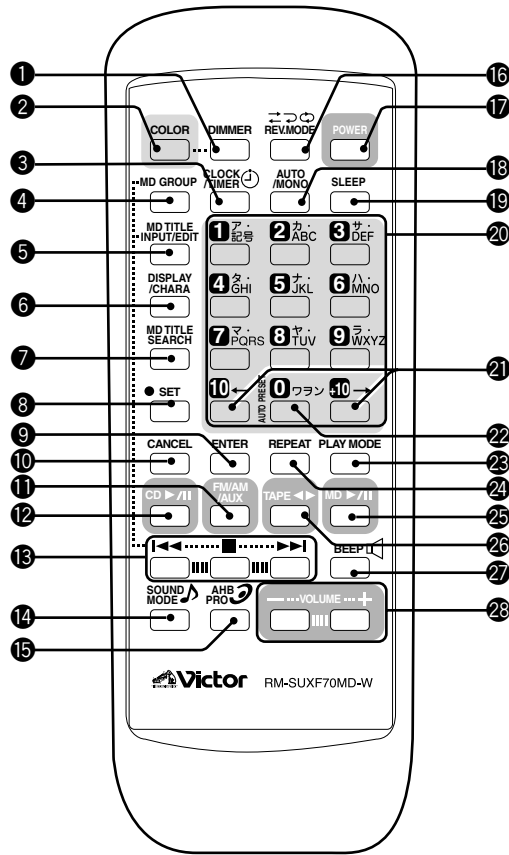
㉖ MD 動作表示
演奏中や録音中は、ディスクが回転しているアニメーションに変わります。
MDが入っていないときは、消えます。

㉗ GROUP(グループ) 表示 [39]
グループ機能が「入」のときに表示されます。

㉘ AHB PRO(アクティブハイパーバスプロ) 表示 [19]
重低音を強調するモードのとき表示されます。
リモコンの**AHB PRO**ボタンで設定します。

㉙ SOUND(サウンド) 表示 [19]
音楽のジャンルに合わせて音域を設定するとき使います。
リモコンの**SOUND MODE**ボタンで設定します。

各部の名前と働き（つづき）

リモコン（RM-SUXF70MD-W）

❶ DIMMER ボタン 16 18

電動パネルの照明を暗くするとき使います。
電源「切」のとき時刻を確認するのに使います。

❷ COLOR ボタン 14 17 18

電動パネルの照明を切り換えるとき使います。

❸ CLOCK/TIMER ボタン 16 58 60

時計、DAILYタイマー、RECタイマーを設定するとき使います。

❹ MD GROUP ボタン 33 44 48〜52

MDのグループ編集をするとき使います。

❺ MD TITLE INPUT/EDIT ボタン 44 47〜56

MDを編集するとき使います。

❻ DISPLAY/CHARA ボタン 20 24 29 34 39 43 45

表示窓の表示を切り換えたり、文字を入力するとき使います。

❼ MD TITLE SEARCH ボタン 34

MDのタイトルを検索するとき使います。

❽ SET ボタン

❾ ENTER ボタン

❿ CANCEL ボタン

⓫ FM/AM/AUX ボタン 15 20〜22 36

ラジオ放送またはAUXを選択するとき使います。押すごとに、「FM」、「AM」、「AUX」の順に切り換わります。

⓬ CD ►/II ボタン* 15 23〜27 39 43

⓭ I◄◄、■、►►I ボタン

⓮ SOUND MODE ボタン 19

音楽のジャンルに合わせて音域を設定するとき使います。

⓯ AHB PRO ボタン 19

重低音を強調するとき使います。

⓰ REV. MODE ボタン 35

テープのリバースモードを変えるとき使います。

⓱ POWER (電源) ボタン 15 61

⓲ AUTO/MONO ボタン 20

FMステレオ放送をモノラルに切り換えるとき使います。

⓳ SLEEP ボタン 57

おやすみタイマーの設定に使います。

⓴ 数字ボタン (0〜10、+10)

CDやMDのダイレクト選曲や、FM/AM放送のプリセット選局、MDの編集などに使います。

㉑ ←、→ ボタン 17 18 34 44 45 54

MDの編集や電動パネルと表示窓の照明の設定に使います。

㉒ AUTO PRESET ボタン 21

㉓ PLAY MODE ボタン 26 27 31〜33

CDやMDのプログラム演奏、ランダム演奏をするとき使います。

㉔ REPEAT ボタン 25 30

CDやMDをくり返し演奏するとき使います。

㉕ MD ►/II ボタン 15 28〜34*

㉖ TAPE ◄ ► ボタン 15 35*

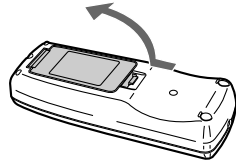
㉗ BEEP ボタン 19

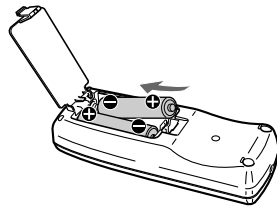
操作確認音を出すかどうかを設定するとき使います。

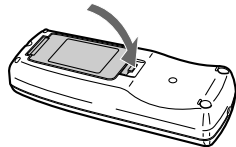
㉘ VOLUME (音量調節) +、– ボタン 19

リモコンの準備

単３形の乾電池２本をリモコンに入れます。

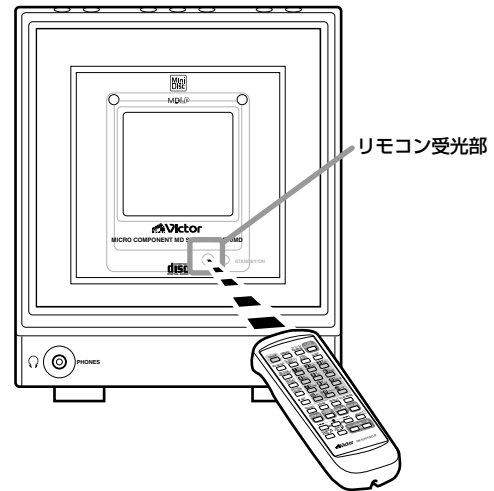
1 裏ぶたをあける

2 乾電池を入れる

単3形乾電池を2本入れます。
リモコン内部の表示に極性を合わせ、⊕/⊖を正しく入れてください。

3 裏ぶたをしめる

「カチッ」と音がしてしまります。

ご注意

- 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
- 一度使用した電池と新しい電池を混ぜて使用しないでください。
- 種類の違う電池と混ぜて使用しないでください。
- 長期間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。液漏れなどの原因となります。

リモコンの操作

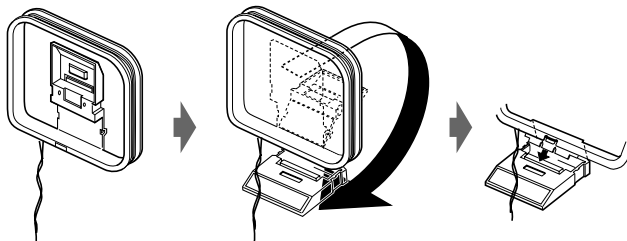
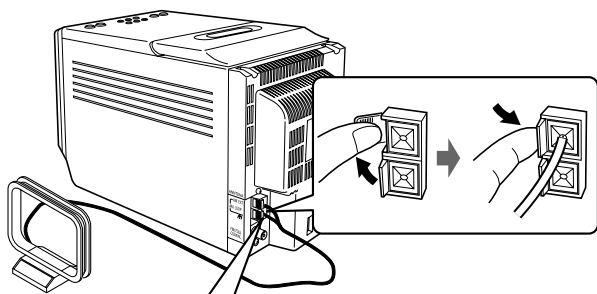
リモコンを使うときは、本体正面に向けて正しく操作してください。極端に斜めの方向から操作したり手前に障害物があると、信号が届かなくなります。

- 操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったときは、新しい乾電池と交換してください。
交換するときは、2本とも同じ種類の新しい単3形乾電池と交換してください。
- リモコンを落としたり、強い衝撃をあたえないでください。

アンテナの接続

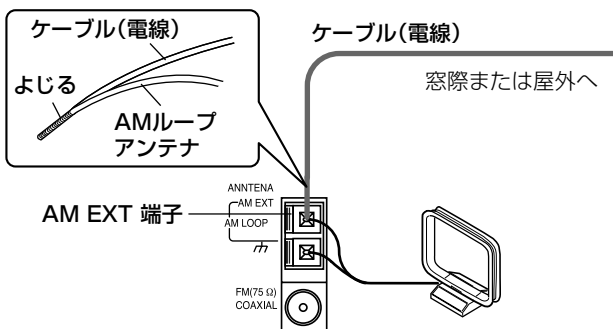
FM/AM放送を聞くために、アンテナを接続します。
アンテナの設置場所を決めるときは、実際の放送を聞きながら行ってください。

AMアンテナを接続する

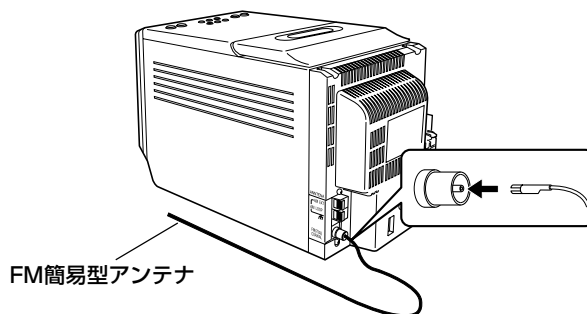
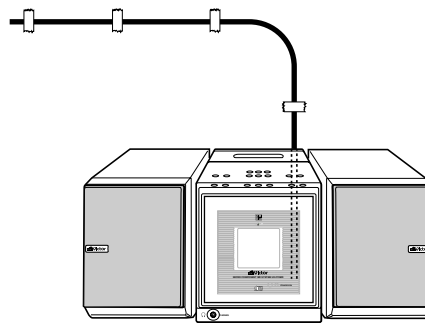
AMループアンテナ(付属品)を接続する

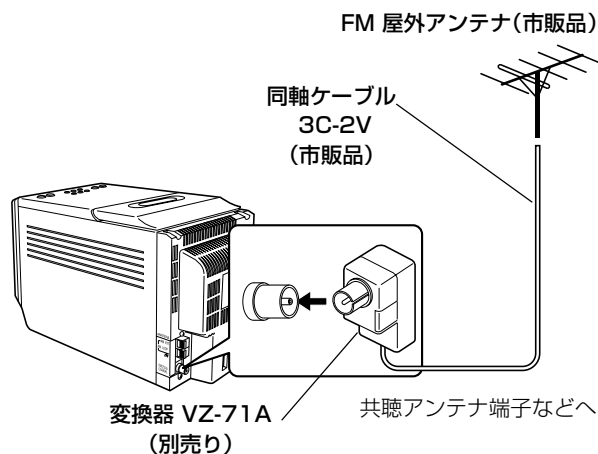
- まずAMループアンテナを組み立てます。
  台になる部分を回転させて差し込みます。

- 次に、組み立てたAMループアンテナを本体のAM LOOP端子に接続します。

- 接続したAMループアンテナを左右に回して最も受信状態の良い方向に向けて置きます。
  本体からできるだけ離して置いてください。
  - AMループアンテナは、金属製の机の上やテレビ、パソコンなどの近くに置かないでください。受信感度が悪くなります。

AMループアンテナではうまく受信できないとき

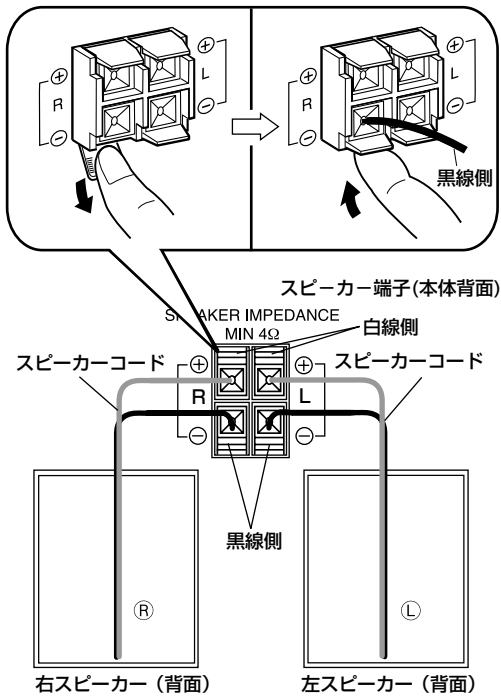
AM EXT端子に3〜5 mのケーブル（電線：市販品)を接続し、窓際や屋外になるべく高く水平に張ります。
このとき、AMループアンテナも一緒に接続しておいてください。

FMアンテナを接続する

FM簡易型アンテナ(付属品)を接続する

- FM簡易型アンテナを本体に接続します。

- 接続したFM簡易型アンテナは、最も受信状態の良い位置と方向にまっすぐ伸ばしてセロハンテープなどで固定します。

付属のアンテナでうまく受信できないときやマンションなどの壁の共聴アンテナ端子を使うとき

市販の同軸ケーブルと変換器(別売り)を用意してください。

スピーカーの接続

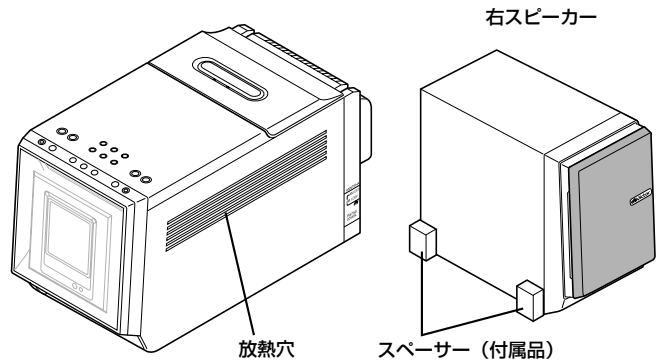
スピーカー背面のラベル Ⓛ(左)とⓇ(右)表示にしたがって、左右のスピーカーコードを本体のスピーカー端子(LとR)に正しく接続します。

- スピーカーコードの白線側を⊕に、黒線側を⊖に接続します。
- 本機に接続できるスピーカーのインピーダンスは、4～16 Ω です。

ご注意

- スピーカーコードの白線と黒線を逆に接続したり、左右を逆に接続したりすると、ステレオ感や音質がそこなわれますのでご注意ください。
- スピーカー端子の⊕と⊖をショートさせないでください。故障の原因となります。
- 本機のスピーカーは、防磁設計(EIAJ仕様)にはなっておりません。テレビの近くに設置すると色ムラを生じることがあります。テレビとは10 cm以上離して設置してください。

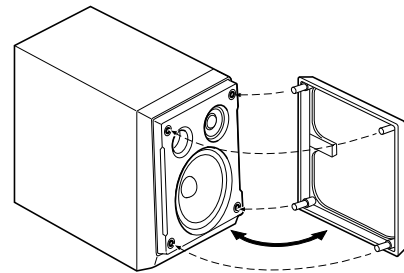
スピーカーの設置

スピーカーを本体と並べて設置するときは、本体右側の放熱穴をふさがないように、右スピーカー側面にスペーサー（付属品）を2個取り付けてください。本体が熱くならないように、スピーカーと本体をできるだけ離して設置することをお勧めします。

スペーサーは、はく離紙をはがして下図のように取り付けてください。

ご注意

- 本体右側に本をたてかけたりして、放熱穴をふさがないでください。

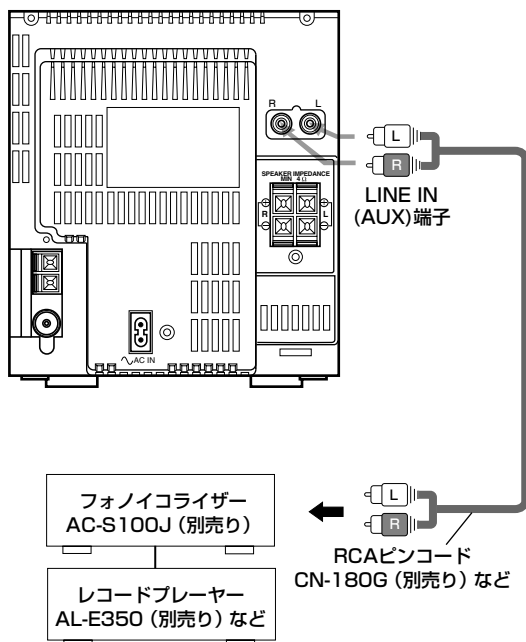
サランネットの外しかた

お手入れのときなど、スピーカー保護用のサランネットを取り外すことができます。

- 左右上端を軽く押さえ、手前に引いて外してください。再び取り付けるときは、突起部を合わせて軽く押し込みます。

他の機器の接続

外部のオーディオ機器を接続して、それらの演奏を楽しむことができます。

- ご使用になる機器の取扱説明書をよくお読みになり、正しく接続してください。

接続例

お知らせ

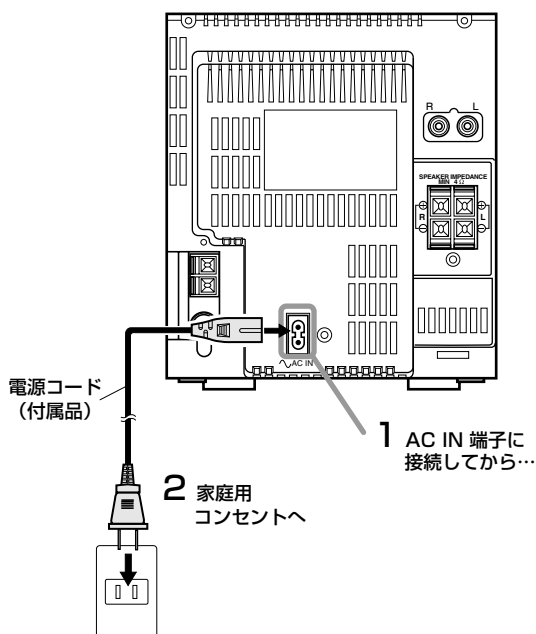
- デジタルオーディオ機器やBS/CS放送からの録音はアナログ方式となります。

電源コードの接続

すべての接続が終わったことを確認してから接続します。

1 本体背面の∿AC IN端子に電源コードを差し込む

2 電源コードを家庭用コンセントへ接続する

電源コードを家庭用コンセントへ接続すると、電動パネルの照明が無作為に変わるランダム(COLOR RANDOM)になります。止めるときは COLORを押します。

家庭用コンセント
AC 100 V、50 Hz/60 Hz

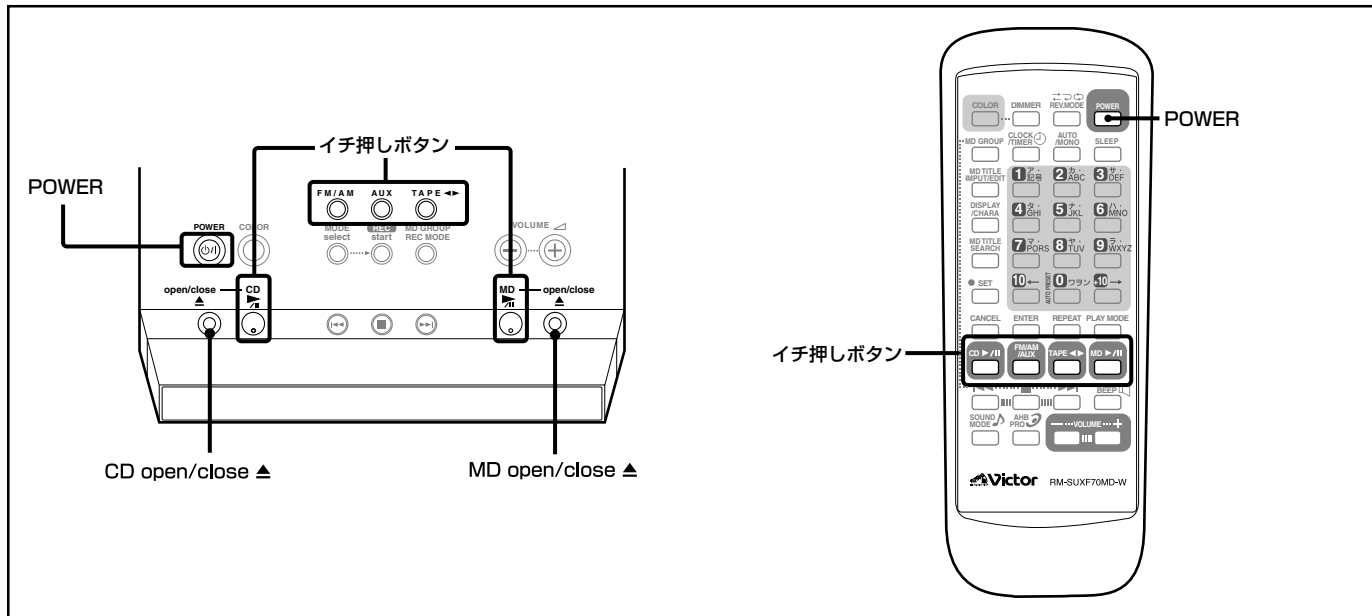
ご注意

- 形状の違いによる故障や事故を防止するため、指定以外の電源コードは絶対に使用しないでください。

お知らせ

- 長期間使用しないときは、コンセントから電源コードを抜いておき安全および節電に心がけてください。
- 電源コードを紛失したり電源コードが断線したときは、お買い上げの販売店で別売りの電源コード(CN-325A)をお買い求めください。

電源の「入/切」について

準備

電源を「入」にするには

POWER(電源)を押します。
POWER(電源)ランプが点灯します。

- 前回、使い終わったときのソース(音源)で電源が**「入」**になります。
- イチ押しボタンを使うこともできます。

電源を「切」にするには

POWER(電源)を押します。
POWER(電源)ランプが消えます。
電動パネルと表示窓の照明も消え、現在時刻が表示されます。

- CDトレイまたはMD挿入口が見えているときは、トレイが中に入り電動パネルが自動的に閉まります。

＊ **以後、本書では主にリモコンを使った操作を説明します。本体のボタンで、リモコンのボタンと同じ名前や似た記号のボタンは、同じ働きをします。また、本体だけのボタンのときは、本体で説明します。**

お知らせ

- 電源が**「切」**のときに**COLOR**を押すと、電動パネルの照明はランダム(COLOR RANDOM)となります。

イチ押しボタンを使う

電源が**「切」**のとき、下表のボタンを押すだけで電源が**「入」**になり、ソース(音源)も切り換わります。

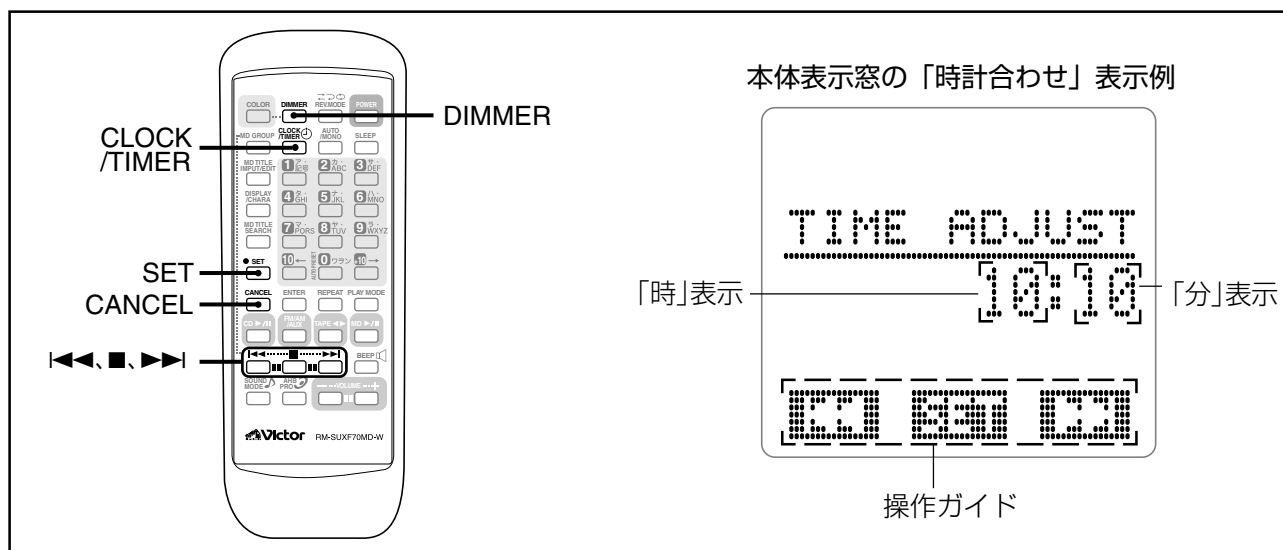
本　体	リモコン	ソース(音源)	動　　作
CD	CD ►/II	**CD**	**CD**が入っていると、演奏が始まります。
MD	MD ►/II	**MD**	**MD**が入っていると、演奏が始まります。
TAPE ◄►	TAPE ◄►	**テープ (TAPE)**	**テープ**が入っていると、演奏が始まります。
FM/AM	FM/AM /AUX	**ラジオ放送 (FM/AM)**	電源を切る前の放送局を聞くことができます。
AUX	FM/AM /AUX	**AUX**	LINE IN(AUX)端子に接続した機器の音声を聞くことができます。

お知らせ

次の2つのボタンは本体のみで操作できます。

- **CD open/close ▲**を押すと電源が入り、CDトレイが出てきますが、ソース(音源)は切り換わりません。
- **MD open/close ▲**を押すと電源が入り、MD挿入口が現れますが、ソース(音源)は切り換わりません。

時計を合わせる

時計(24時間表示方式)を現在時刻に合わせておきます。正しく設定しないとタイマー機能を使うことができません。
- 電源が**「入/切」**どちらの状態でも設定できます。

例:午前10時10分に合わせるとき

1 CLOCK/TIMERを押して「TIME ADJUST」を表示させる

0:00

「時」の表示が点滅します。

- 時計が設定されていないときは、「**0:00**」と表示され、「**0**」が点滅します。

2 ⏭(または ⏮) をくり返し押して「時」を合わせる

- ボタンを押し続けると、「時」の表示は連続的に変わります。

3 SETを押す

10:00

「時」が設定され、「分」の表示の点滅に変わります。

- 「時」を修正するときは、**CANCEL**を押します。「時」の点滅表示に戻ります。

4 ⏭(または ⏮) をくり返し押して「分」を合わせる

- ボタンを押し続けると、「分」の表示は連続的に変わります。

5 SETを押す

10:10

「時刻」が設定されます。電源が**「入」**のときに設定したときは、およそ2秒でソース(音源)の表示に戻ります。

時刻を正確に合わせるには

テレビ放送の時刻表示や電話の時報案内などを利用してください。時報などに合わせて、手順**5**で**SET**を押すと、正確に合わせることができます。

時刻を音で確認する

本機には「**BEEP ON**」(➡ 19ページ「確認音を設定する」参照)のとき、時刻を音でお知らせする機能があります。
電源**「切」**のときに操作します。

DIMMERを押す

電動パネルの照明が点灯します。
時刻を4ケタの数とみなして、千の位から一ケタずつ「**ド、ミ、ソ、ド**」のように音を変えながら、各位の数を音の回数でお知らせします。

- 音の種類は3種類あります。
  - **長い音**　:「0」を示します
  - **短い音**　:「1〜4」を示します
  - **短い連続5音**:「5」を示します。「6」以上は、この音の後に**短い音**が続きます。

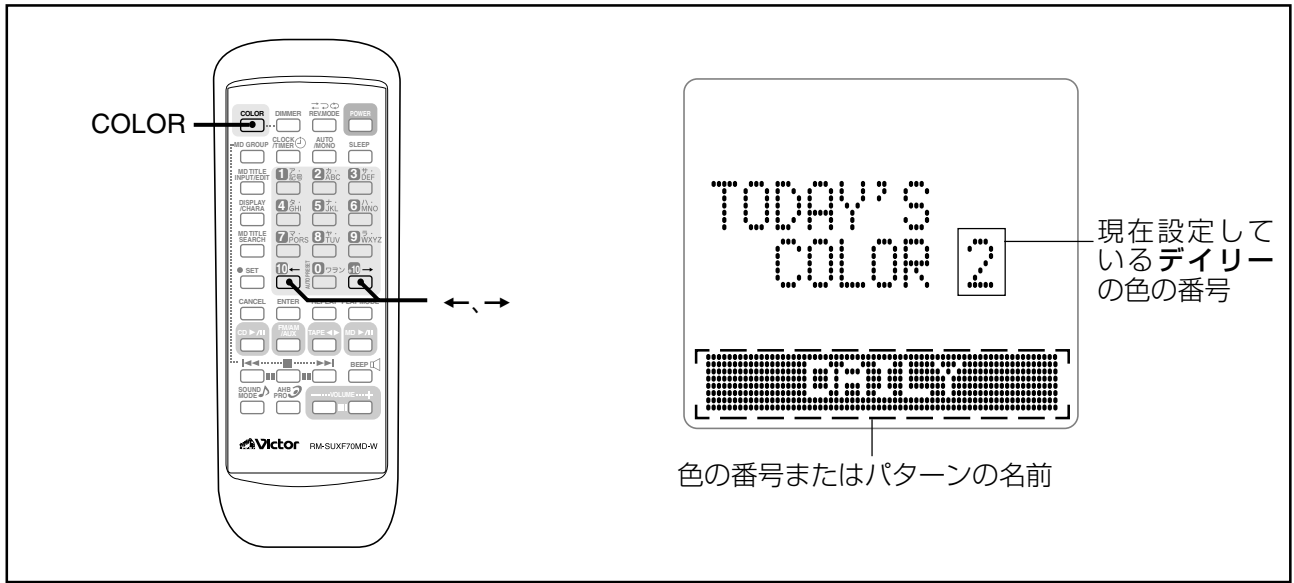
例:時刻表示が「9:35(午前9時35分)」のとき
4ケタの数「0935」とみなします。
「0」・・・長い音　(ド)
「9」・・・短い連続5音+短い音4回　(ミ)
「3」・・・短い音3回　(ソ)
「5」・・・短い連続5音　(ド)

ご注意

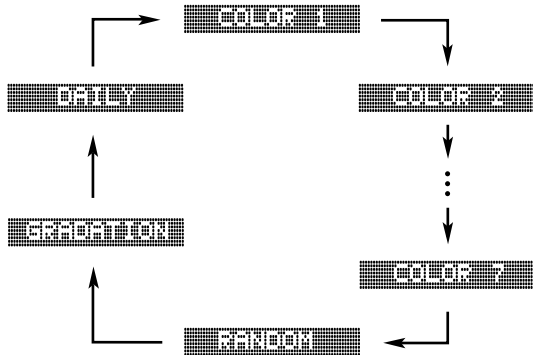
- この時計は、月に1分程度のズレを生じることがあります。タイマー操作をするときは、事前に時刻を設定し直してください。
- 電源コードを外したり停電などで電源が切れたときは、「**0:00**」表示に戻ったり、時計が止まったりします。もう一度正しい時刻に合わせ直してください。

照明を調節する

本機では、電動パネルの照明を調節することができます。また、お好みに合わせて色を調節することもできます。
• 電源が**「入」**の状態で操作します。

準備

照明の色またはパターンを選ぶ

COLORを押す

現在設定している色の番号またはパターンの名前が表示されます。
• ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

「COLOR 1 ～ COLOR 7」（カラー）

お好みの色を選べます。
番号ごとに色の調節をすることができます（➡ ⑱ページ「色の調節をする 」参照）。
• COLOR 1からCOLOR 7までの7色が、RANDOM（ランダム）とDAILY（デイリー）で使われます。

「RANDOM（ランダム）」

およそ2秒ごとにランダムに色を切り換えます。

「GRADATION（グラデーション）」

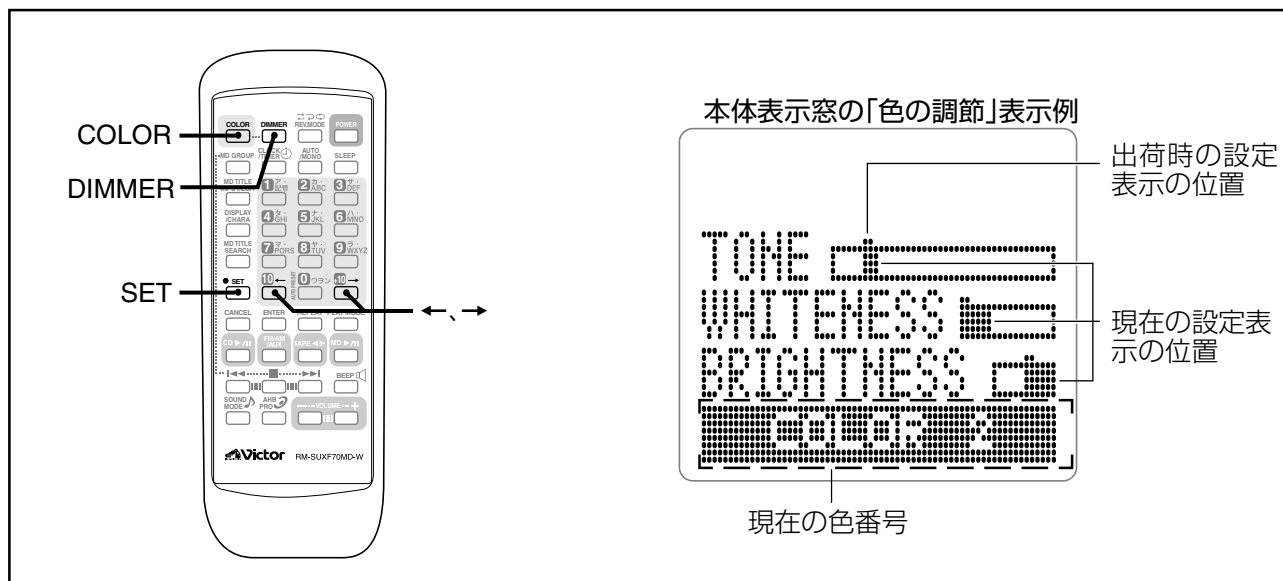
およそ10秒ごとに徐々に色を切り換えます。

「DAILY（デイリー）」

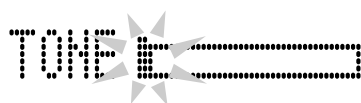
1日ごとに色を切り換えます。
1日に1回、本機の時計が「0:00」になるごとに、COLOR 1からCOLOR 7までの色を番号順に切り換えます。
毎週同じ曜日に同じ色を表示させることができます。
• 時計が設定されていないと、働きません。

「DAILY」が表示されているとき、➡（または⬅）をくり返し押して、はじめ（今日）の色番号を選ぶことができます。

（例）今日COLOR 5を選んだとき、明日以降の色の番号は
「6」→「7」→「1」→「2」→ ･･･
と切り換わっていきます。

表示させたい照明の色またはパターンが決まったら、そのまましばらく待ちます。およそ8秒で、通常のモードに戻ります。

色の調節をする

1 COLORをくり返し押して「COLOR1」から「COLOR7」のうち調節したい番号を選ぶ

「TONE（色調）」の設定表示が点滅します。

2 →(または←)をくり返し押して登録したい「TONE(色調)」を調節する

ボタンを押すごとに、色調が切り換わります。
「TONE(色調)」は14段階あります。

- およそ8秒間ボタンを押さないでいると、通常のモードに戻ります。

3 SETを押す

「WHITENESS（濃淡）」の設定表示が点滅します。

4 手順2、3をくり返して「WHITENESS（濃淡）」と「BRIGHTNESS（明るさ）」を調節する

- 「WHITENESS（濃淡）」は3段階、「BRIGHTNESS（明るさ）」は2段階の調節ができます。

調節をやめるときは、そのまましばらく待ちます。およそ8秒で、通常のモードに戻ります。

一時的に照明を暗くする（ディマー機能）

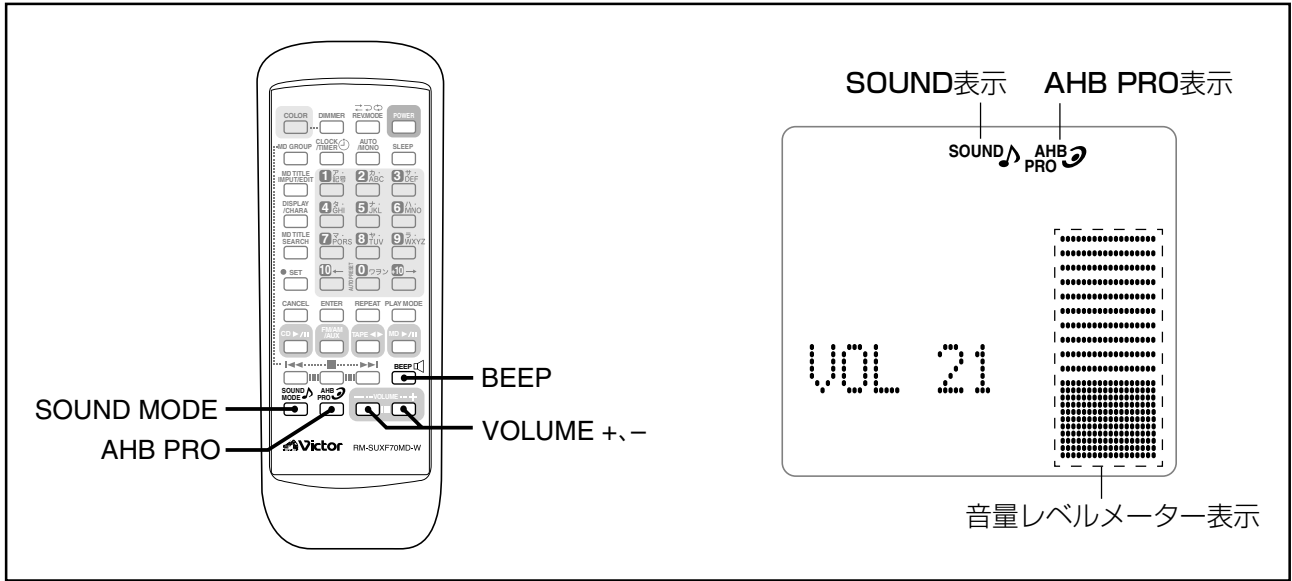
DIMMERを押す

電動パネルの照明が暗くなります。
もう一度押すともとに戻ります。COLORを押しても、もとに戻ります。

ご注意

- 設定した照明の色は、いつも正確に同じ色になるとは限りません。製品の使用環境（室内温度など）や長期間の使用による変化などのため、色合いが異なって見えることがあります。
- ディマー機能と合わせて使う場合、同じ設定でも多少異なった色合いに見えることがあります。これは故障ではありません。

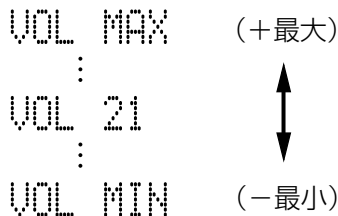
音を調節する

ご使用になる環境やソース(音源)に応じて、音量や音質の設定をします。
• 電源が「入」の状態で操作します。

音量を調節する

VOLUME ＋または－を押して音量を調節する

VOLUME ＋または－を押すごとに、音量が41段階で調節できます。
次のように表示されます。

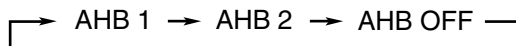
（＋最大）

（－最小）

重低音を強調する

重低音を強調したいときや小さな音量で聞くときに使います。

AHB PRO*を押す

現在の設定が現れます。
• ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

→ AHB 1 → AHB 2 → AHB OFF →

「AHB 1」または「AHB 2」を選ぶと、AHB PRO表示が点灯します。

AHB 1　：小さな音量で重低音を楽しむとき
AHB 2　：よりクリアで迫力ある重低音を楽しむとき
AHB OFF　：（解除）AHB PRO表示は消えます。

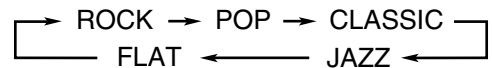
*AHB PRO　：Active Hyper Bass PRO（アクティブ ハイパー バス プロ）の略字で、クリアで迫力ある重低音が楽しめます。

サウンドモードを選ぶ

音楽のジャンルに合わせて音域を設定することができます。

SOUND MODEを押す

現在の設定が現れます。
• ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

FLAT ← JAZZ ←

「FLAT」を除くいずれかを選ぶとSOUND表示が点灯します。

ROCK　：低音と高音を強調した設定
POP　：ボーカルやナレーションに向いた設定
CLASSIC　：高音を強調した設定
JAZZ　：ライブの臨場感を強調した設定
FLAT　：（解除）SOUND表示は消えます。

確認音を設定する

本機では、ボタン操作をするごとに、「ピッ」「ピピッ」などの確認音がなります。確認音はならないように設定することができます。

BEEP を押す

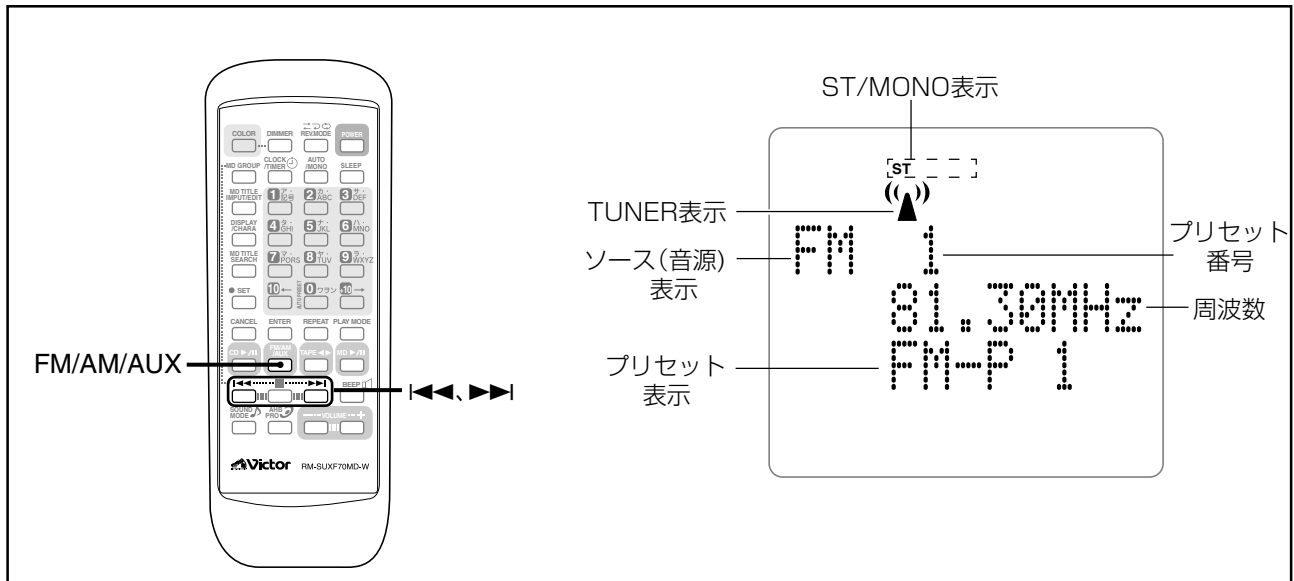
現在の設定が現れます。
• ボタンを押すごとに、「BEEP ON」と「BEEP OFF」が切り換わります。

BEEP ON　：確認音がなります。
BEEP OFF　：確認音はなりません。

お知らせ

• VOLUME ＋、－、AHB PRO、SOUND MODEの効果は、スピーカーやヘッドホンの音に効きます。録音される音には影響がありません。

ラジオ放送を聞く

FMまたはAMのラジオ番組を受信することができます。

オート選局/マニュアル選局

放送局を選ぶ方法には、**オート選局**と**マニュアル選局**があります。

1 FM/AM/AUX(本体では FM/AM)を押して FM または AM を選ぶ

電源が「**入**」になります。

- 押すごとに上のように切り換わります(本体の**FM/AM**を押すと、FMとAMが切り換わります)。

2 ⏭(または ⏮)を押して放送局を選ぶ

2つの選局方法があります。

オート選局 ：⏭(または⏮)を押し続け、周波数が変わり始めたらボタンを離します。十分に電波の強い放送局を受信すると自動で止まります。

途中で止めるときは、⏭(または⏮)を「ポン」と押します。

マニュアル選局 ：⏭(または⏮)を押すごとに周波数が変わります。⏭を押すと周波数が上がり、⏮を押すと下がります。

- FMステレオ放送を受信すると、**ST**表示が点灯します。
- 電波が弱く、オート選局が自動で止まらないときはマニュアル選局に切り換えてください。

受信モードを切り換える

- FMステレオ放送が雑音で聞きにくいときは、リモコンの**AUTO/MONO**を押します。**MONO**表示が点灯して、聞きやすくなります(このとき音声はモノラルになります)。別の放送局を受信すると自動的にステレオ受信に変わり、**ST**表示が点灯します。
- 本機はAMステレオ放送には対応しておりません。

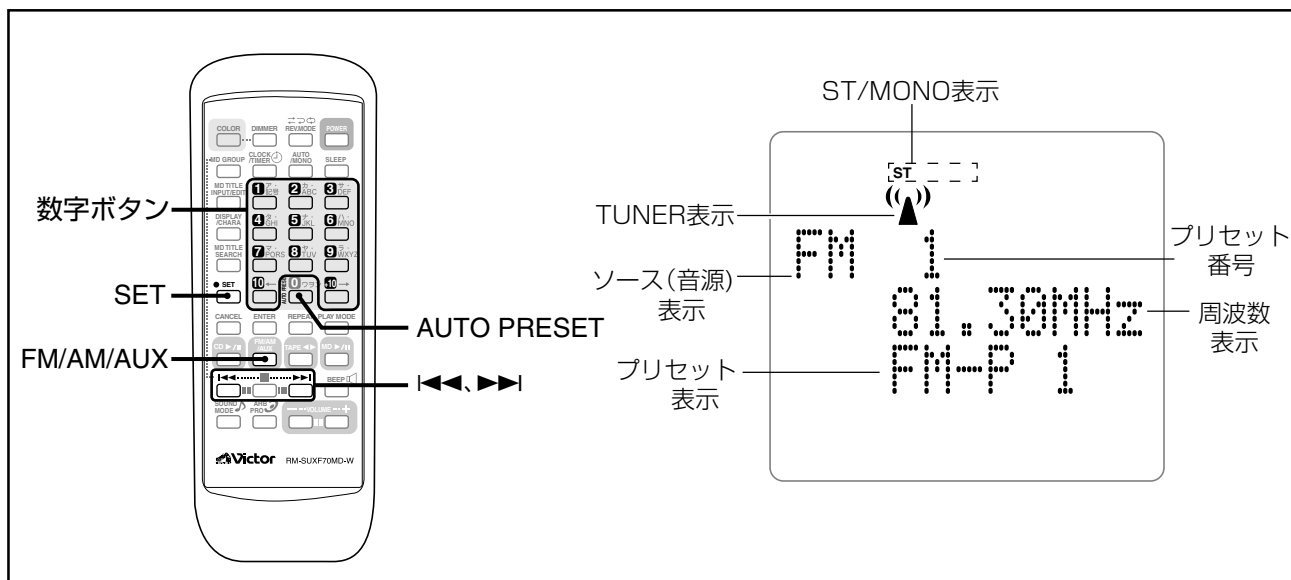
放送受信中に時計を見るには

DISPLAY/CHARAを押すと、時計表示に切り換わります。もう一度押すと、放送受信中の表示に戻ります。

お知らせ

- マニュアル選局の場合、FM放送では0.05 MHzずつ、AM放送では9 kHzずつ周波数が変わります。
- 本機は、テレビ1ch：95.75 MHz、2ch：101.75 MHz、3ch：107.75 MHzの音声を受信することができます。
- 電源を「**切**」にしたり他のソース(音源)に切り換えた場合にも、最後に受信していた放送局は記憶されて再びラジオ放送に切り換えると、同じ放送局が受信できます。

放送局を選んで記憶させる (プリセット)

選局した放送局を記憶(メモリー)しておくと、簡単に呼び出すことができます。
放送局を記憶させる方法には、選局から記憶までを自動で行う**オートプリセット**と、手動で選局と記憶を行う**マニュアルプリセット**があります。
- AM放送は最大15局、FM放送は最大30局まで記憶させることができます。
- リモコンで操作します。

オートプリセット

1 FM/AM/AUX(本体では FM/AM)を押して FM または AM を選ぶ

2 AUTO PRESET (0)を 2 秒以上押す

受信できる放送局が自動で記憶され、その局のプリセット番号と受信周波数が表示されます。
- 受信できるすべての放送局が記憶されるか、プリセットの最大数(FMで30局、AMで15局)まで記憶されると、オートプリセットは終了します。
- 雑音の多い放送局もプリセットされることがあります。
- 前に記憶された放送局があっても、新しくプリセットされる放送局に上書きされます。

オートプリセット終了後は、プリセット番号1に記憶した放送局が受信されます。

ご注意
- 電源プラグをコンセントから抜いたり停電があると、記憶(メモリー)した放送局が消去されることがあります。

マニュアルプリセット

1 FM/AM/AUX(本体では FM/AM)を押して FM または AM を選ぶ

2 ▶▶I(または I◀◀)を押して、記憶させる放送局を選ぶ

➡ 20 ページ「オート選局/マニュアル選局」参照。

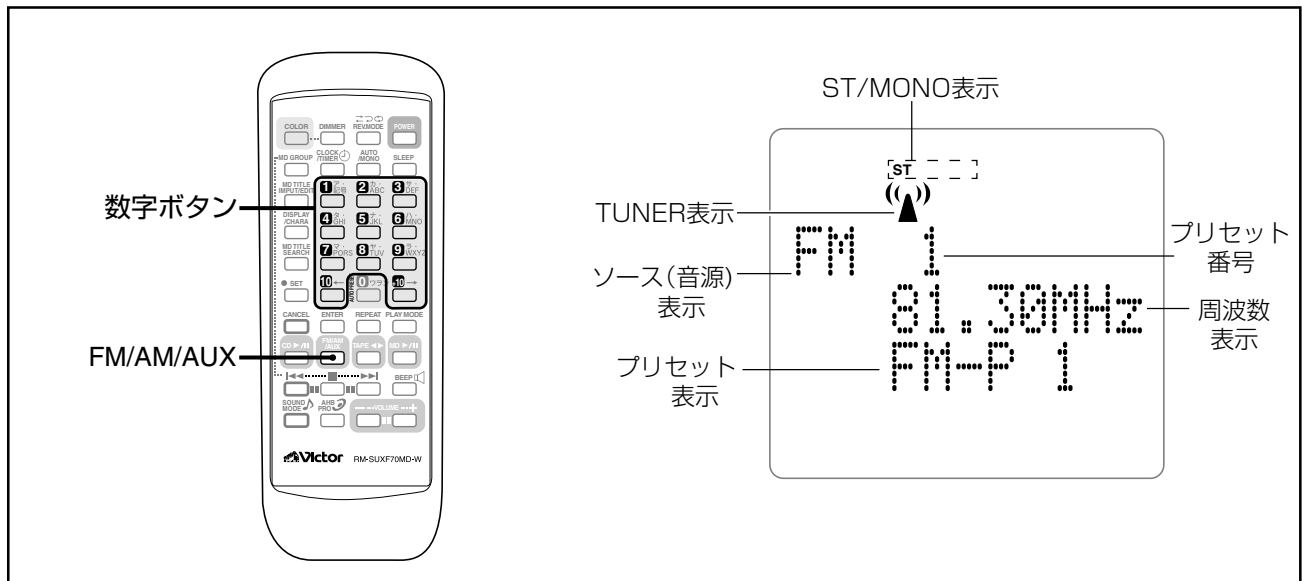
3 SET を押す

プリセット番号1が点滅します。
- およそ5秒間点滅します。その間に次の操作をしないときは、手順**2**に戻ります。

4 ▶▶I(または I◀◀)または数字ボタンを押してプリセット番号を選ぶ

- すでに記憶させたプリセット番号を指定すると、新しく選んだ放送局に上書きされます。
- 数字ボタンの使いかたは、22 ページの「記憶(メモリー)した放送局を選局する」を参照してください。

5 SET を押す

およそ2秒間、「**STORED**」と表示されます。表示が消えると記憶(メモリー)されます。

記憶（メモリー）した放送局を選局する

リモコンの数字ボタンを使います。

1　FM/AM/AUX（本体では FM/AM）を押して FM または AM を選ぶ

2　放送局を選ぶ

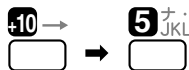
1～10のプリセット番号を指定するとき

数字ボタンの1～10のいずれかのボタンを押します。

11以上のプリセット番号を指定するとき

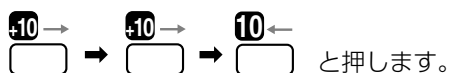
15を指定するときは

20を指定するときは

と押します。

21以上のプリセット番号を指定するとき

25のときは

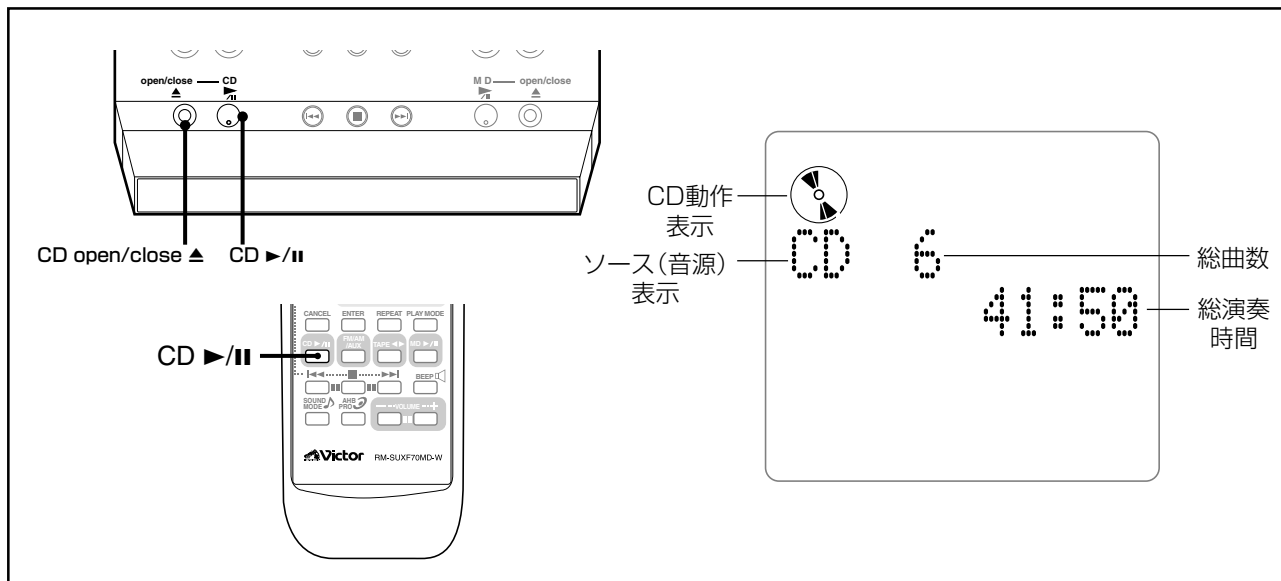
30のときは

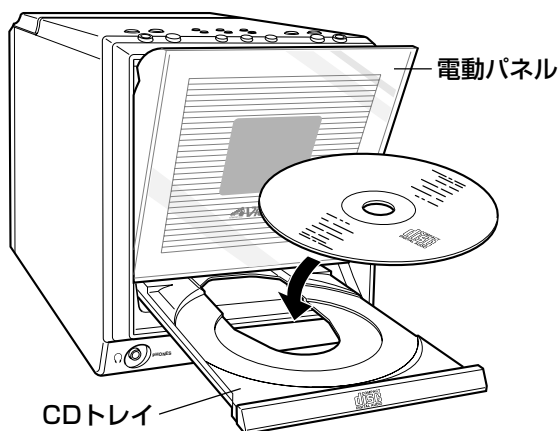
+10 → +10 → 10 と押します。

受信中はプリセット番号が表示されます。

ご注意

- 電源プラグをコンセントから抜いたり停電があると、記憶（メモリー）した放送局が消去されることがあります。

CDを聞く

通常の演奏の他に、リピート演奏、プログラム演奏、ランダム演奏を楽しむことができます。
• **リピート演奏、プログラム演奏、ランダム演奏のときは、リモコンで操作します。**

1 CD open/close ▲を押す

電源が**「入」**になり電動パネルが上がってCDトレイが出てきます。

2 CDトレイにCDを置く

CDトレイの円形部分に沿うよう正しく置きます。
• 8 cmCDは内側の凹部に置きます。

3 CD ►/IIを押す

CDトレイが本体内に収まり、電動パネルが自動で閉まります。CDが回転しているアニメーションがあらわれ、演奏が始まります。表示窓には曲番号や演奏経過時間が表示されます。全曲の演奏が終わると自動で停止します。

• **CD ►/II**を押さずに**CD open/close ▲**を押すと、CDトレイが本体内に収まり電動パネルが自動的に閉まります。ただし、演奏は始まりません。

演奏を停止する

■ を押します。
• 総曲数と総演奏時間が表示されます。

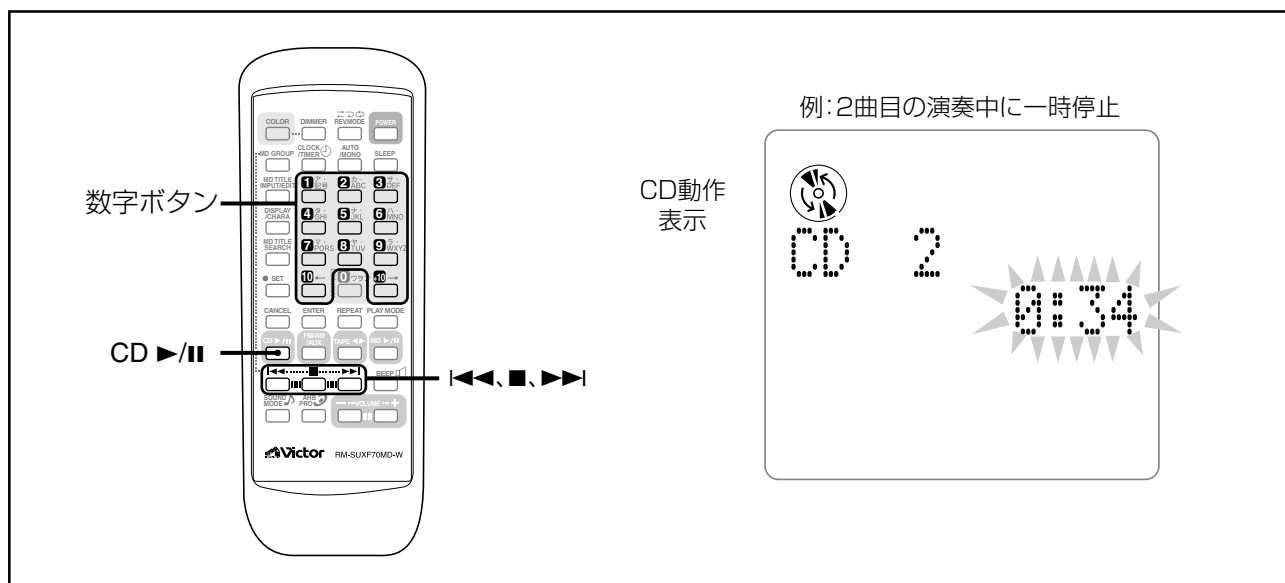
CDを取り出す

CD open/close ▲を押します。
演奏が停止し、電動パネルが上がってCDトレイが出てきます。CDを取り出したら、もう一度**CD open/close ▲**を押して電動パネルを閉めます。

CD についているマークを確認して

文字のある面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO、 または のいずれかマークが入っているCDをお使いください。DVDやビデオCDは再生できません。

CD-R/CD-RW ディスクについて

お客様が編集したCD-R/CD-RWディスクは、ファイナライズされているディスクに限り本機でお楽しみいただけます。
• **音楽用のCDフォーマットで記録されたCD-R/CD-RWディスクが演奏できます。**
ただし、ディスクの特性・記録状態・傷・汚れ、またはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で再生できないことがあります。
• **CD-R/CD-RWディスクをお使いになる前に、ディスクの使用上のご注意をよくお読みください。**
• **MP3 などの音声ファイルの再生または CD テキストの表示には対応しておりません。**
• **音楽用のCDフォーマット以外で記録したことのあるCD-RWディスクは、いったん全曲を消去してください。そのまま使用すると、突然大きな音が出てスピーカーを破損するなどの原因になります。**
• **ファイナライズされていないディスクの場合、表示窓に「UNFINALIZE」が表示されます。**

聞きたい曲を指定する（ダイレクト演奏）

リモコンの数字ボタンを使います。

1 CD ►/II を押して ■ を押す

ソース（音源）をCDにします。

2 聞きたい曲を選ぶ

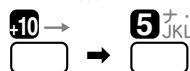
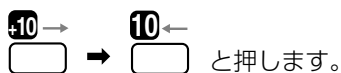
1～10の曲番号を指定するとき

数字ボタンの**1～10**のいずれかのボタンを押します。

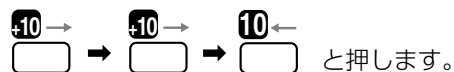
11以上の曲番号を指定するとき

15曲目を指定するなら

20曲目を指定するなら

と押します。

21以上の曲番号を指定するとき

25曲目を指定するなら

30曲目を指定するなら

と押します。

お知らせ

- CDの演奏は無音状態でのノイズがほとんどありません。ノイズを聞きながら音量を調節しておくと、演奏が始まってから思わぬ大音量になることがあります。電源を切る前には、必ず音量を小さくしておきましょう。

一時停止する

CD ►/IIを押します。
- 演奏経過時間が点滅します。もう一度押すと、停止したところから演奏が始まります。

曲の頭出しをする（スキップ）

演奏中に►►I（または I◄◄）を「ポン」と押します。演奏中の曲または次の曲の頭出しができます。くり返し押すと、さらに前後の曲の頭出しができます。
- 停止中に押すと、1曲ごとの演奏時間が表示されます。

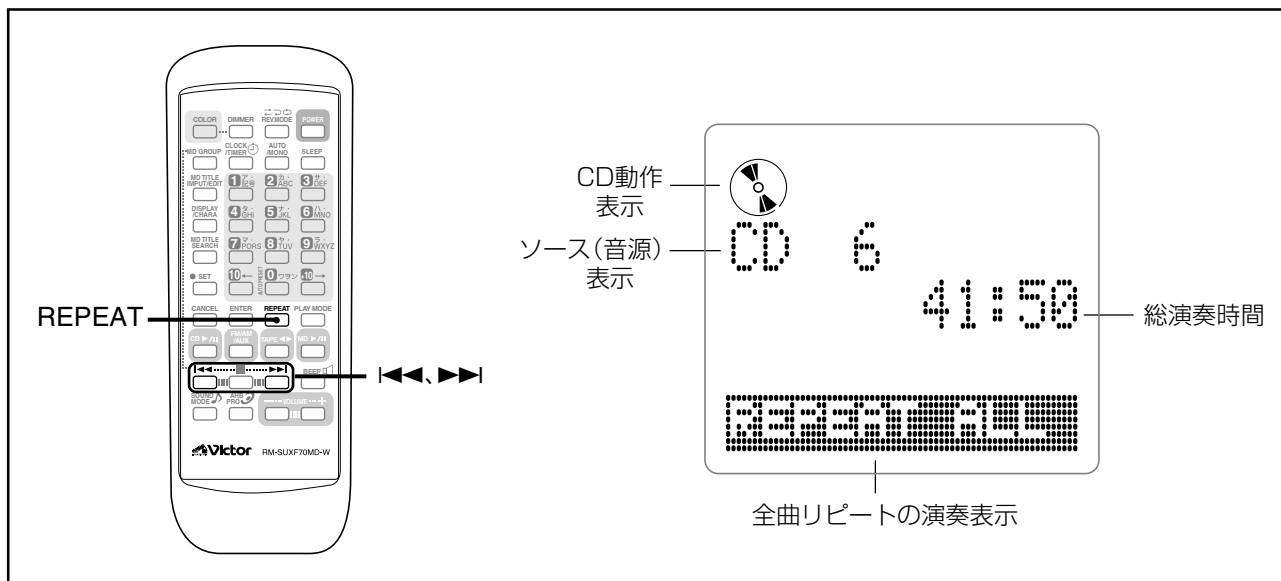
曲の早送り/早戻しをする（サーチ）

演奏中に►►I（または I◄◄）を押し続けます。聞きたいところで指を離すと、そこから演奏が始まります。

演奏中に時計を見るには

DISPLAY/CHARAを押すと、時刻表示に切り換わります。もう一度押すと、演奏曲番、演奏時間の表示に戻ります。

ご注意

- キャッシュカードや花などの形をしたシェイプCD(特殊形状のCD)は、CDトレイと形状が合わないため、故障の原因となります。絶対に使用しないでください。
- CDにセロハンテープが張ってあったり、レンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがしたあとのあるCDは使用しないでください。そのままCDプレーヤーに入れると、CDが取り出せなくなるなど故障の原因となります。

リピート演奏

CDの演奏中や停止中に、聞きたい曲をくり返し演奏させることができます。
全曲リピート演奏(REPEAT ALL)と**1曲リピート演奏**(REPEAT ONE)から選べます。
リモコンを使って設定します。

1 CD ►/II を押して ■ を押す

ソース（音源）をCDにします。

2 REPEATを押す

ボタンを押すごとに、リピート表示は次のように切り換わります。

REPEAT ALL（全曲リピート演奏）：CDの全曲をくり返し演奏します。演奏中に選ばれると、演奏中の曲から全曲演奏をくり返します。プログラム演奏またはランダム演奏と同時に使うことができます。

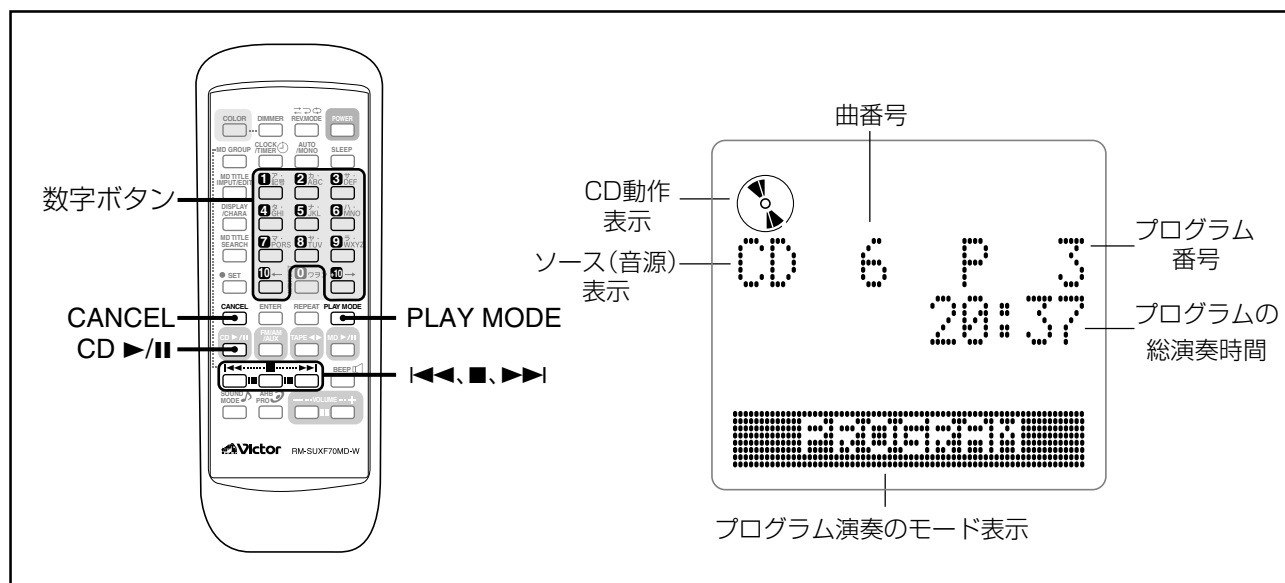
REPEAT ONE（1曲リピート演奏）：現在演奏中の曲、またはこれから演奏する1曲をくり返します。

- 演奏モードが、プログラム演奏またはランダム演奏のときは、REPEATを押すごとに、リピート表示が一時的に表示されます。

リピート演奏を解除する

REPEATをくり返し押して「REPEAT OFF」を選びます。
- CDを取り出したり電源を**「切」**にしても、リピート演奏は解除されます。

お知らせ
- リピート演奏中に、数字ボタンや►►I（または I◄◄）で他の曲のリピート演奏に切り換えることができます。

聞く

演奏モードを選ぶ

CDの演奏モードには、通常演奏の他に、**プログラム演奏(PROGRAM)**、**ランダム演奏(RANDOM)**があります。

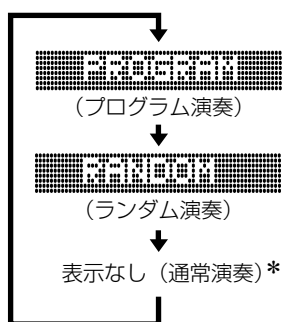
- **演奏を停止してから操作します。**

1 CD ►/II を押して ■ を押す

ソース(音源)をCDにして演奏を停止します。

- リピート演奏を使うときは、リピート演奏モードを選んでください(➡ 25 ページ「リピート演奏」参照)。

2 PLAY MODE を押して演奏モードを切り換える

- ボタンを押すごとに、演奏モードは次のように切り換わります。

PROGRAM（プログラム演奏）：CDに収録されている曲を好きな順番で最大32曲までプログラムできます。同じ曲を32回選ぶこともできます。

RANDOM（ランダム演奏）：CDに収録されているすべての曲を、ランダム(無作為)に選び出して演奏します。

* リピート演奏を選んでいるときは、通常演奏の代わりにリピート演奏の表示になります。

プログラム演奏

CD に収録されている曲を好きな順番で最大 32 曲までプログラムすることができます。

1 演奏モードを切り換えて「PROGRAM」を選ぶ

2 数字ボタンを押してプログラムする

曲番号を1つ入力すると、プログラム番号は「1」になります。続けて、最大32曲まで入力することができます。同じ曲を32回プログラムすることもできます。

入力が終わったら、次の手順に進んでください。

- 数字ボタンの使いかたは 24 ページ「ダイレクト演奏」を参照してください。
- プログラムを修正するときは、CANCELを押します。プログラムの最後の曲から順番に削除されます。

3 CD ►/II を押す

プログラムした曲の演奏が始まります。

- プログラムした曲の演奏がすべて終わると自動的に停止します(リピート演奏が解除されているとき)。
- プログラムして録音するときは、CD ►/II を押さないでください。

27 ページへ続く

プログラム演奏を停止する

■ を押します。
プログラムの最後の曲番号と総演奏時間を表示して、演奏が停止します。プログラム内容は変更されません。

プログラム演奏のモードを解除する

停止中にPLAY MODEをくり返し押して、表示を「PROGRAM」以外にします。
- プログラム内容は削除されません。再びプログラム演奏に切り換えると、同じプログラム内容で楽しむことができます。

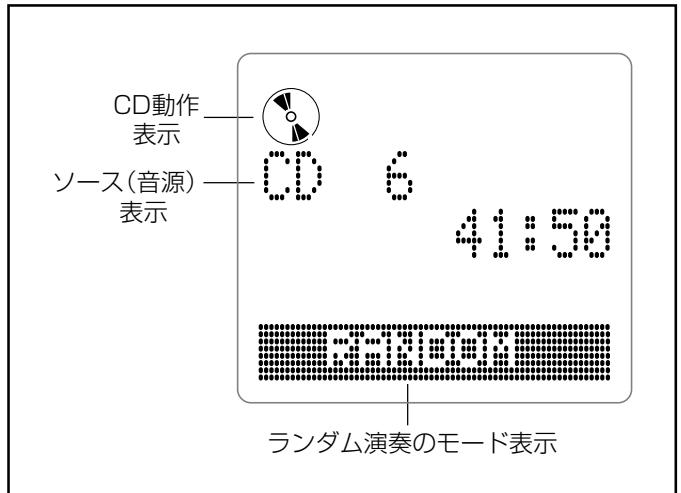
プログラム内容をすべて削除する

CD open/close ▲を押してCDを取り出すか、電源を「切」にします。

お知らせ

- 停止中に ►►I(または I◄◄)を押すと、プログラムの曲順を確かめることができます。
- リピート演奏と組み合わせて使うときは、先にリピート演奏を選んでください(➡ 25ページ「リピート演奏」参照)。
- 33曲目をプログラムしようとすると、「MEMORY FULL」と表示されます。これ以上はプログラムできません。
- CDに収録されていない曲番号はプログラムできません。
- プログラムの総演奏時間が1時間40分以上になると、演奏時間は「– – : – –」と表示されます。

ランダム演奏

すべての曲を、ランダム(無作為)に選び出して演奏します。

1 演奏モードを切り換えて「RANDOM」を選ぶ

2 CD ►/II を押す

最初の曲の曲番号が表示され、演奏が始まります。
- 収録されている曲の演奏がすべて終わると自動的に停止します。

ランダム演奏を停止する

■ を押します。
「RANDOM」と表示したまま演奏がとまります。ランダム演奏は解除されません。

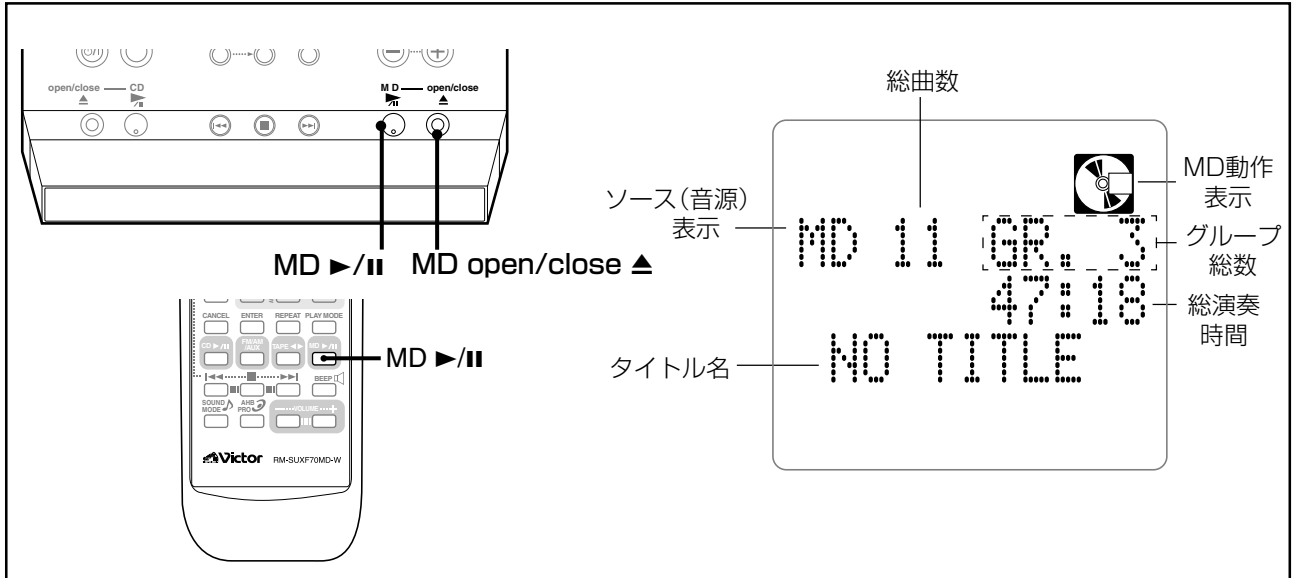
ランダム演奏のモードを解除する

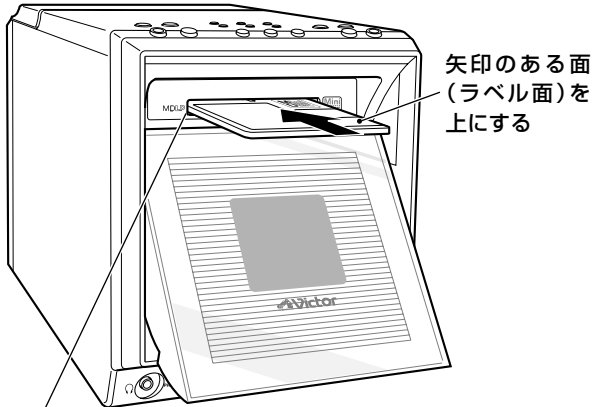
停止中にPLAY MODEをくり返し押して、「RANDOM」以外の表示にします。

お知らせ

- ►►I を押すと、現在演奏中の曲を飛ばして演奏します。
- I◄◄ を押すと、演奏中の曲の頭出しをします。前の曲には戻れません。
- リピート演奏と組み合わせて楽しむこともできます(➡ 25ページ「リピート演奏」参照)。

MDを聞く

本機のMDプレーヤーは、MDLP(➡ 29ページ「MDLPについて」参照)で録音された曲の演奏に対応しています。
通常の演奏の他に、リピート演奏、プログラム演奏、ランダム演奏、グループ演奏を楽しむことができます。
- **リピート演奏、プログラム演奏、ランダム演奏、グループ演奏のときは、リモコンで操作します。**

1 MD open/close ▲ を押す

電源が**「入」**になり電動パネルが下がってMD挿入口が現れます。
- MDが入っているときは、MDが出てきます。

2 MD挿入口にMDを入れる

矢印のある面を上にして、矢印の方向に向かって正しく差し込みます。**MDは途中から引き込まれ、電動パネルが自動で閉まります。**

「TOC Reading」と表示されたあと、ディスクタイトルに続いてMDに収録されている曲数と総演奏時間が表示されます。曲にタイトルがあるときは、曲タイトルも表示されます。長いタイトルはスクロール表示されます。
- 未録音のMDのときは「BLANK DISC」、タイトルが記録されていないMDのときは「NO TITLE」と表示されます。

3 MD ►/॥ を押す

MDが回転しているアニメーションが現れ、演奏が始まります。
曲番号や演奏経過時間が表示されます。
演奏が終わると自動的に停止します。

演奏を停止する

■ を押します。
- 総曲数と総演奏時間が表示されます。

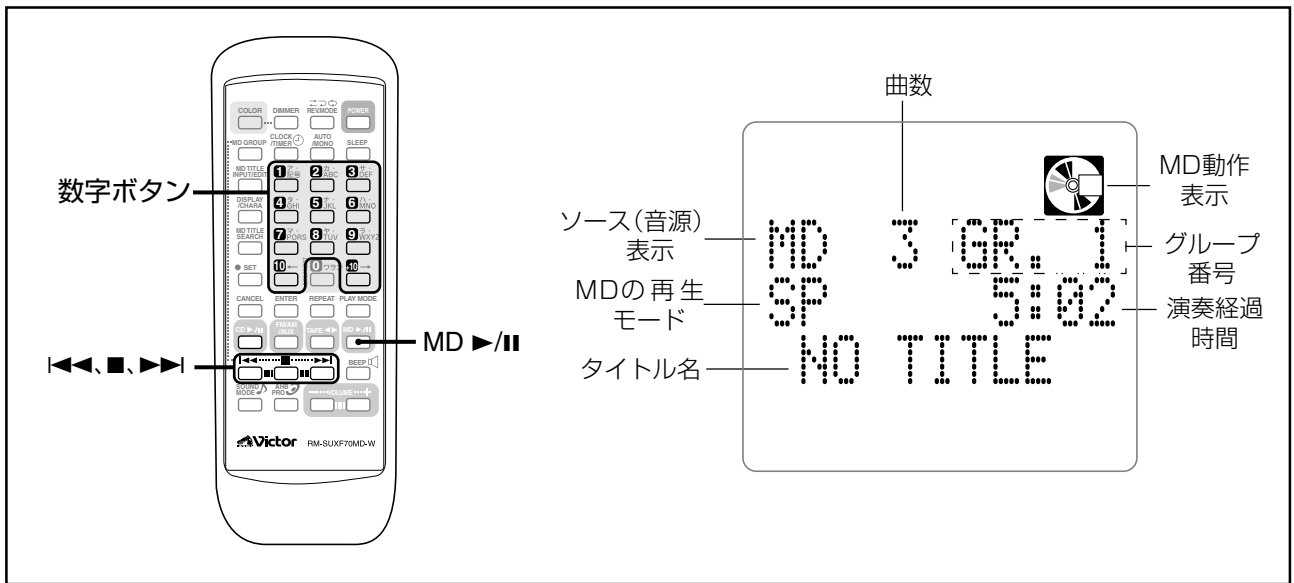
MDを取り出す

MD open/close ▲ を押します。
演奏が停止し、電動パネルが上がってMDが出てきます。
必ずMDを取り出してから、次の操作をしてください。

ご注意

- MDが引き込まれると、電動パネルは自動的に閉まります。途中で MD open/close ▲ を押したり、電動パネルを無理に開閉しないでください。指先やMDが挟まれたり、故障の原因となります。

お知らせ

- MDの演奏は無音状態でのノイズがほとんどありません。ノイズを聞きながら音量を調節しておくと、演奏が始まって思わぬ大音量になることがあります。電源を切る前には、必ず音量を小さくしておきましょう。

聞きたい曲を指定する（ダイレクト演奏）

リモコンの数字ボタンを使います。

1 MD ►/❚❚ を押して ■ を押す

ソース（音源）をMDにして演奏を停止します。

2 聞きたい曲を選ぶ

1～10の曲番号を指定するとき

数字ボタンの1～10のいずれかのボタンを押します。

11以上の曲番号を指定するとき

15曲目を指定するなら

20曲目を指定するなら

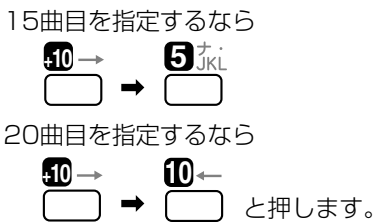
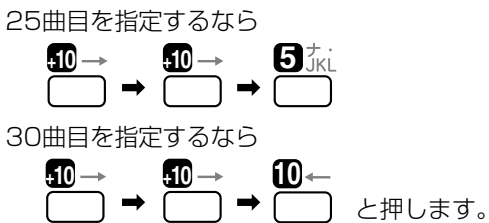
+10 ➡ 10 と押します。

21以上の曲番号を指定するとき

25曲目を指定するなら

+10 ➡ +10 ➡ 5

30曲目を指定するなら

と押します。

一時停止する

MD ►/❚❚ を押します。

- 演奏経過時間が点滅します。もう一度押すと、停止したところから演奏が始まります。

曲の頭出しをする（スキップ）

演奏中、►►|（または |◄◄）を押します。演奏中の曲（または後の曲）の頭出しができます。くり返し押すと、さらに前後の曲の頭出しができます。

- 停止中に押すと、1曲ごとの演奏時間が表示されます。

曲の早送り/早戻しをする（サーチ）

演奏中に►►|（または |◄◄）を押し続けます。聞きたいところで指を離すと、そこから演奏が始まります。

演奏中に時計を見るには

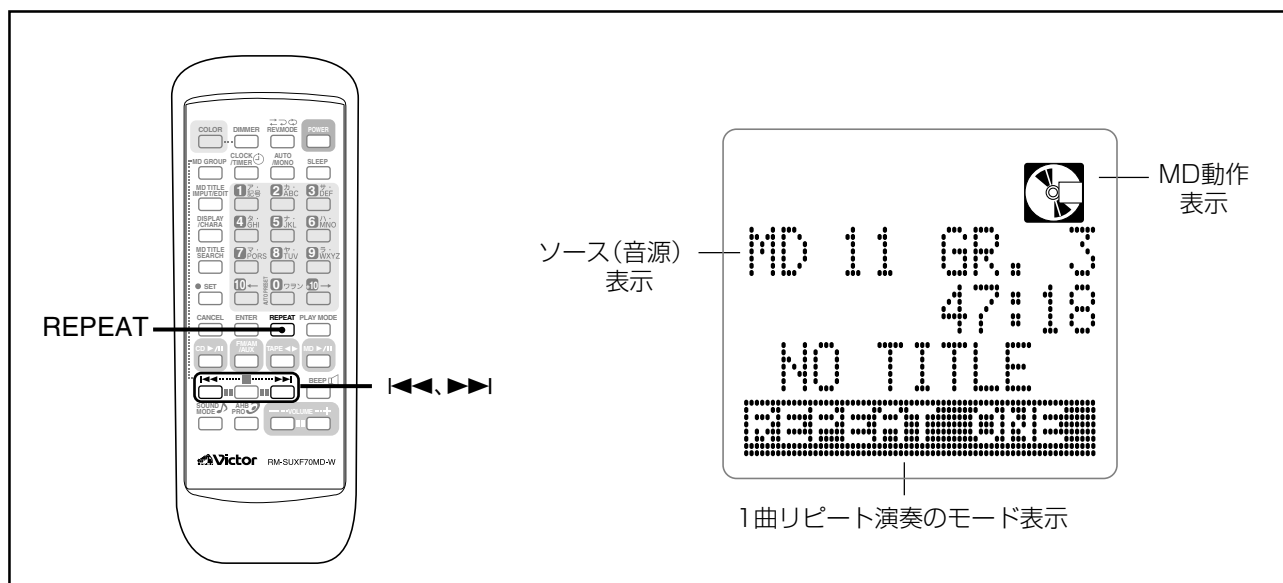
DISPLAY/CHARAを押します。
ディスクタイトルや曲名、録音可能な残量時間（「REM. 分：秒」の表示）、現在時刻などが順番に表示されます。

MD**LP**について

MD**LP**はMD規格に適合し、従来の録音･再生モード(SP)に加えて、新しい音声圧縮技術方式ATRAC3を採用したステレオ2倍長時間録音･再生モード(LP2)またはステレオ4倍長時間録音･再生モード（LP4)の機能を持ったMDプレーヤー/レコーダー、またはATRAC3による音声録音されているMDメディア（レコーダブル･メディアを除く）に表示されています。

MDの再生モード

MDは録音したときの録音モード（SP、LP2、LP4）に従って演奏されます。演奏が始まると、その曲の再生モード（録音モードと一致します）が表示されます。

- SP ：本機でステレオ録音したMDまたはMD**LP**に対応していないMDレコーダーで録音したMDのとき
- LP2：2倍長時間録音（ステレオ）したMDのとき
- LP4：4倍長時間録音（ステレオ）したMDのとき

リピート演奏

MDの演奏中や停止中に、聞きたい曲をくり返し演奏させることができます。
全曲リピート演奏(REPEAT ALL)と**1曲リピート演奏**(REPEAT ONE)を選べます。
リモコンを使って設定します。

1 MD ▶/❚❚ を押して ■ を押す

ソース(音源)をMDにします。

2 REPEATを押す

ボタンを押すごとに、リピート表示は次のように切り換わります。

REPEAT ALL (全曲リピート演奏): MDの全曲をくり返し演奏します。演奏中に選ばれると、演奏中の曲から全曲演奏をくり返します。プログラム演奏、ランダム演奏、グループ演奏と同時に使うことができます。

REPEAT ONE (1曲リピート演奏): 現在演奏中の曲、またはこれから演奏する曲をくり返します。

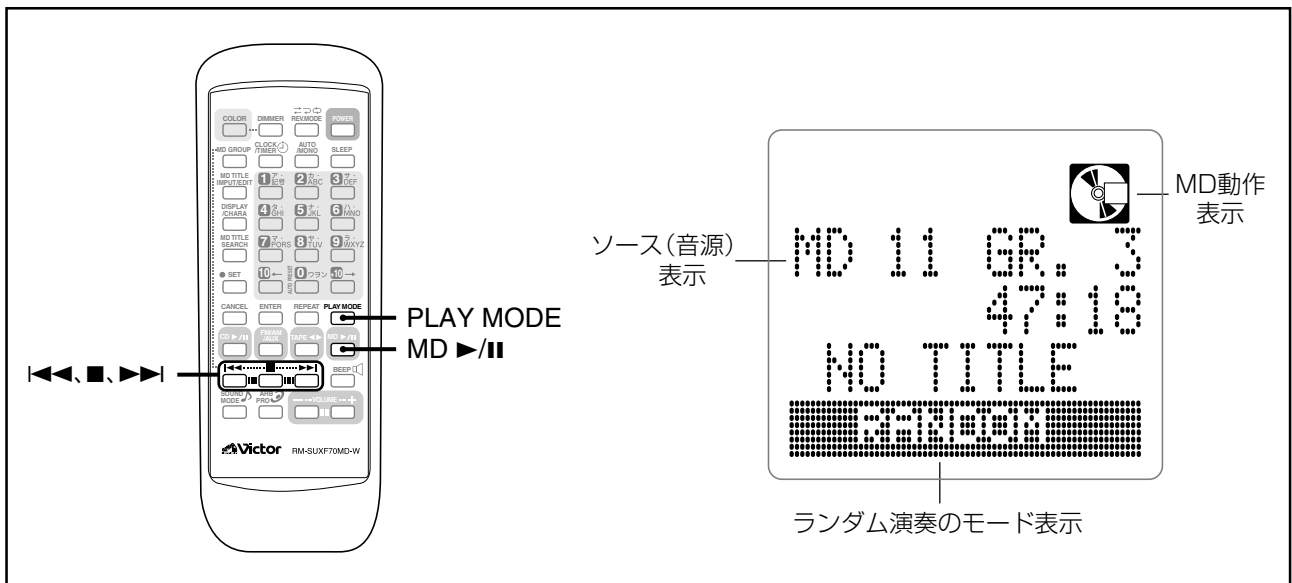
- 演奏モードが、プログラム演奏、ランダム演奏、グループ演奏のときは、REPEATを押すごとに、リピート表示が一時的に表示されます。

リピート演奏を解除する

REPEATをくり返し押して「REPEAT OFF」を選びます。

- MDを取り出したり電源を**「切」**にしても、リピート演奏は解除されます。

お知らせ

- リピート演奏中に、数字ボタンや▶▶|(または|◀◀)で他の曲のリピート演奏に切り換えることができます。

演奏モードを選ぶ

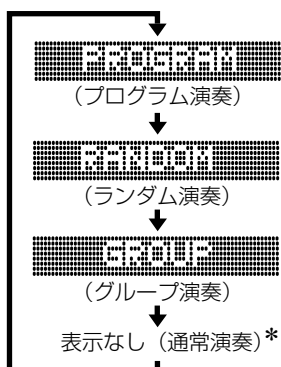
MDの演奏モードには、通常の演奏モードの他に、**プログラム演奏（PROGRAM）**、**ランダム演奏（RANDOM）**、**グループ演奏（GROUP）**があります。

- **演奏モードの切り換えは、停止中にできます。**

1 MD ►/❚❚ を押して ■ を押す

ソース（音源）をMDにして演奏を停止します。

- リピート演奏を使うときは、リピート演奏を選んでください（➡ 30 ページ「リピート演奏」参照）。

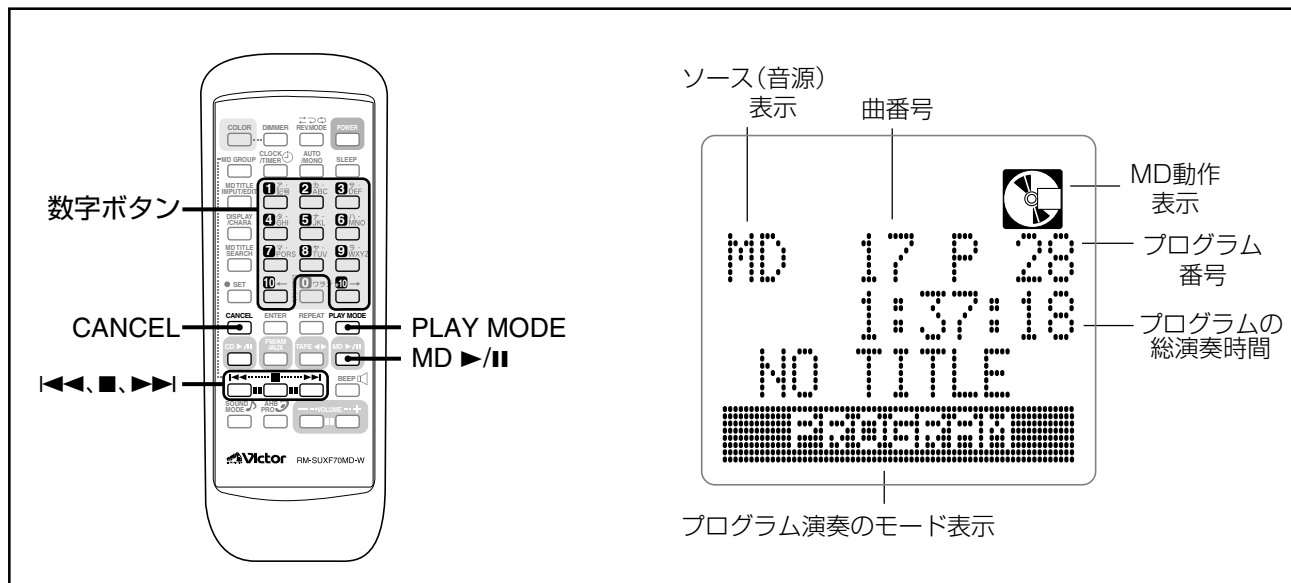
2 PLAY MODE を押して演奏モードを切り換える

- ボタンを押すごとに、演奏モードは次のように切り換わります。

PROGRAM（プログラム演奏）：MDに収録されている曲を好きな順番で最大32曲までプログラムできます。同じ曲を32回選ぶこともできます。

RANDOM（ランダム演奏）：MDに収録されているすべての曲を、ランダム（無作為）に選び出して演奏します。

GROUP（グループ演奏）：グループ単位の演奏ができます。

* リピート演奏を選んでいるときは、通常演奏の代わりにリピート演奏の表示になります。

MDを聞く (つづき)

プログラム演奏

MDに収録されている曲を好きな順番で最大32曲までプログラムすることができます。

1 演奏モードを切り換えて「PROGRAM」を選ぶ

31 ページの「演奏モードを選ぶ」を参照してください。

2 数字ボタンを押してプログラムする曲を選ぶ

曲番号を1つ入力すると、プログラム番号は「1」になります。続けて、最大32曲まで入力することができます。

同じ曲を32回プログラムすることもできます。

入力が終わったら、次の手順に進んでください。

- 数字ボタンの使いかたは 29 ページの「ダイレクト演奏」を参照してください。
- プログラムを修正するときは、CANCELを押します。プログラムの最後の曲から順番に削除されます。そのあとプログラムをし直します。

3 MD ▶/❚❚ を押す

プログラムした曲の演奏が始まります。

- プログラムした曲の演奏がすべて終わると自動的に停止します(リピート演奏解除のとき)。
- 曲にタイトルがあるときは、曲タイトルがスクロール表示されます。

プログラム演奏を停止する

■ を押します。
プログラムの最後の曲番号と総演奏時間を表示して、演奏が停止します。プログラム内容は変更されません。

プログラム演奏のモードを解除する

停止中にPLAY MODEをくり返し押して、表示を「PROGRAM」以外にします。

- プログラム内容は消えません。再びプログラム演奏に切り換えると、同じプログラム内容で楽しむことができます。

プログラム内容をすべて削除する

MD open/close ⏏ を押すか、電源を「切」にします。

お知らせ

- 停止中に▶▶|(または|◀◀)を押すと、プログラムの曲順を確かめることができます。
- リピート演奏と組み合わせて使うときは、先にリピート演奏を選んでください(➡ 30 ページ「リピート演奏」参照)。
- 33曲目をプログラムしようとすると、「MEMORY FULL」と表示されます。これ以上はプログラムできません。
- MDに収録されていない曲番号はプログラムできません。
- プログラムの総演奏時間が2時間30分以上になると、演奏時間は「　:　」と表示されます。

ランダム演奏

すべての曲を、ランダム(無作為)に選び出して演奏します。

1 演奏モードを切り換えて「RANDOM」を選ぶ

31ページの「演奏モードを選ぶ」を参照してください。

2 MD ►/❚❚ を押す

最初の曲の曲番号が表示されて演奏が始まります。

- 収録されている曲の演奏がすべて終わると自動的に停止します。

ランダム演奏を停止する

■ を押します。
「RANDOM」と表示したまま演奏が停止します。ランダム演奏モードは解除されません。

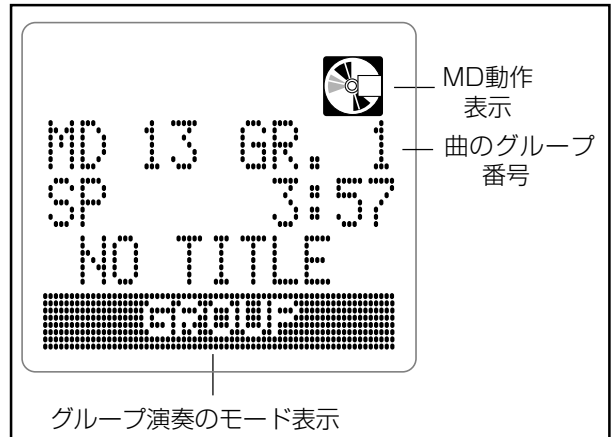
ランダム演奏のモードを解除する

停止中にPLAY MODEをくり返し押して、「RANDOM」以外の表示にします。

お知らせ

- ►►❙ を押すと、現在演奏中の曲を飛ばして演奏します。
- ❙◄◄を押すと、演奏中の曲の頭出しができます。前の曲には戻れません。
- リピート演奏と組み合わせて楽しむこともできます。(➡ 30ページ「リピート演奏」参照)

グループ演奏

本機のMDレコーダーには、新しい機能としてMDグループ機能(➡ 47ページ参照)があります。
登録したグループ単位で演奏できます。

1 演奏モードを切り換えて「GROUP」を選ぶ

31ページの「演奏モードを選ぶ」を参照してください。

2 MD ►/❚❚ を押す

表示窓に「GR. 1」とその最初の曲番号が表示されて演奏が始まります。

- グループが1つもないときは、通常演奏と同じになります。

グループ登録された曲の演奏がすべて終わると自動的に停止します。

グループ演奏を停止する

■ を押します。

同じグループ内の演奏曲を変える

►►❙(または❙◄◄)を押します。
他のグループの曲や、グループ登録されていない曲を選ぶことはできません。

演奏グループを変える

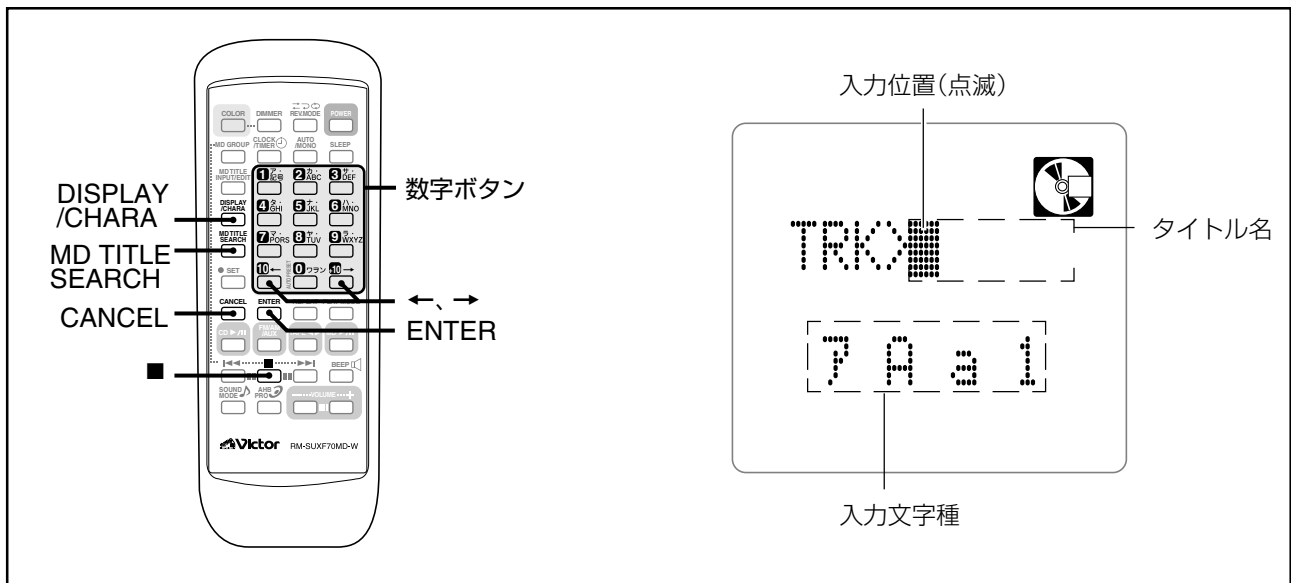
MD GROUPを押しながら►►❙(または❙◄◄)を押します。

グループ演奏のモードを解除する

停止中にPLAY MODEをくり返し押して、表示を「GROUP」以外にします。
数字ボタンを押してもグループ演奏のモードは解除されます。

お知らせ

- リピート演奏と組み合わせて楽しむこともできます(➡ 30ページ「リピート演奏」参照)。

REPEAT ALL ：1つのグループ内の全曲をくり返します。
REPEAT ONE：現在演奏中の曲またはこれから演奏する1曲をくり返します。

MDのタイトルサーチ

本機では、曲タイトルを探して(タイトルサーチ)演奏することができます。
タイトルを探したいMDを本機に入れておきます。

1 MD ►/II を押して ■ を押す

ソース(音源)をMDにします。

2 MD TITLE SEARCHを押す

表示窓に入力表示が現れます。

- 演奏中のときは演奏が停止します。
- ソース(音源)がMD以外のときはタイトルサーチできません。

3 探したいタイトルを入力する

探したいタイトルの最初の1～5文字まで入力します。

例:「F」と入力したときは、「F」で始まるタイトルを曲番号順に探します。
「Frien」と入力したときは、「Frien」で始まるタイトルを曲番号順に探します。

入力には次のボタンを使います。

DISPLAY/CHARA: 文字種を切り換えます。
→(または←) : 入力位置を移動させます。
数字ボタン : 文字を入力します。
CANCEL : 入力位置の文字を消します。

- 詳しい入力方法は 44ページの「タイトルをつける」を参照してください。
- 空白(スペース)も文字として扱われますが、空白(スペース)の後ろに文字がないときは、無視されます。
- 英大文字と英小文字は区別されます。
- タイトルのない曲はタイトルサーチできません。
- 途中でやめるときは、MD TITLE SEARCHまたは ■ を押します。

4 ENTERを押す

「SEARCH」と表示され、タイトルサーチが始まります。
曲が見つかると演奏が始まります。
演奏が終わると再び次のタイトルサーチが始まります。

- 曲が見つからないときは、「SEARCH END」と表示され、自動停止します。

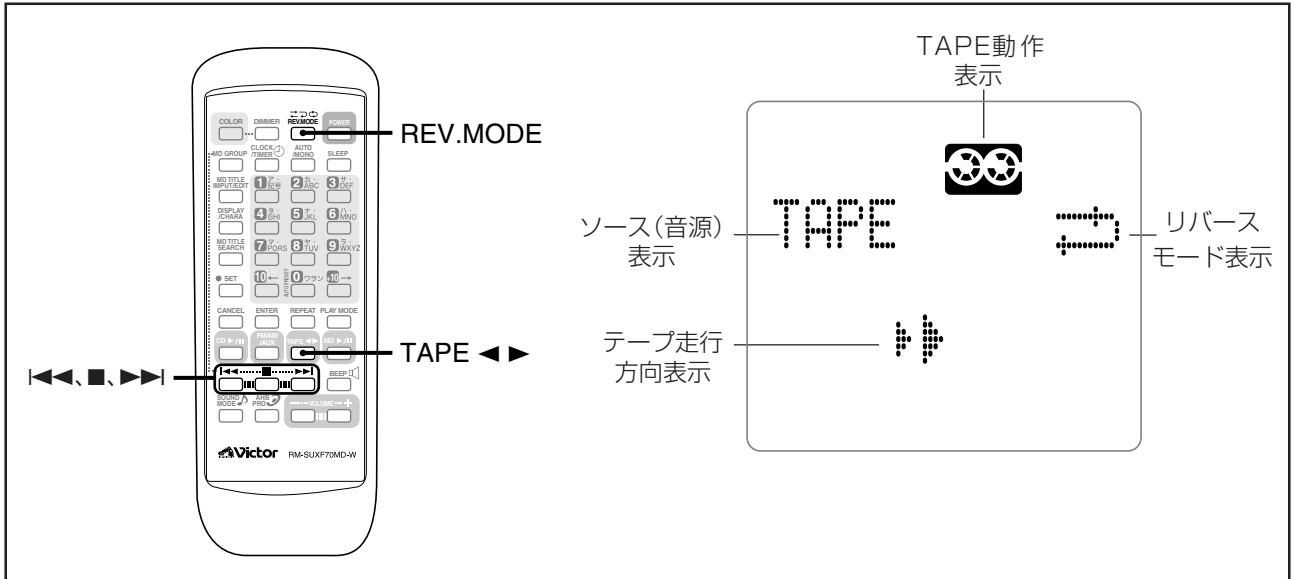
演奏を停止する

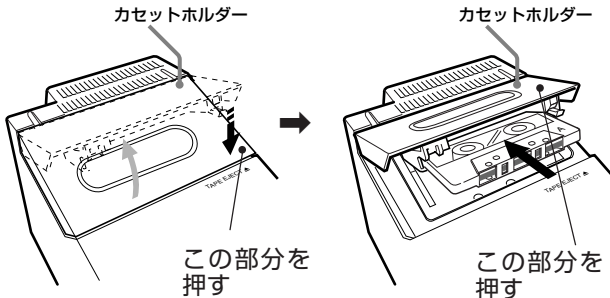
■ を押すと、タイトルサーチまたは演奏が停止します。

次の曲を探すには

►►I を押すと、「SEARCH」と表示され次の曲のタイトルサーチが始まります。曲が見つからないときは、「SEARCH END」と表示され、タイトルサーチは終了します。

テープを聞く

ノーマルテープ(TYPE I)、ハイポジションテープ(TYPE II)、メタルテープ(TYPE IV)が再生できます。
本機は、テープの種類を自動的に判別するオートテープセレクト方式になっています。

1 TAPE EJECT ▲ 表示上側のカセットホルダーのかどを押して開け、テープを入れる

A面を表にし、テープの見える面を手前にして入れます。

- **C-90**(90分)以下の長さのテープをご使用ください。
- カセットホルダーをしめるときは、「カチッ」と音がするまで確実に押してしめてください。

2 REV. MODEを押してリバースモードを選ぶ

押すごとに、表示窓のリバースモード表示は次のように切り換わります。

- ⇄ ：A面(表面)、またはB面(裏面)のみの**片道再生**
- ⇄) ：A面(表面)からB面(裏面)への**往復再生**
- (⇄) ：AB両面の**連続再生**

3 TAPE◄ ►を押す

テープの再生が始まります。

- TAPE ◄ ► を押すごとに、テープの走行方向が変わります。テープを入れた最初は、必ず**順方向(表面)から**走行します。

お知らせ

- テープのA面再生中は右向き、テープのB面再生中は左向きのテープ走行方向表示があらわれます。
- 片道再生と往復再生では、テープが終わると自動停止します。

再生を停止する

■ を押します。
カセットホルダーを開けてテープを取り出すときは、必ず ■ を押してテープをとめてからTAPE EJECT ▲表示上側のかどを押します。

テープを早送り/巻戻しする

►►I(またはI◄◄)を押します。

- テープの走行方向と同じ向きのときが早送り、反対の向きのときが巻き戻しになります。

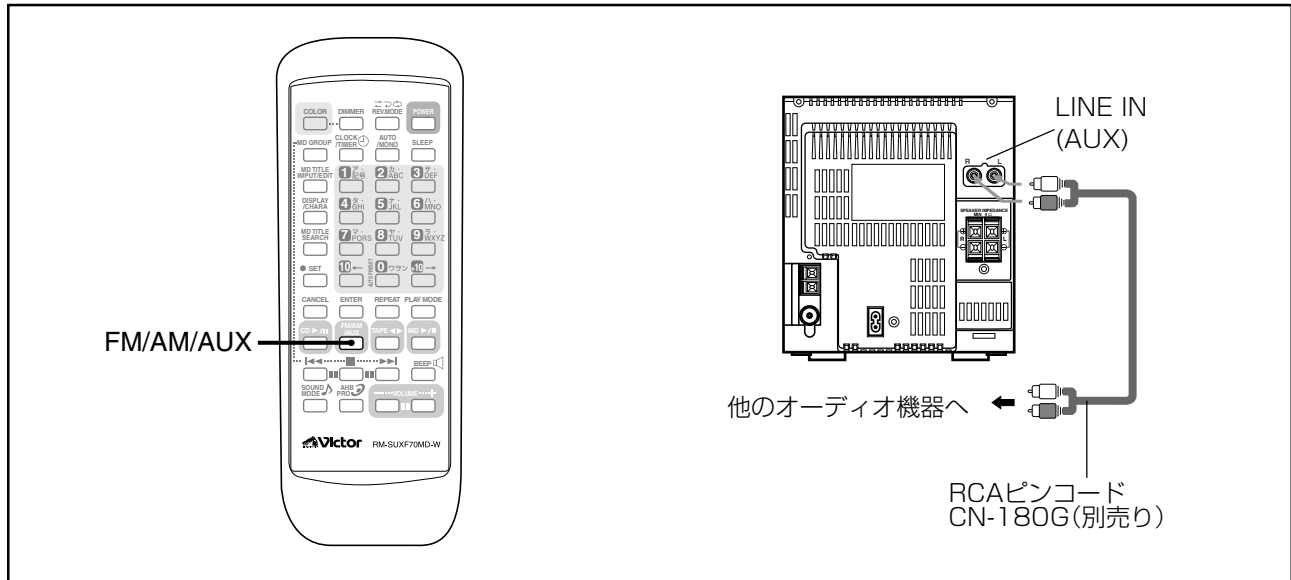
お知らせ

- テープのB面(裏面)を再生中は、►►I(またはI◄◄)の働きがそれぞれ巻戻し/早送りになります。

ご注意

- テープに**たるみ**があると、機械内部に巻き込まれたり故障の原因となります。ご使用の前に**たるみ**を取り除いてください(➡ 66 ページ参照)。
- **C-120やC-150などの長時間テープは、使用しないでください。**長い時間の録音または再生に便利ですが、テープが薄く伸びやすいため、機械内部に巻き込まれる原因となります。

他の機器の音声を聞く

他のオーディオ機器と接続して、それらの音声を楽しむことができます。
• ご使用になる機器の取扱説明書をよくお読みになり、正しく接続してください。

1 本体裏面のLINE IN(AUX)端子に他の機器をつなぐ

(➡ 14 ページ「他の機器の接続」参照)

2 FM/AM/AUX(本体ではAUX)を押して、表示窓に「AUX」と表示させる

3 他の機器の演奏を始める

• 詳しくは接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

4 音量、音質などを調節する

(➡ 19 ページ「音を調節する」参照)

ご注意

• 接続するときは、接続する機器だけでなく、本体側も必ず電源を**「切」**にしてから接続してください。

録音する前に

本機では、ソース(音源:CD、MD、ラジオ放送、テープ、AUX)と録音先のメディア(MD、テープ)の組み合わせに応じた録音方式をMODE select ボタンで設定できます。このボタンを使うと、細かな設定をしなくても正確な録音を行うことができます。

録音の手順

本機のすべての録音は、次の4つの手順で完了します。

手順1 :録音するソース(音源)を選びます。

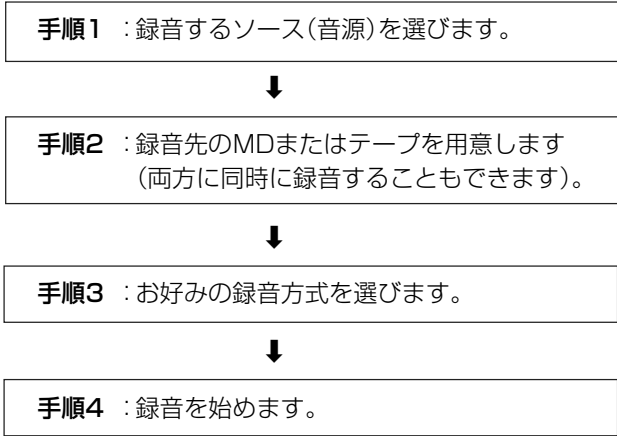
⬇

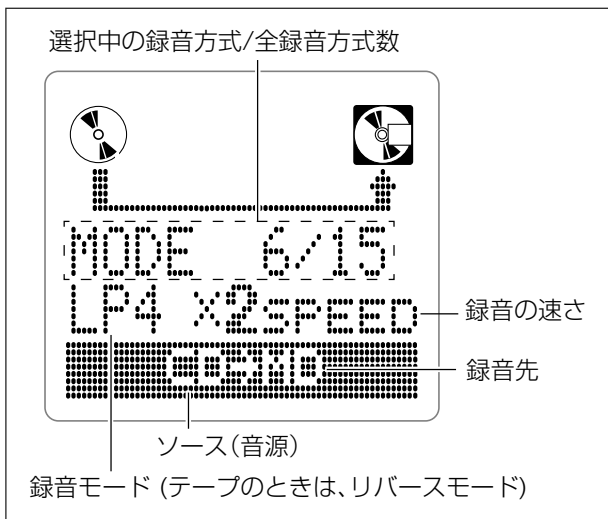
手順2 :録音先のMDまたはテープを用意します(両方に同時に録音することもできます)。

⬇

手順3 :お好みの録音方式を選びます。

⬇

手順4 :録音を始めます。

表示の見方

録音方式は次のように表示されます。

「全録音方式数」:ソース(音源)によって数は異なります。

「ソース(音源)」:CD、MD、テープ(片道: 、往復:)、FM、AM、外部機器から選べます。

「録音先」:MD、テープまたはその両方から選べます。

「録音の速さ」:CDをMDに録音するときに標準速(x1SPEED)、2倍速(x2SPEED)、4倍速(x4SPEED)から選べます。それ以外のときは、標準速のみです。

「録音モード」:録音先がMDのときSP、LP2、LP4から選べます。
録音先がテープのときは、リバースモードとして片道( )、往復( )から選べます。

録音の特長

本機では、それぞれのソース(音源)ごとに、MDへの録音とテープへの録音とを一括して管理しています。通常の録音以外に、ソース(音源)と録音先の組み合わせによって、次のような録音ができます。

- **ステレオ長時間録音**:MDに録音するとき、通常録音(SPモード)のときの2倍長く(LP2)、または4倍長く(LP4)録音できます。

ソース(音源)	録音先
すべて	MD

- **2倍速録音**:CDを録音するとき、通常録音の1/2の時間で録音ができます。

ソース(音源)	録音先
CD	MD

- **4倍速録音**:CDを録音するとき、通常録音の1/4の時間で録音ができます。

ソース(音源)	録音先
CD	MD(SPモードのみ)

- **1曲録音**:演奏中の1曲だけを録音します。

ソース(音源)	録音先
CD	MD、TAPE、MDとTAPE
MD	TAPE

- **シンクロ録音**:ソース(音源)の演奏開始と同時に録音を開始します。演奏が終了すると、録音を終了します。

ソース(音源)	録音先
CD	MD、TAPE、MDとTAPE
MD	TAPE

- **サウンドシンクロ録音**:音声信号に反応して録音を開始します。30秒以上音声が途切れると、録音を中止します。

ソース(音源)	録音先
AUX	MD

お知らせ

- 各ソース(音源)に合わせ、最高15までの録音方式が用意されています。
- CDやMD、テープが入っていないなど、状況に応じて表示される録音方式は制限されることがあります。
- 各ソース(音源)によって、録音方式は異なります。

録音する前に (つづき)

ステレオ長時間録音 (MD**LP**)

従来モノラル音声でしかできなかったMDの長時間録音が、本機ではステレオ音声のままで2倍または4倍の長時間で録音できます。
再生するソース(音源)に関係なく設定でき、各再生ソースの演奏モードと組み合わせて使用できます。また、1枚のMDに違うモード(SP: 標準/LP2: 2倍長時間/LP4: 4倍長時間)の曲を混在させて録音することもできます。

SP ： **標準のステレオ録音**
(MD80で最大80分の録音)
LP2： **2倍長時間録音(ステレオ)**
(MD80で最大160分の録音)
LP4： **4倍長時間録音(ステレオ)**
(MD80で最大320分の録音)
ラジオ放送の長時間録音などに使用すると便利です。

お知らせ

- 録音モード(SP/LP2/LP4)の設定によって、MDの録音残量表示も変わります。
- 本機では、モノラル長時間録音はできません。
- 録音モードが長時間(SP→LP2→LP4)になるにしたがって、音質に差がでます。最良の音質で録音したいときは、SPモードにしてください。

ご注意

- 本機でステレオ2倍長時間録音または4倍長時間録音された曲は、「MD**LP**」に対応したステレオ長時間再生機能を備えた機器以外では演奏できません。曲タイトルの始めに「LP:」と表示され、無音状態になります。
「MD**LP**」に対応した機器で演奏すると、「LP:」は表示されません。
- MDの編集をするとき、モード(SP/LP2/LP4)の異なる曲をつなげる(JOIN)ことはできません。

倍速録音(2倍速録音、4倍速録音)

CDの収録曲を演奏時間の半分(2倍速録音)または1/4(4倍速録音)の時間でMDに録音できます。倍速録音は、CDを録音するときのみ設定できます。

お知らせ

- 倍速録音中は、CDおよび他のソース(音源)の音を聞くことはできません。
- 倍速録音ではディスクを高速で回転させるため、CDの状態によっては正しく録音できないことがあります。そのため、次のような症状が出ることがあります。
  ー MDにノイズが録音される。
  ー MDに不要なトラックができたり、録音が途中で停止する。
  このようなときは、標準速で録音し直してください。
  とくに、「HCMS CAN NOT COPY」が表示されて録音が停止したときは、録音停止から**74分以上たってから**録音し直してください。

HCMSについて

倍速録音では、著作権保護のため倍速(標準速を超える)録音に関する規定があります(➡ 64 ページ参照)。

- この規定により、CDから一度倍速録音した曲は、その曲の録音開始から74分が経過しないと、その曲の再録音はできません。
- 74分が経過する前に同じ曲を録音しようとすると、「HCMS CANNOT COPY」が表示されて録音が停止します。

お知らせ

- CDの収録曲をプログラムして倍速で録音するときは、プログラムの中に同じ曲が入っていると、倍速録音の規定により録音が途中で停止しますので、特にご注意ください。

録音をする前に

大切な録音の場合は必ず試し録音をして、設定通りに録音できることをお確かめのうえ、ご利用ください。

- MDには最大**254曲(トラック)まで**録音することができます。
- CDの音は、デジタル信号のまま録音されますが、テープやFM/AM放送の音はアナログ信号をデジタル信号に変換してから録音されます。
- 途中まで録音してあるMDのときは、その終わりを自動的に探して未録音部分の始まりから録音されます。
新たに録音し直すときは、ALL ERASE (➡ 56 ページ参照)で全部の曲を消してから録音してください。
- 録音をしながらMDに曲タイトルをつけることができます(➡ 44 ページ参照)。
- 録音中は、本機の音量·音質を変えても録音される音には影響ありません。

ご注意

- MDの録音/編集中は、本機に振動を与えないようにしてください。特に「UTOCwriting」の表示中は注意してください。MDが演奏できなくなるおそれがあります。

トラックマークについて

MDには、聞きたい曲を番号で選ぶために、曲ごとの頭の部分に頭出しのための曲番がついています。この曲番を「トラックマーク」と呼び、このトラックマークとトラックマークの間の部分が「曲」としてみなされます。

- CDを録音するときは、曲の変わり目に自動的にトラックマークがつきます。
- CD以外のソース(音源)の録音中には、手動でトラックマークをつけることができます。トラックマークをつけたいところでリモコンの**SET**を押してつけます。

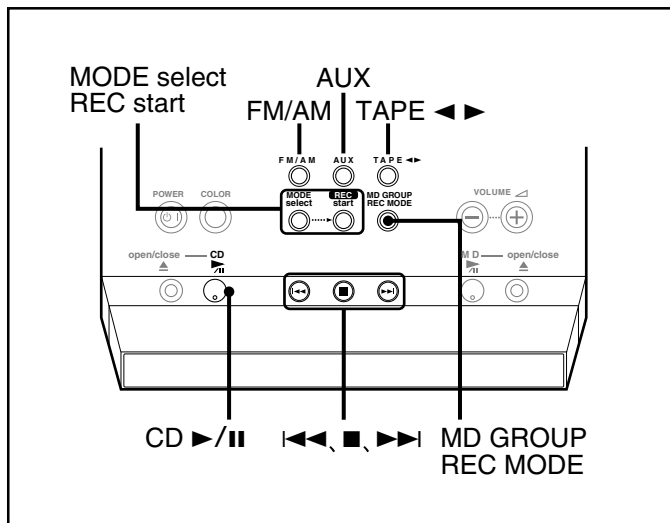
お知らせ

- FM放送やテープなどのアナログソースの録音中には、無音部分が3秒以上続くと自動的にトラックマークがつきます。また、30秒以上の無音状態がつづくと、自動的に録音が停止します。

ご注意

- MDカートリッジにラベルを張ってお使いになるとき、ラベルははがれないように端の方までしっかりと張りつけてください。万一、ラベルエリアよりもはみ出したり、はがれかかったままお使いになると、MDが取り出せなくなったり、故障の原因になることがあります。

MDに録音する

CDのシンクロ録音やプログラムした曲の録音、演奏中の曲だけを録音する１曲録音ができます。他の機器からの録音はサウンドシンクロ録音になります。
• 録音時の音量は自動的にコントロールされます。

CDの録音

次の７つの録音方式が用意されています。

録音方式	録音の速さ	録音モード
1	標準速	SP
2		LP2
3		LP4
4	2倍速	SP
5		LP2
6		LP4
7	4倍速	SP

お知らせ

- これから録音する曲や放送などをひとつのグループとして登録することができます。MD GROUP REC MODEを押して「GROUP ON」にしてください。GROUP表示が点灯します。
- 録音残量時間は、そのMDの録音に使われる録音モード(SP/LP2/LP4)に応じて異なります。
  例えばSPモードで録音したMDの場合、残り10分という残量表示は、2倍長時間録音(LP2)ではその2倍の約20分となります。
- 4倍速録音はSPモードにのみ対応しています。

1 CD ►/❚❚ を押してから ■ を押す

ソース(音源)をCDにします。

- CDのプログラム演奏またはランダム演奏を録音することもできます(➡ 26ページ「プログラム演奏」参照)。4倍速録音ではできません。

2 録音用のMDを入れる

誤消去防止つまみを閉じておきます(➡ 65ページ参照)。MDを入れると、電動パネルは自動的に閉まります。

3 MODE selectを押して録音方式を選ぶ

ボタンを押すごとに、録音方式が切り換わります。目的にあった録音方式をお選びください。

4 REC startを押す

録音が始まり、電動パネルの照明が赤に変わります。

録音が終わると、「UTOCwriting」と表示して自動的に終了します。

- MDの録音残量時間がなくなると、自動的に停止します。
- 録音中は、照明の色を切り換えることはできません。

途中で録音をやめる

■ を押します。
- MDとCDが同時に停止し、「UTOCwriting」と表示して録音が終了します。

►►I または I◄◄ で曲番号を指定する

指定した曲番号以降の曲を録音します。
- 手順3で録音方式を選ぶ前に操作してください。

演奏中の曲だけを録音をする(1曲録音)

録音したい曲の演奏中(または一時停止中)に、手順3と手順4の操作をします。

演奏中の曲の頭に戻り、その曲だけを録音して自動停止します。
- 1曲録音が終わると、CDとMDが自動停止します。

表示窓の表示内容を切り換える

DISPLAY/CHARAを押すごとに、録音中のCDとMDの曲番号や演奏経過時間、MDの録音残量時間、現在時刻などが切り換わります。

ラジオ放送やテープ、他の機器の音声の録音

選んだソースに応じて、次の録音方式が用意されています。

ラジオ放送またはAUXがソース(音源)のとき

録音方式	録音の速さ	録音モード
1	標準速	SP
2		LP2
3		LP4

テープがソース(音源)のとき

録音方式	テープの再生	録音の速さ	録音モード
1	往復(⇄)	標準速	SP
2	片道(⇄)		
3	往復(⇄)		LP2
4	片道(⇄)		
5	往復(⇄)		LP4
6	片道(⇄)		

1 録音するソース（音源）を選ぶ

ソース(音源)	操作
FM/AM	**FM/AM**(リモコンでは**FM/AM/AUX**)を押してから、リモコンの数字ボタンなどで録音したい放送局を選局する。
テープ再生(TAPE)	再生するテープを入れてリバースモードを選び、**TAPE◄ ►** を押してから■を押す。
他の機器の音声(AUX)	**AUX**(リモコンでは**FM/AM/AUX**)を押して外部入力を選び、他の機器の演奏を準備する。

2 録音用のMDを入れる

誤消去防止つまみを閉じておきます(➡ 65 ページ参照)。MDを入れると、電動パネルは自動的に閉まります。

3 MODE selectを押して録音方式を選ぶ

ボタンを押すごとに、録音方式が切り換わります。目的にあった録音方式をお選びください。

4 REC startを押す

録音が始まり、電動パネルの照明が赤に変わります。
- テープ再生の場合、録音開始に合わせてテープ再生もスタートします(シンクロ録音)。
- 他の機器からの録音の場合、「AUX Ready」と表示されるのを待って、接続した機器の演奏を始めます。音声が入力されると、録音が自動的に始まります(サウンドシンクロ録音)。
- 録音中は、照明の色を切り換えることはできません。

トラックマーク(曲番号)をつける

録音中に、曲の変わり目でリモコンの**SET**ボタンを押すとトラックマーク(曲番号)をつけることができます。録音が終わったあとでもMDの編集機能(➡ 54 ページ「曲を分ける(DIVIDE)」参照)でトラックマークをつけることができます。

途中で録音をやめる

■ を押します。
- 「UTOCwriting」と表示して録音が終了します。

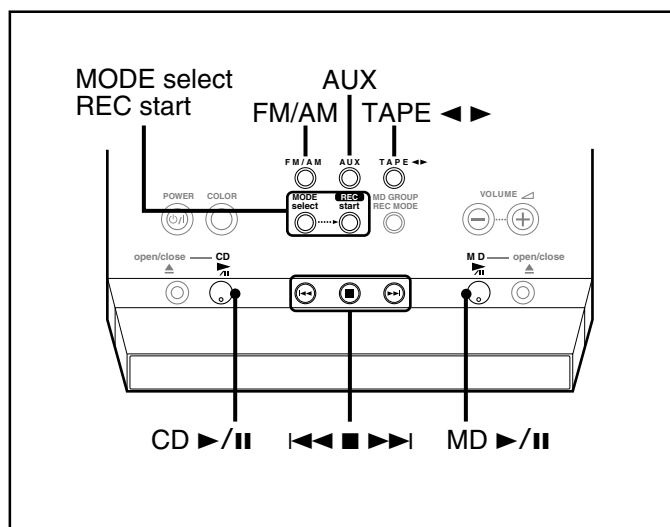
お知らせ

- サウンドシンクロ録音では、ソース(音源)の音声信号に反応して自動的に録音が始まります。
  また、ソース(音源)の音が30秒以上途切れると、自動的に録音を終了します。このとき、録音を終了したMDの空白時間は約2秒になります。
- 録音残量時間は、そのMDの録音に使われるMDモード(SP/LP2/LP4)に応じて異なります。
  例えば標準モードのSPで録音したMDの場合、残り10分という残量表示は、2倍長時間録音(LP2)ではその2倍の約20分となります。

ご注意

- 接続する外部機器や演奏する音量によっては、うまく録音できないことがあります。そのようなときは、外部機器側の出力レベル設定などをし直してください。
- 「UTOCwriting」の表示中、本体やその設置場所に衝撃を与えないでください。MDの演奏ができなくなる原因となります。必ず「UTOCwriting」の表示が消えてから、次の操作を行ってください。

テープに録音する

CD/MDのシンクロ録音やプログラムした曲の録音、演奏中の曲だけを録音する１曲録音ができます。
• 曲間に4秒のあき(ブランク)を作って録音されます。録音時の音量は自動的にコントロールされます。
• 録音にはノーマルテープ(TYPE Ⅰ)を使います。

CD/MDのシンクロ録音

選んだソース(音源)に応じて、次の録音方式が用意されています。

CDがソース(音源)のとき

録音方式	リバースモード
8	往復(⇄)
9	片道(⇄)

MDがソース(音源)のとき

録音方式	リバースモード
1	往復(⇄)
2	片道(⇄)

1 録音するソース(音源)を選ぶ

CD ►/II またはMD ►/II を押したあと、■ を押します。

2 録音用のテープを入れる

ノーマルテープ(TYPE Ⅰ)を使います。
• リーダーテープの部分を巻き取っておきます(➡ 66ページ参照)。

3 MODE selectを押して録音方式を選ぶ

ボタンを押すごとに、録音方式が切り換わります。目的にあった録音方式をお選びください。

4 REC start を押す

録音が始まり、電動パネルの照明が赤に変わります。
• CDまたはMDの演奏が終わると、テープは自動的に停止します(シンクロ録音)。
• 録音中には、CD/MDの一時停止や早送り/早戻しの操作はできません。
• 録音中は、照明の色を切り換えることはできません。

途中で録音をやめる

■ を押します。
• 録音の一時停止はできません。もう一度、操作をやり直してください。

曲の途中でテープの裏面に反転する

録音中に曲の途中でA面(表面)からB面(裏面)に反転すると、その曲はもう一度頭からB面(裏面)に録音されます。ただし、A面への録音時間が**12秒以下**のときは、そのひとつ前の曲の頭からB面(裏面)に録音されます。

►►I / I◄◄で曲番号を指定する

指定した曲番号以降の曲を録音します。
• 手順**4**で **REC start** を選ぶ前に操作してください。

演奏中の曲だけを録音をする(1曲録音)

録音したい曲の演奏中に、手順**3**と手順**4**の操作をします。

演奏中の曲の頭に戻り、その曲だけを録音して自動停止します。
• 1曲録音が終わると、CDまたはMDとテープが自動停止します。

あき(ブランク)を作らずに録音する

CD ►/II または**MD ►/II** を2回押してから手順**3**と手順**4**の操作をします。

プログラム録音をする

はじめに録音したい曲をプログラムしておきます(CDのプログラム演奏 ➡ 26ページ「プログラム演奏」参照、MDのプログラム演奏➡ 32ページ「プログラム演奏」参照)。**CD ►/II** 、**MD ►/II** は押さないでおきます。次に、手順**3**の操作をします。

テープに録音する (つづき)

ラジオ放送や他の機器の音声の録音

次の２つの録音方式が用意されています。

録音方式	リバースモード
4	往復(⇄)
5	片道(⇄)

1　録音するソース（音源）を選ぶ

ソース(音源)	操作
FM/AM	FM/AM(リモコンではFM/AM/AUX)を押してから、リモコンの数字ボタンなどで録音したい放送局を選局する。
他の機器の音声(AUX)	AUX(リモコンではFM/AM/AUX)を押して外部入力を選び、他の機器の演奏を準備する。

2　録音用のテープを入れる

- ノーマルテープ(TYPE Ⅰ)を使います。
- リーダーテープの部分を巻き取っておきます(➡ 66ページ参照)。

3　MODE selectを押して録音方式を選ぶ

ボタンを押すごとに、録音方式が切り換わります。目的にあった録音方式をお選びください。

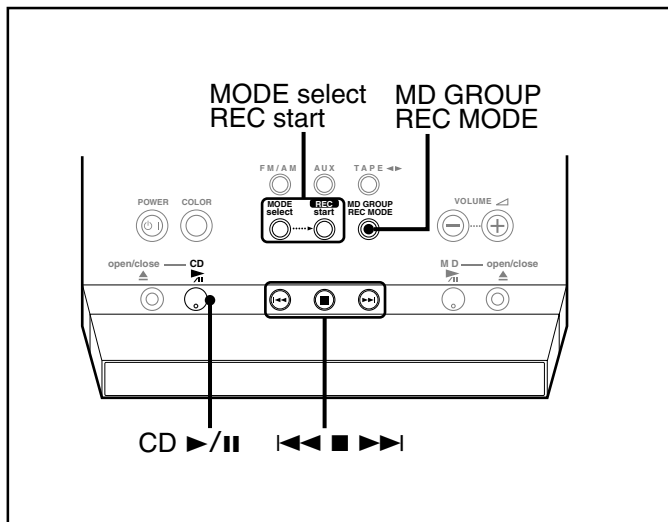
4　REC start を押す

録音が始まり、電動パネルの照明が赤に変わります。
- 録音中は、照明の色を切り換えることはできません。

途中で録音をやめる

■ を押します。
- 録音の一時停止はできません。もう一度、操作をやり直してください。

MDとテープに同時録音する

CDのシンクロ録音を、MDとテープへ同時に行ないます。
• 録音時の音量は自動的にコントロールされます。

次の６つの録音方式が用意されています。

録音方式	録音モード	リバースモード
10	SP	往復(⇆)
11		片道(⇄)
12	LP2	往復(⇆)
13		片道(⇄)
14	LP4	往復(⇆)
15		片道(⇄)

お知らせ

• MDの録音残量時間に見合うよう、テープのリバースモードを選んでください。
• 録音の途中でテープが反転したときは、録音中の曲の一部が音切れになります。

1 CD ►/❚❚ を押してから ■ を押す

ソース(音源)をCDにします。

2 録音用の MD とテープを入れる

• MDの誤消去防止つまみを閉じておきます(➡ 65 ページ参照)。MDを入れると、電動パネルは自動的に閉まります。
• リーダーテープの部分を巻き取っておきます(➡ 66 ページ参照)。

3 MODE selectを押して録音方式を選ぶ

ボタンを押すごとに、録音方式が切り換わります。目的に合った録音方式をお選びください。

4 REC start を押す

録音が始まり、電動パネルの照明が赤に変わります。

録音が終わると、「UTOCwriting」と表示して自動的に終了します。
• MDの録音残量時間がなくなると、自動的に停止します。
• テープの録音残量時間がなくなると、テープへの録音は自動的に停止し、MDの録音はそのまま継続します。
• 録音中は、照明の色を切り換えることはできません。

途中で録音をやめる

■ を押します。
• MDとCDが同時に停止し、「UTOCwriting」と表示して録音が終了します。

►►❚ / ❚◄◄で曲番号を指定する

指定した曲番号から以降の曲を録音します。
• 手順3で録音方式を選ぶ前に操作してください。

演奏中の曲だけを録音をする（1曲録音）

録音したい曲の演奏中(または一時停止中)に、手順3と手順4の操作をします。

演奏中の曲の頭に戻り、その曲だけを録音して自動停止します。
• 1曲録音が終わると、CD、MD、テープが自動停止します。

プログラム録音をする

はじめに録音したい曲をプログラムしておきます(➡ 26 ページ「プログラム演奏」参照)。CD ►/❚❚ は押さないでおきます。次に、手順3と手順4の操作をします。

表示窓の表示内容を切り換える

DISPLAY/CHARAを押すごとに、録音中のCD/MDの曲番号や演奏経過時間、録音残量時間、現在時刻などがくり返し表示されます。

お知らせ

録音残量時間は、そのMDの録音に使われる録音モード(SP/LP2/LP4)に応じて異なります。
例えばSPモードで録音したMDの場合、残り10分という残量表示は、2倍長時間録音(LP2)ではその2倍の約20分となります。

タイトルをつける

MDには録音·演奏の他に、あとから編集できるという特長があります。録音した曲に名前をつけたり、好きなところで曲を分けたり、つなげたり、移動したり、消したり、またそれらを自由に組み合わせてアレンジすることもできます。

• **リモコンで操作します。**

MD TITLE INPUT/EDIT「タイトル編集」とは

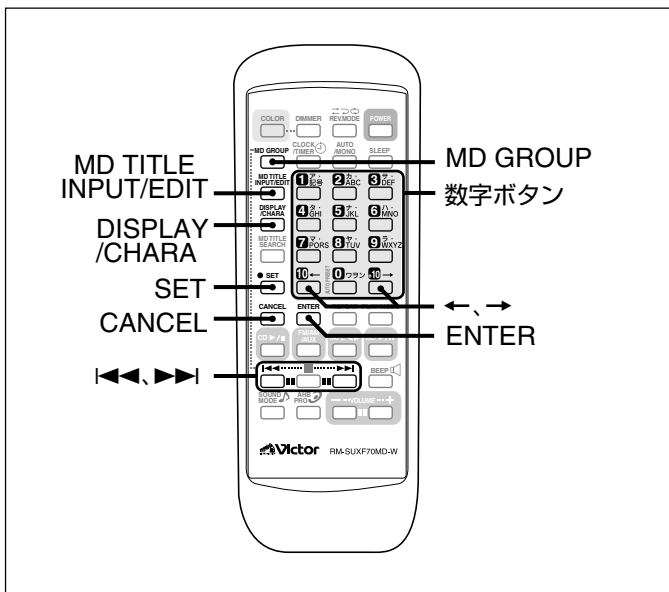
- リモコンを使って、MDにディスクタイトル、曲タイトル、グループタイトルをつけることができます。
- タイトルは、**カタカナ**、**英大文字/英小文字**、**記号**、**数字**を使って**最大61文字まで**つけることができます。
- CDの録音中は、16曲分のタイトルを前もって入力できます(タイトルリザーブ機能)。
  ただし、録音する曲より多くのタイトルを入力すると、あまったタイトルは取り消されます。
- タイトル入力の操作をしたあとでMD open/close ▲を押すと、MDを取り出す前に「UTOCwriting」が点滅し、編集した内容がMDに記録されます。
  「UTOCwriting」が点滅している間は、振動を与えないように注意してください。演奏できなくなるおそれがあります。
- 操作の途中でMD TITLE INPUT/EDITを押すとタイトル入力はいつでも解除することができます。
- 再生専用MDにタイトルをつけることはできません。タイトルをつけようとすると「PLAYBACK DISC」と表示されます。
- 誤消去防止状態になっているMDにはタイトルをつけることができません。タイトルをつけようとすると「DISC PROTECTED」が表示されます。
- MDの演奏モードがプログラム演奏またはランダム演奏になっているときに、MD TITLE INPUT/EDITを押すと編集モードになります。プログラムされているときは、プログラムの内容が削除されます。
- 65文字以上のタイトルは、本機で編集できません。タイトルを入力した機器で編集してください。

1 MDを入れる

• 誤消去防止つまみを閉じておきます。

2 タイトル編集モードに切り換える

ディスクタイトル、曲タイトルを編集するとき

MD TITLE INPUT/EDITを押します。
　タイトル編集表示に切り換わります。

グループタイトルを編集するとき

MD GROUPを押しながらMD TITLE INPUT/EDITを押します。
　グループタイトル編集表示に切り換わります。

3 タイトルをつけるディスク、曲、グループを選ぶ

→(または←)を押して、タイトルをつける項目を選びます。

ディスクタイトル、曲タイトルを編集するとき

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

DISC TITLE? ↔ 1 TITLE? ↔ 2 TITLE? ← ... 最後の曲 ↔ •••• ↔ 3 TITLE? ←

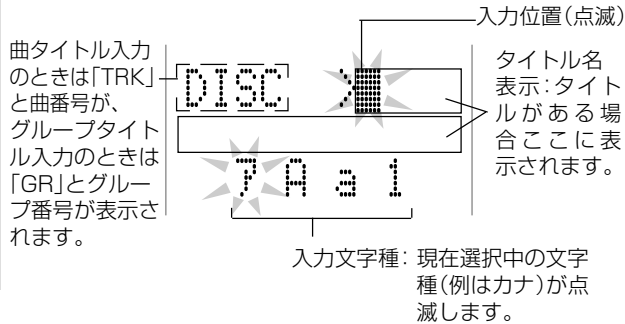
グループタイトルを編集するとき

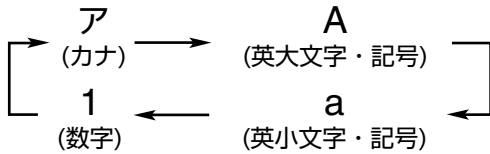
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

GR–– TITLE? ↔ GR 1 TITLE? ← ... 最後のグループ ↔ •••• ↔ GR 2 TITLE? ←

MDの演奏中または特定の曲で停止中のときは、その曲の曲タイトル、またはその曲が含まれるグループのタイトル入力表示になります。
すでにタイトルが入力されているときは、そのタイトルの修正、追加、削除ができます。

4 SETを押す

タイトル入力表示に切り換わります。

5 入力文字種を変更する

DISPLAY/CHARA*を押します。
ボタンを押すごとに次のように文字種が切り換わります。

入力したい文字がどの文字種に属しているかを右記の「**文字配列表**」で確認してください。

*CHARA：CHARACTER（キャラクター）の略。

6 タイトルを入力する

数字ボタンを使って、1文字ずつ入力していきます。1つのボタンに複数の文字が割り当てられていますので、文字種ごとに、そのボタンをくり返し押して表示させます。

例：「ス」と入力するなら、

1) DISPLAY/CHARAを押して、「ア」を点滅させます。これで入力文字種が「カナ」になります。
2) **数字ボタン「3」**を押すと、入力位置に「サ」と表示されます。
3) **数字ボタン「3」**をくり返し押すと、「**シ、ス、セ、ソ、サ**」と順番にあらわれます。合計3回押して入力位置に「ス」を表示させます。

手順5と手順6をくり返して好きなタイトルを入力してください。タイトルは61文字までつけられます。

46ページへ続く

文字の入力位置を移動させるには

→（または←）を押します。右（または左）に1文字分ずつ移動します。入力位置で文字を入力すると新しい文字が入力され、そこにあった文字は右に１文字分移動します。

文字を訂正するときは

訂正したい文字に入力位置を移動させて CANCEL を押します。入力位置の文字が消去されます。右側に文字があるときは左に１文字分つまります。

「空白」をつくるには

→で入力位置を右に移動させるか、文字種「記号」からスペース(空白)を選びます。

- 「ウエ」「NO」のように、**同じボタンを使う入力が連続するとき**は、→を押して、文字の入力位置を右に1文字分移動させてから入力します。

途中でタイトル入力をやめるには

MD TITLE INPUT/EDITを押します。入力途中のタイトルは変更されません。通常モードに戻ります。

タイトル入力に使える文字・記号と数字

● 文字配列表

ボタン	カ　ナ	英大	英小	数字
1 ア・記号	アイウエオァィゥェォ	記号*	記号*	1
2 カ・ABC	カキクケコ	ABC	abc	2
3 サ・DEF	サシスセソ	DEF	def	3
4 タ・GHI	タチツテトッ	GHI	ghi	4
5 ナ・JKL	ナニヌネノ	JKL	jkl	5
6 ハ・MNO	ハヒフヘホ	MNO	mno	6
7 マ・PQRS	マミムメモ	PQRS	pqrs	7
8 ヤ・TUV	ヤユヨャュョ	TUV	tuv	8
9 ラ・WXY	ラリルレロ	WXYZ	wxyz	9
0 ワヲン	ワヲン ゛ー ゜			0

＊「記号」で表示できる内容

□スペース(空白)	!	”	#	$	%	&	’	(	)	*	+
,	–	.	／	:	;	<	=	>	?	@	_	`

お知らせ

- 「゛」や「゜」は、濁音や半濁音になる文字以外には入れることができません。

編集する

7 タイトルを登録する

ENTERを押します。
表示窓には「EDITING」と表示され、タイトルが登録されます。

- 次のタイトル入力表示があらわれます。引き続き、タイトル入力を行うこともできます。演奏中は次の曲の演奏になります。
- 最後の曲にタイトルをつけ終わると、MDの通常表示に戻ります。
  演奏中は、最後の曲がくり返し演奏されます。

8 タイトル入力を終了する

CANCELボタンを押します。
通常モードに戻ります。

- **MD TITLE INPUT/EDITをくり返し押して、通常演奏に戻すこともできます。**
- **MDを取り出すときは、本体のMD open/close ▲を押します。**
  MDが出てくる前に「UTOCwriting」表示が点滅し、編集した内容がMDに記録されます。

ご注意

- ステレオ長時間(LP2またはLP4)録音中に曲タイトルの入力した直後に入力済みの曲タイトルを←で再度表示させると誤表示することがあります。このようなときは、MD TITLE INPUT/EDITを押してタイトル入力を解除してください。
  このときENTERを押すと、誤表示された曲タイトルがついてしまいますので押さないでください。

お知らせ

- 録音中にもタイトルの入力をすることができます。
- MD TITLE INPUT/EDITを押したときの曲、または→(または←)で選んだ曲にタイトルをつけます。
- CDの録音中(1曲録音は除く)は、次の曲のタイトル入力画面が表示されます。16曲分まで録音中にタイトルを先行して入力することもできます(タイトルリザーブ機能)。手順**4**〜手順**6**の操作をくり返します。
- 録音が終了するまでにENTERが押されなかったときは、その曲のタイトルは無効になります。

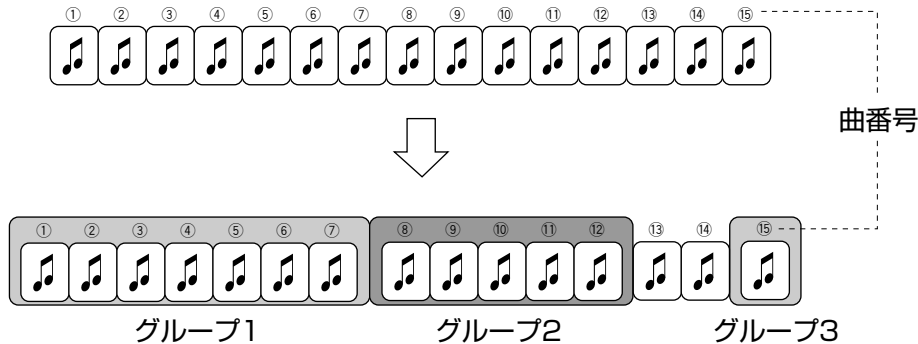
- MDに入力できる文字数について
  1枚のMDにつき、最大1792文字(英数字·記号)、1曲につき最大61文字のタイトル入力ができます。ただし、MDの記録方式の制約により実際に入力できる文字数は、これより少なくなります。
  カタカナは1文字あたりのデータ量が多いため、入力できる文字数が少なくなります。また、スペース(空白)は文字と同じ量のデータを必要とします。
  ステレオ長時間録音(LP2またはLP4)したときは、曲タイトルの先頭に「LP:」とスペース(空白4文字分)が自動的に記録されるため、曲数が多いと入力できる文字数がさらに少なくなります。

  例:
  - ステレオ長時間録音で120曲を録音したMDでは、全曲に英数字で10文字ずつタイトル入力することができます。
  - ステレオ長時間録音で60曲を録音したMDでは、全曲にカタカナで10文字ずつタイトル入力することができます。

MDグループを編集する

本機にはMDの新しい機能、MDグループ機能があります。ここでは、グループとその編集について説明します。

MDグループとは

ステレオ長時間録音(MDLP)によって1枚のMDに、今までよりも多くの曲(トラック)が録音できるようになりました。MDグループ機能は、曲(トラック)を最大99のグループに分けて登録することで、管理をより便利にするためのものです。

グループは、1曲(トラック)でも設定できます。また、連続する曲(トラック)をグループとして登録することができます。
MDグループ機能には、次のものがあります。

- **グループ演奏**　：1つのグループの曲(トラック)だけを演奏します(➡ 33 ページ参照)。リピート演奏もできます。
- **グループ録音**　：録音と同時に、複数の曲(トラック)をまとめて1つのグループとして登録できます(➡ 39 ページ参照)。
- **グループタイトル**　：ディスクや曲(トラック)と同じように、グループにもタイトルをつけたり編集したりすることができます(➡ 44 ページ)。
- **グループ編集**　：下の項目をご覧ください。

MDグループの編集

MDグループの編集には次の8つの機能があります。これらの機能は、MD GROUPを押しながらMD TITLE INPUT/EDITを押すごとに、「GR TITLE？」に続いて呼び出されます。これらの機能を組み合わせて使うこともできます。

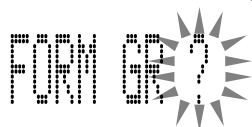
- 「**グループをつくる(FORM GR)**」：グループに属していない曲(トラック)から新しいグループを作ります。上の例では、13曲目と14曲目から4つめのグループを作ることです(➡ 48 ページ参照)。
- 「**グループに登録する(ENTRY GR)**」：曲をすでにあるグループに登録します。上の例では、13曲目をグループ2に付け加えます(➡ 48 ページ参照)。
- 「**グループを分ける(DIVIDE GR)**」：1つのグループを2つに分けます。上の例では、グループ1を2つに分けてグループ総数を4にすることです(➡ 49 ページ参照)。
- 「**グループをつなげる(JOIN GR)**」：2つのグループをまとめて1つにします。上の例では、グループ1とグループ2を1つのグループにまとめることです(➡ 50 ページ参照)。
- 「**グループを移動する(MOVE GR)**」：グループの移動をします。上の例では、グループ2をグループ1の前に移動させることです(➡ 51 ページ参照)。
- 「**グループを解消する(UNGROUP)**」：1つのグループを解消します。曲(トラック)の削除はしません(➡ 51 ページ参照)。
- 「**全グループを解消する(UNGR ALL)**」：すべてのグループを解消して、グループのない状態にします。曲(トラック)の削除はしません(➡ 52 ページ参照)。
- 「**グループを削除する(ERASE GR)**」：グループと共にグループ内のすべての曲(トラック)を削除します。上の例では、グループ2の削除とともに8曲目から12曲目までが削除されます(➡ 52 ページ参照)。

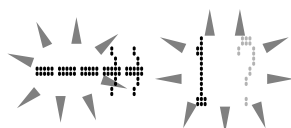
お知らせ

- 再生専用MDは編集することができません。編集の操作をすると「PLAYBACK DISC」が表示されます。
- 誤消去防止状態になっているMDは編集することができません。編集の操作をすると「DISC PROTECTED」が表示されます。
- MDの演奏モードがプログラム演奏またはランダム演奏になっているときに、MD TITLE INPUT/EDITを押すと編集モードになります。プログラムされているときは、プログラムの内容が削除されます。
- 編集操作が終了すると「EDITING」が表示されたあとに「UTOCwriting」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。「UTOCwriting」が点滅表示されている間は、振動を与えないように注意してください。演奏できなくなるおそれがあります。
- 操作の途中でCANCELまたはMD TITLE INPUT/EDITを押すと、編集操作を中止することができます。

グループをつくる(FORM GR)

どのグループにも登録されていない連続した曲から新しいグループをつくります。1曲でもグループにすることができます。
編集用のMDを挿入して演奏停止にしておきます。

1 MD GROUPを押しながらMD TITLE INPUT/EDITをくり返し押して「FORM GR?」を選ぶ

2 SETを押す

3 ▶▶I(またはI◀◀)を押して新しいグループの先頭の曲を選び、SETを押す

- 演奏中は、選んだ番号の曲がくり返し演奏されます。
- 数字ボタン(1～10、+10)を押して、曲番号を直接選ぶこともできます。
- 他のグループに属している曲を選択したときは、「GROUP TRACK」と表示され、次の手順に進めません。

4 ▶▶I(またはI◀◀)を押して新しいグループの最後の曲を選び、SETを押す

- 演奏中は、選んだ番号の曲がくり返し演奏されます。
- 数字ボタン(1～10、+10)を押して、曲番号を直接選ぶこともできます。
- 他のグループに属している曲を選択したときは、「GROUP TRACK」と表示され、次の手順に進めません。
- 先頭の曲から最後の曲の間に他のグループがあるときは、次の手順に進めません。
- やり直すときは、CANCELを押します。
- 途中でやめるときは、MD TITLE INPUT/EDITを押します。

5 ENTERを押す

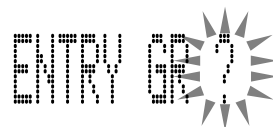
「EDITING」が表示されたあと、「UTOCwriting」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

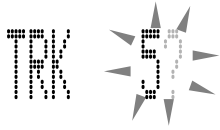
お知らせ

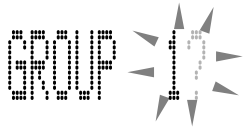
- もとに戻すときは、「グループを解消する(UNGROUP)」(➡ 51 ページ参照)の操作をします。

グループに登録する(ENTRY GR)

曲を1つ選び、指定したグループの最後の曲として登録します。
登録したいグループにすでに登録されている曲は、登録できません。
編集用のMDを挿入して演奏停止にしておきます。

1 MD GROUPを押しながらMD TITLE INPUT/EDITをくり返し押して「ENTRY GR?」を選ぶ

2 SETを押す

3 ▶▶|(または|◀◀)を押してグループに登録する曲を選び、SETを押す

- 演奏中は、選んだ番号の曲がくり返し演奏されます。
- 数字ボタン(1～10、+10)を押して、曲番号を直接選ぶこともできます。

4 ▶▶|(または|◀◀)を押して登録先のグループを選び、SETを押す

- 選ばれた番号の曲がくり返し演奏されます。
- 数字ボタン(1～10、+10)を押して、グループ番号を直接選ぶこともできます。
- やり直すときは、CANCELを押します。
- 途中でやめるときは、MD TITLE INPUT/EDITを押します。

5 ENTERを押す

「EDITING」が表示されたあと、「UTOCwriting」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

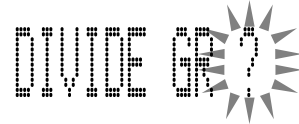
- 登録ができないときは、「CANNOT ENTRY!」と表示され、手順4に戻ります。

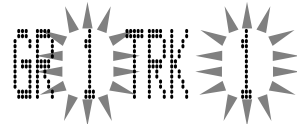
お知らせ

- もとに戻すときは、「曲を移動する(MOVE)」(➡ 55ページ参照)の操作をします。

グループを分ける(DIVIDE GR)

1つのグループを2つに分けます。新しくできる2つのグループのうち、後ろのグループの先頭の曲を指定します。グループ番号は付け直されます。
編集用のMDを挿入して演奏停止にしておきます。

1 MD GROUPを押しながらMD TITLE INPUT/EDITをくり返し押して「DIVIDE GR?」を選ぶ

2 SETを押す

3 ▶▶|(または|◀◀)を押してどの曲から分けるかを選び、SETを押す

選ばれた曲を含むグループ番号が表示されます。グループに登録されていない曲を選んだときは「--」とあらわれます。

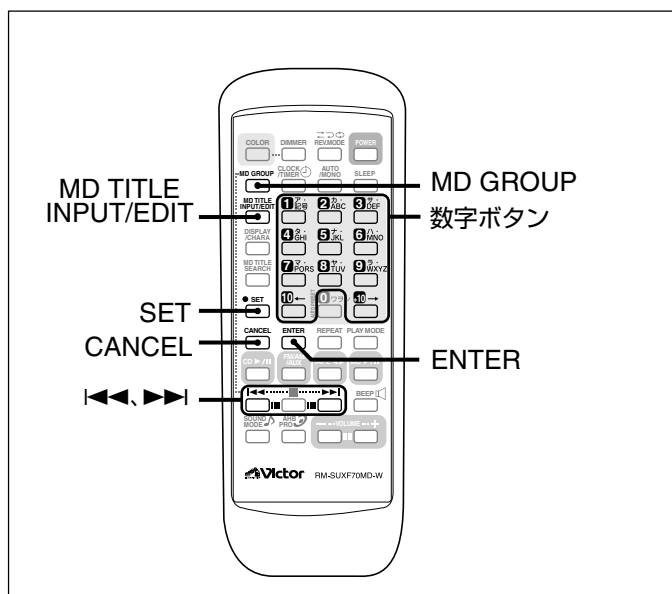
- 選ばれた番号の曲がくり返し演奏されます。
- 数字ボタン(1～10、+10)を押して、直接曲を選ぶこともできます。
- グループの先頭の曲やグループに登録されていない曲を選んだときは、次の手順に進めません。
- 途中でやめるときは、CANCELを押します。

4 ENTERを押す

「EDITING」が表示されたあと、「UTOCwriting」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

お知らせ

- もとに戻すときは、「グループをつなげる(JOIN GR)」(➡ 50ページ参照)の操作をします。

MDグループの編集 (つづき)

グループをつなげる(JOIN GR)

となりあう2つのグループを1つのグループにします。
タイトルがついているときは、番号が小さい方のグループタイトルが残ります。グループ番号は付け直されます。
編集用のMDを挿入して演奏停止にしておきます。

1 MD GROUPを押しながらMD TITLE INPUT/EDITをくり返し押して「JOIN GR?」を選ぶ

2 SETを押す

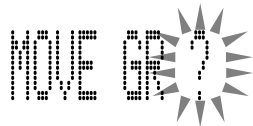
3 ▶▶|(または|◀◀)を押してつなげるグループの組を選び、SETを押す

連続するグループ番号が、表示されます。グループがないときは「--」と表示されます。

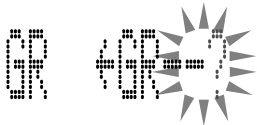
- 2つのグループの間に、グループに登録されていない曲があると、つなげることはできません。
- 途中でやめるときは、CANCELを押します。

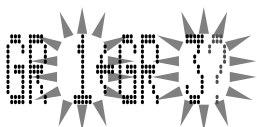
4 ENTERを押す

「EDITING」が表示されたあと、「UTOCwriting」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

- グループの間に曲があったり、「--」と表示されたままENTERを押すと、「CANNOT JOIN」と表示され、手順3に戻ります。

お知らせ

- もとに戻すときは、「グループを分ける(DIVIDE GR)」(➡ 49ページ参照)の操作をします。

グループを移動する(MOVE GR)

1つのグループを指定したところへ移動させます。グループ番号は付け直されます。
編集用のMDを挿入して停止状態にしておきます。

1 MD GROUPを押しながら MD TITLE INPUT/EDITをくり返し押して「MOVE GR?」を選ぶ

2 SETを押す

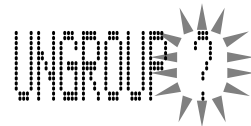
3 ►►I(またはI◄◄)を押して移動させるグループを選び、SETを押す

4 ►►I(またはI◄◄)を押して移動先を選び、SETを押す

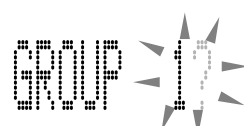
例：グループ3をグループ1の前に移動させます。

- やり直すときは、CANCELを押します。
- 途中でやめるときは、MD TITLE INPUT/EDITを押します。

5 ENTERを押す

「EDITING」が表示されたあと、「UTOCwriting」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

お知らせ

- もとに戻すときは、もう1度「グループを移動する(MOVE GR)」の操作をします。

グループを解消する(UNGROUP)

指定したグループを解消して、曲のグループ登録をやめます。解消されたグループ内の曲は削除されません。グループ番号は、付け直されます。
編集用のMDを挿入して停止状態にしておきます。

1 MD GROUPを押しながら MD TITLE INPUT/EDITをくり返し押して「UNGROUP?」を選ぶ

2 SETを押す

3 ►►I(またはI◄◄)を押して解消するグループを選び、SETを押す

- 途中でやめるときは、CANCELを押します。

4 ENTERを押す

「EDITING」が表示されたあと、「UTOCwriting」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

お知らせ

- もとに戻すときは、「グループをつくる(FORM GR)」(➡ 48ページ参照)の操作をします。

編集する

MDグループの編集 (つづき)

全グループを解消する(UNGR ALL)

すべてのグループを解消して、曲のグループ登録をやめます。
解消されたグループ内の曲は削除されません。
編集用のMDを挿入して停止状態にしておきます。

1 MD GROUPを押しながら MD TITLE INPUT/EDITをくり返し押して「UNGR ALL?」を選ぶ

2 SETを押す

- 途中でやめるときは、CANCELを押します。

3 ENTERを押す

「EDITING」が表示されたあと、「UTOCwriting」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

お知らせ

- もとに戻すときは、「グループをつくる(FORM GR)」(➡ 48 ページ参照)の操作をします。

グループを削除する(ERASE GR)

グループをMDから削除します。削除されたグループ内の曲も同時に削除されます。グループ番号は、付け直されます。
編集用のMDを挿入して停止状態にしておきます。

1 MD GROUPを押しながら MD TITLE INPUT/EDITをくり返し押して「ERASE GR?」を選ぶ

2 SETを押す

3 ⏭(または⏮)を押して削除するグループを選び、SETを押す

- 途中でやめるときは、CANCELを押します。

4 ENTERを押す

「EDITING」が表示されたあと、「UTOCwriting」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

ご注意

- 一度削除した曲は、もどすことができません。大切な録音の入ったMDは、誤消去防止つまみを開いた状態にしておいてください(➡ 65 ページ参照)。

トラックを編集する

TRACK EDIT「トラック編集」とは

- MDの編集には「曲を分ける」、「曲をつなげる」、「曲を移動する」、「曲を削除する」、「全曲を削除する」があり、機能を組み合わせて使うこともできます。
- 再生専用MDは編集することができません。編集の操作をすると「PLAYBACK」が表示されます。
- 誤消去防止状態になっているMDは編集することができません。編集の操作をすると「DISC PROTECTED」が表示されます。
- MDの演奏モードがプログラム演奏またはランダム演奏になっているときに、MD TITLE INPUT/EDITを押すと編集のモードになります。プログラムされているときは、プログラムの内容が削除されます。
- 編集操作が終了すると「EDITING」が表示されたあとに「UTOCwriting」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。
  「UTOCwriting」が点滅表示されている間は、振動を与えないように注意してください。演奏できなくなるおそれがあります。
- 操作の途中でCANCELまたはMD TITLE INPUT/EDITを押すと、編集操作を中止することができます。

MD TITLE INPUT/EDIT を押すごとに、「DISC TITLE？」に続いて次の 5 つの機能が呼び出されます。

• 停止中または演奏中に、リモコンで操作します。

曲を分ける (DIVIDE)

曲の途中や頭出しの必要なところにトラックマークを追加して曲を分けます。

曲をつなげる (JOIN)

トラックマークを削除して、1 つ前の曲と 1 つにまとめます。

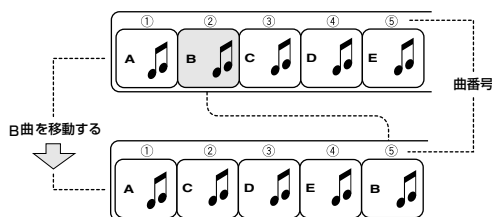
曲を移動する (MOVE)

好きな順番に曲を入れ換えます。

曲を削除する (ERASE)

不要な曲やナレーションなど、削除したい曲を一度に 15 曲まで指定して削除することができます。曲番号があらたにふり直されます。

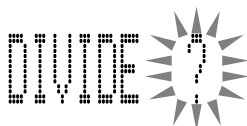
全曲を削除する (ALL ERASE)

全部の曲をすべて消去します。

お知らせ

トラックマークとは
曲ごとの頭の部分に頭出しのためについているマークのことです。トラックマークとトラックマークの間が曲としてみなされ、演奏順に番号表示されます。これが曲番号(**トラックナンバー**)です。

曲を分ける(DIVIDE)

曲の途中や頭出しの必要なところにトラックマークを追加して曲を分けることができます。
メドレーやFM放送などを録音したあとに曲番号を割り当てることができます。分けた曲以降の曲番号は自動的にふえます。
編集用のMDを用意してください。

1 MD TITLE INPUT/EDITをくり返し押して「DIVIDE?」を選ぶ

2 SETを押す

MDが停止中のときは、1曲目の演奏が始まります。
すでに演奏中のときは、いま演奏している曲が最初から演奏されます。

3 ▶▶|(または|◀◀)を押して編集したい曲を選ぶ

- 数字ボタン(1～10、+10)を押して、曲番号を直接選ぶこともできます。

4 曲を分けたいところでSETを押す

「POSIT.　　0?」と表示され、SETを押したところから3秒間がくり返し演奏されます。

- 希望どおりに分けられたときは、手順6に進みます。
- 分けたいところをやり直すときは、CANCELを押します。
- 曲の頭やナレーションなどに食い込んでいるときは、手順5へ進みます。分ける場所が微調節できます。

5 →(または←)を押して微調節する

±128ポジション(約±8秒)の範囲で分けるところが調節できます。
トラックマークが少しずつ移動し、移動したところから3秒後までがくり返し演奏されます。

- 分けたいところをやり直すときは、CANCELを押します。

6 SETを押す

- 途中でやめるときは、MD TITLE INPUT/EDITを押します。

7 ENTERを押す

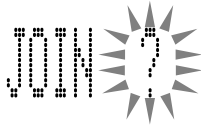
「EDITING」が表示されたあと、「UTOCwriting」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

お知らせ

- 編集を途中でやめるときは、MD TITLE INPUT/EDITを押します。
- もとに戻すときは、「曲をつなげる(JOIN)」(➡ 55ページ参照)の操作をします。
- MDによっては「曲を分ける」ことができないものがあります。(例えば、254曲録音してあるものなど)このようなMDのときは、手順7でENTERを押すと「DISC FULL」が表示されます。

曲をつなげる(JOIN)

不要なトラックマークを取り除いて、連続する2曲を1曲にまとめることができます。
JOINをすると曲番号はつけ直されます。
編集用のMDを用意してください。

1 MD TITLE INPUT/EDITをくり返し押して「JOIN?」を選ぶ

2 SETを押す

「−−−＋　1　?」と表示されます。

3 ▶▶I(またはI◀◀)を押してつなげたい2つの曲を選ぶ

表示は「1+2？」「2+3？」のように次々と変わっていきます。

- 数字ボタン(1～10、+10)を押して、曲番号を直接選ぶこともできます。

4 SETを押す

- つなげる曲を選び直すときは、CANCELを押します。
- 途中でやめるときは、MD TITLE INPUT/EDITを押します。

5 ENTERを押す

「EDITING」が表示されたあと、「UTOCwriting」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

ご注意

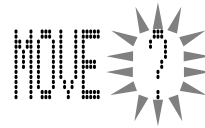
- 録音モード(SP/LP2/LP4)の異なる曲をつなげることはできません。つなげようとすると「CANNOT JOIN」が表示されます。

お知らせ

- 編集を途中でやめるときは、MD TITLE INPUT/EDITを押します。
- もとに戻すときは、DIVIDE(ディバイド)の操作をします(➡ 54ページ「曲を分ける(DIVIDE)」参照)。
- MDによっては「曲をつなげる」ことができないものがあります(例えば、1曲しか録音されていないMDなど)。

曲を移動する(MOVE)

1つの曲を指定したところへ移動させます。
編集用のMDを用意してください。

1 MD TITLE INPUT/EDITをくり返し押して「MOVE?」を選ぶ

2 SETを押す

「　　←　1　?」と表示されます。

3 ▶▶I(またはI◀◀)を押して移動したい曲番号を選び、SETを押す

表示は「　←　2 ?」「　←　3 ?」のように変わります。

- 数字ボタン(1～10、+10)を押して、曲番号を直接選ぶこともできます。
- 曲番号を選び直すときは、CANCELを押します。

4 ▶▶I(またはI◀◀)を押して移動先の曲番号を選び、SETを押す

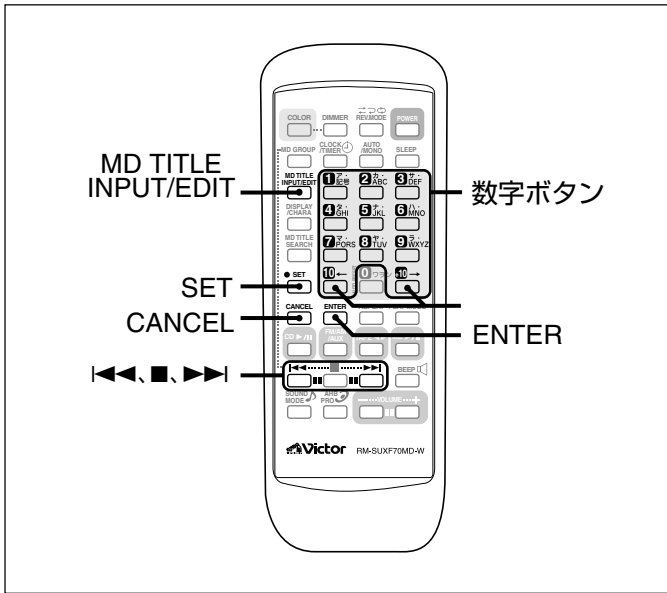
表示は「7←　2　?」のよう表示されます。
この例では、２曲目を７番目に移動します。

- 数字ボタン(1～10、+10)を押して、曲番号を直接選ぶこともできます。
- 移動先の曲がグループ登録されているときは、移動後そのグループに登録されます。また、移動先の曲がグループ登録されていないときは、移動後にグループ登録からはずれます。
- 移動先番号を選び直すときは、CANCELを押します。
- 途中でやめるときは、MD TITLE INPUT/EDITを押します。

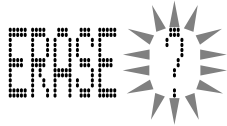
5 ENTERを押す

「EDITING」が表示されたあと、「UTOCwriting」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

お知らせ

- 編集を途中でやめるときは、MD TITLE INPUT/EDITを押します。
- MDによっては「曲を移動する」ことができないものがあります（例えば、１曲しか録音されていないMDなど）。

曲を削除する(ERASE)

指定した曲を削除します。最大15曲まで1回の操作で削除することができます。
曲番号は付け直されます。
編集用のMDを用意してください。

1 MD TITLE INPUT/EDITをくり返し押して「ERASE?」を選ぶ

2 SETを押す

「1　ERASE?」と表示されます。

3 ▶▶I(またはI◀◀)を押して消したい曲番号を選び、SETを押す

表示窓に消したい曲の曲番号が表示されます。
15曲まで選ぶことができます。
- 数字ボタン(1〜10、+10)を押して、曲番号を直接選ぶこともできます。

4 ENTERを押す

「<ERASE>」と表示されます。
- やりなおすときは、CANCELを押します。
- 途中でやめるときは、MD TITLE INPUT/EDITを押します。

5 ENTERを押す

指定した曲が削除されます。
「EDITING」が表示されたあと「UTOCwriting」が点滅して編集した内容がMDに記録されます。

全曲を削除する(ALL ERASE)

MDに録音されている曲をすべて削除して**ブランクディスク**にします。
編集用のMDを用意してください。

1 MD TITLE INPUT/EDITをくり返し押して「ALL ERASE?」を選ぶ

2 SETを押す

「<ALL ERASE>」と表示されます。
- やり直すときは、CANCELを押します。

3 ENTERを押す

すべての曲が削除されます。
「EDITING」が表示されたあと「UTOCwriting」が点滅して「BLANK DISC」と表示されます。

お知らせ

- 編集を途中でやめるときは、MD TITLE INPUT/EDITを押します。

ご注意

- 一度削除した曲は、もどすことができません。大切な録音の入ったMDは、誤消去防止つまみを開いた状態にしておいてください(➡ 65 ページ参照)。

タイマーを使う

本機では、「SLEEP TIMER」「REC TIMER」「DAILY TIMER」の3種類のタイマー機能を使うことができます。

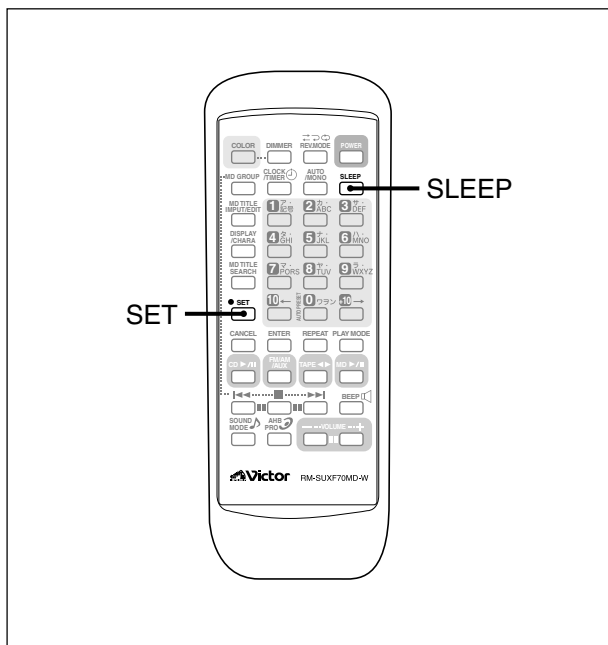
タイマー操作をする前に

タイマーの設定をする前に必ず本機の時計を現在時刻に正しく合わせておいてください(➡ 16 ページ参照)。

- 時計合わせをしていないと、タイマーは正しく働きません。

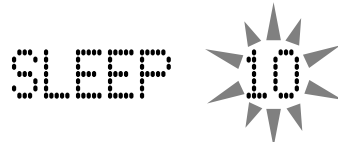
SLEEPタイマー(おやすみタイマー)

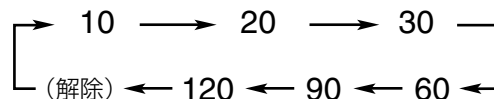
音楽や放送を聞きながら眠りたいときに使います。
電源を**「切」**にするまでの時間を設定し、設定した時間が経過すると自動的に電源が**「切」**になります。

- **おやすみタイマーの設定をする前に、必ず本機の時計を現在時刻に合わせておいてください(➡ 16 ページ参照)。**
- リモコンで操作します。

お知らせ

- REC タイマーとの併用もできますが、SLEEP タイマー動作中にRECタイマーの開始時刻になるとRECタイマーに切り換わります。

1 SLEEP を押す

表示窓で⏻が点滅し「SLEEP 10」と表示されます。

- ボタンを押すごとに、スリープ時間は次のように切り換わります。

10 → 20 → 30 → 60 → 90 → 120 → (解除) → 10

2 SET を押す

上記の例では10分後に電源が**「切」**の設定になります。
表示窓が通常の表示に戻ります。⏻が点灯します。

- およそ5秒間ボタンを押さないでいると、自動的に設定されます。
- SLEEPタイマーを設定すると表示窓が暗くなります(オートディマー機能)。

設定したスリープ時間を変更する

- SLEEPタイマー設定後に**SLEEP**を1回押すと、電源が**「切」**になるまでの**残り時間**が表示されます。
- 設定を変更するときは、もう一度**SLEEP**をくり返し押して希望の時間を選びます。

SLEEPタイマーを取り消す

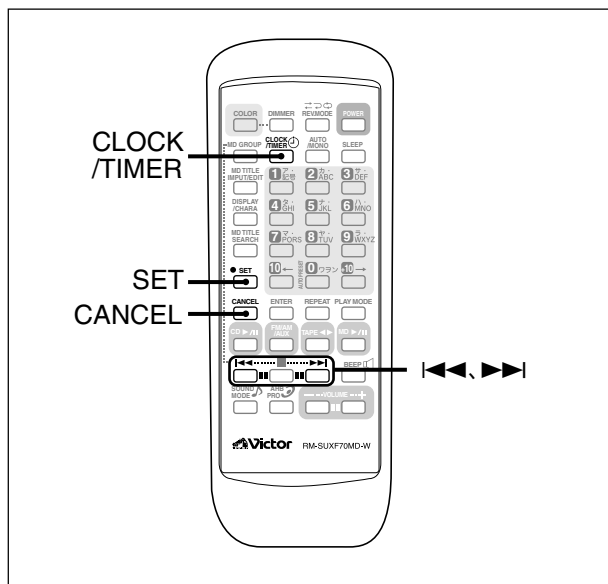
- SLEEP時間の表示が消えるまで、**SLEEP**をくり返し押します。SLEEPタイマーが解除されます。
- **POWER(電源)**を押して電源を**「切」**にしたときも、SLEEPタイマーは解除されます。

SLEEPタイマーでおやすみになり、DAILYタイマーで目覚めるには

1. DAILYタイマーを設定する(➡ 60 ~ 61 ページ参照)
2. 聞きたいソースを演奏する
3. **SLEEP**を押して時間を設定する
   - 設定した時間が経過すると自動的に電源が**「切」**になり、DAILYタイマーの開始時刻で電源が**「入」**になります。

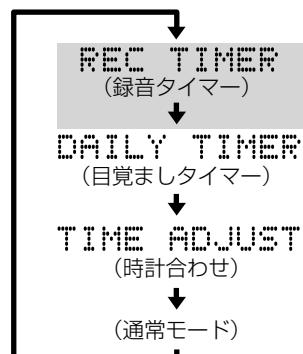
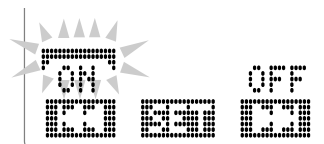
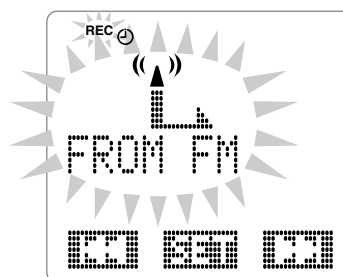
RECタイマー(録音タイマー)

留守中などにラジオ番組やLINE IN端子に接続した機器から留守録音をするときに使います。
開始時刻(電源が「入」になる時刻)、終了時刻(電源が「切」になる時刻)、録音する放送局または録音する機器を設定します。
設定後に1回だけ動作します。

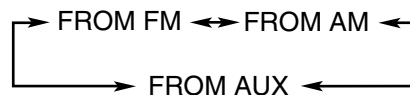
- **録音タイマーの設定をする前に、必ず本機の時計を現在時刻に合わせておいてください**(➡ 16 ページ参照)。
- リモコンで操作します。
- 電源「入/切」どちらの状態でもできます。

ご注意

- 他の機器を接続して留守録音をするときは、タイマー機能のついた機器をご使用ください。
- RECタイマーでFMまたはAMをソース(音源)に選ぶときは、あらかじめ放送局をプリセットしておく必要があります(➡ 21 ページ「放送局を選んで記憶させる(プリセット)」参照)。

1 CLOCK/TIMERを押して「REC TIMER」と表示させる

ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

2 ⏮ を押して「ON」を選ぶ

3 SET を押す

4 録音するソース(音源)を選ぶ

⏭(または ⏮)をくり返し押して、録音するソース(音源)を選びます。ボタンを押すごとに、ソース(音源)表示は次のように切り換わります。

5 SET を押す

- AUXを選んだときは、手順6に進んでください。
- FMまたはAMをソース(音源)に選ぶと、放送局の設定に移ります。⏭(または ⏮)をくり返し押して、録音する放送局を選んでください。プリセットされた放送局から選びます。

ここから手順8の途中までは、CANCELを押して設定をやり直すことができます。

6 録音先を選び、SET を押す

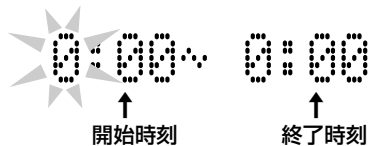
録音先をMDまたはテープから選びます。
▶▶I(または I◀◀)を押すと「TO MD」と「TO TAPE」が切り換わります。

7 録音方式を選び、SET を押す

▶▶I(または I◀◀)を押していずれかを選び、SETを押します。

- 手順6で「TO MD」を選んだときは、録音用のMDを挿入してMDモードを「SP」、「LP2」、「LP4」から選びます。
- 手順6で「TO TAPE」を選んだときは、録音用のテープを入れてリバースモードを「⇄(往復)」または「⇄(片道)」から選びます。

8 録音開始時刻と終了時刻を設定する

時刻表示は「24時間表示」方式です。

開始時刻の「時」「分」 ➡ 終了時刻の「時」「分」の順番で合わせていきます。

▶▶I(または I◀◀)または数字ボタンで時刻を合わせて、SETを押します。

終了時刻の「分」を確定するまでは、CANCELを押して設定をやり直すことができます。

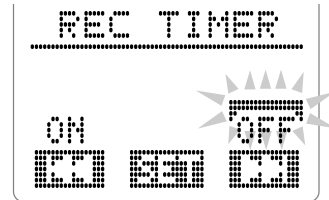
9 設定内容を確認する

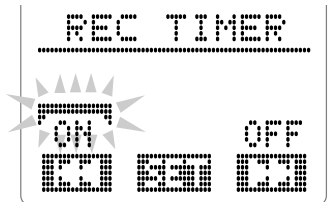
終了時刻の「分」を確定すると、これまでの設定が表示されます。その後、通常モードになります。

⋮

- タイマーの開始時刻になるとRECタイマーがスタートし、終了時刻になると電源が自動的に**「切」**になります。RECタイマーは解除されます。
- RECタイマー動作中は、スピーカーから音は出ません。

RECタイマーを解除する

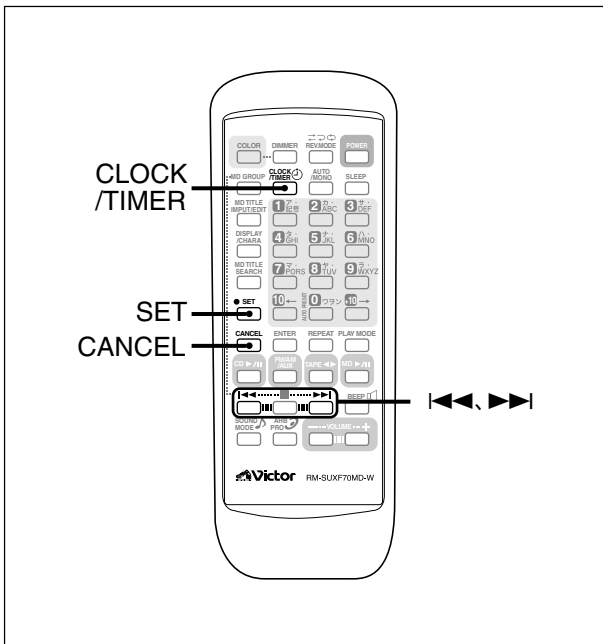
設定を解除するには、手順2で▶▶Iを押して「OFF」を選び、SETを押してください。
⏲とREC表示が消えます。

RECタイマーを再設定する

RECタイマーの設定内容は記憶されています。
再設定をするには、手順2でI◀◀を押して「ON」を選び、SETを押してください。
⏲とREC表示が点灯します。

お知らせ

- 「RECタイマー」で設定した内容は、改めて設定し直さない限り同じ内容が記憶されています。
- 電源コードを外したり停電などで電源が切れたときは、「RECタイマー」の設定が解除されることがあります。設定内容が消えてしまったときは、時計とタイマーをもう一度設定し直してください。

DAILYタイマー(目覚ましタイマー)

目覚ましのように毎日同じ時刻に動作するタイマーです。
開始時刻(電源が「入」になる時刻)、終了時刻(電源が「切」になる時刻)、聞きたいソース(音源)、音量を設定します。
タイマーが動作を始めるとき、音量は徐々に大きくなります(ウェイクアップボリューム機能)。

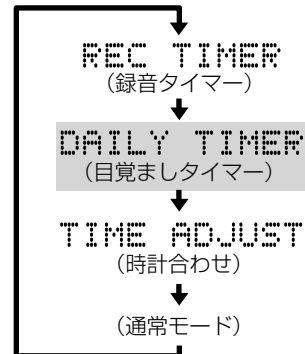
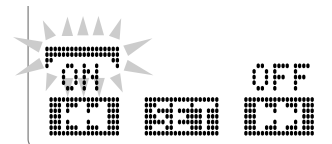
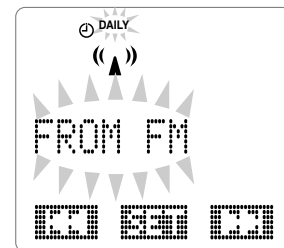
- **目覚ましタイマーの設定をする前に、必ず本機の時計を現在時刻に合わせておいてください**(➡ 16ページ参照)。
- リモコンで操作します。
- 電源「**入/切**」どちらの状態でも設定できます。

ご注意

- 他の機器を接続して演奏するときは、タイマー機能のついた機器をご使用ください。

お知らせ

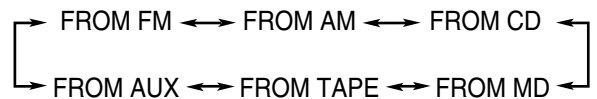
- CDやMD、TAPEを選んだときは、それぞれ演奏用のCDやMD、テープの準備をしておきます(➡ 23 28 35ページ参照)。
- 放送(FMまたはAM)を選んだときは、**SET**を押したあとに、⏭ (または ⏮)を押してプリセット番号を選びます。
- RECタイマーの併用もできますが、DAILYタイマー動作中にRECタイマーの開始時刻になるとRECタイマーに切り換わります。
- CDやMDの演奏は、収録されている1曲目から始まります。ダイレクト演奏、プログラム演奏、ランダム演奏はできません。

1 CLOCK/TIMERを押して「DAILY TIMER」と表示させる

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

2 ⏮ を押して「ON」を選ぶ

3 SET を押す

4 演奏するソース(音源)を選ぶ

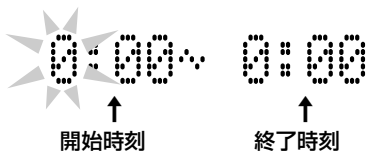
⏭(または ⏮)をくり返し押して、演奏するソース(音源)を選びます。ボタンを押すごとに、ソース(音源)表示は次のように切り換わります。

FROM FM ⟷ FROM AM ⟷ FROM CD
FROM AUX ⟷ FROM TAPE ⟷ FROM MD

5 SET を押す

- FMまたはAMをソースに選んだときは、選局の設定に移ります。⏭(または ⏮)をくり返し押して、プリセットされた放送局から聞きたい放送局を選びます。その後、**SET**を押してください。

ここから手順7までは、CANCELを押して設定をやり直すことができます。

6 演奏開始時刻と演奏終了時刻を設定する

時刻表示は「24時間表示」方式です。

開始時刻の「時」「分」➡終了時刻の「時」「分」の順番で合わせていきます。

►►I（またはI◄◄）または数字ボタンで数字を合わせて、SETを押します。

7 タイマー動作中の音量を設定する

►►I（またはI◄◄）を押して、タイマー動作中の音量を設定します。SETを押すと、設定終了です。

- 「VOLUME – –」を選ぶと、電源を**「切」**にするときの音量で演奏します。

音量の設定を確定するまでは、CANCELを押して設定をやり直すことができます。

8 設定内容を確認する

音量の設定を確定すると、これまでの設定が表示されます。その後、通常モードになります。

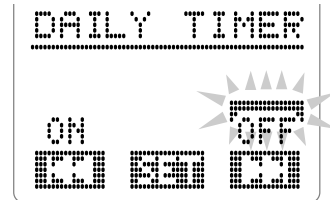
9 POWER（電源）を押して電源を「切」にする

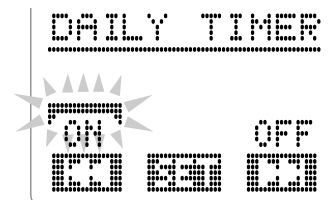
表示窓に⏻とDAILY表示が点灯していることを確認してください。

⋮

- タイマーの開始時刻になるとDAILYタイマーがスタートし、終了時刻になると電源が自動的に**「切」**になります。
- DAILYタイマーは、解除されるまで毎日同じ時刻にスタートします。

DAILYタイマーを解除する（休日前夜など）

DAILYタイマーの設定内容は記憶されています。
設定を解除するには、手順**2**で►►Iを押して「OFF」を選び、SETを押してください。⏻とDAILY表示が表示窓から消えます。

DAILYタイマーを再設定する（出勤・登校の前夜など）

DAILYタイマーの設定内容は記憶されていますので、DAILYタイマーを解除しても簡単に再設定することができます。
再設定をするには、手順**2**でI◄◄を押して「ON」を選び、SETを押してください。⏻とDAILY表示が点灯します。

お知らせ

- 「DAILYタイマー」で設定した内容は、改めて設定し直さない限り同じ内容が記憶されています。
- 電源コードを外したり停電などで電源が切れたときは、「DAILYタイマー」の設定が解除されることがあります。設定内容が消えてしまったときは、時計とタイマーをもう一度設定し直してください。

MD/CDのメッセージ

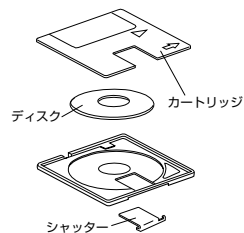
MDのメッセージ	意　味	処　置
BLANK DISC	何も録音されていないMDが入っている。	新しく録音するとき以外は、録音済みのMDに取り換えてください。
CANNOT ENTRY!	曲を同じグループに登録しようとした。	正しい曲を選んでください(➡ 48 ページ参照)。
CANNOT FORM!	グループをはさんでグループにする曲を選んでしまった。	グループをはさまないよう曲を選んでください(➡ 48 ページ参照)。
CANNOT GROUP!	グループに関する情報量の制限を越えている。	それ以上のグループは作れません。
CANNOT JOIN	録音モードが異なる曲、または8秒以下の短い曲をつなげようとした。	MDのシステム上の制約です。
CANNOT LISTEN!	倍速録音中に音量を調節しようとした。	倍速録音中は、CDの音は聞けません。
CANNOT TITLE	MDに合計1792文字を越えて入力しようとした。	それ以上のタイトルは入力できません。
CD PROGRAM CANNOT X4 RECORDING!	CDのプログラム演奏を4倍速(X4 SPEED)で録音しようとした。	4倍速(X4 SPEED)以外の録音の速さを選んでください(➡ 39 ページ参照)。
CD RANDOM CANNOT X4 RECORDING!	CDのランダム演奏を4倍速(X4 SPEED)で録音しようとした。	4倍速(X4 SPEED)以外の録音の速さを選んでください(➡ 39 ページ参照)。
DISC ERROR	MDが異常 (損傷している)。	MDを取り換えてください。
DISC FULL	ディスクの空き時間が足りない。トラック数が254を超える。	他の録音用MDに取り換えてください。
DISC PROTECTED	MDが誤消去防止状態のまま編集または録音をしようとした。	MDの誤消去防止つまみを閉じてください(➡ 65 ページ参照)。
EMERGENCY STOP	録音中に異常が発生した。	■ を押していったん停止してから、**MD open/close** ▲(MD取り出し)を押してMDを取り出し、もう一度操作しなおしてください。
GROUP FULL	100以上のグループを作ろうとした。	グループは99まで作ることができます。
GROUP TRACK	グループ登録されている曲を選んで新しいグループを作ろうとした。	グループに登録されていない曲を選んでください(➡ 48 ページ参照)。
HCMS CANNOT COPY	倍速で録音した曲を、倍速録音を開始した時点から74分以内にまた録音しようとした。	著作権保護のため内部タイマーが働きます。74分以上待ってから録音を開始してください。
LOAD ERROR	MDの入れ方がおかしい。	MDを正しく入れてください。
MD NO DISC	MDが入っていない。	MDを入れてください。
NON-AUDIO CANNOT COPY	DVDやCD-ROM(ビデオ CD など)をデジタル録音しようとした。	録音を中止してください(DVDやビデオCDは再生できません)。
PLAYBACK DISC	再生専用MDに録音･編集しようとした。	録音用MDに取り換えてください。
SCMS CANNOT COPY	CD-R/CD-RW(デジタルオーディオ)のコピーを作ろうとした。	**POWER(電源)**を押していったん電源**「切」**にした後、本機のCDプレーヤーではなく外部入力を使って録音してください(➡ 64 ページ参照)。
TRACK PROTECTED	トラックプロテクトがかかっている。	本機では解除できません。プロテクトをかけたときの機器で解除してください。
X4 SPEED CANNOT COPY LOW TEMP	使用環境の温度が4倍速(X4 SPEED)で録音するには低すぎます。	5°C～35°Cの範囲でお使いください。

CDのメッセージ	意　味	処　置
CANNOT PLAY	演奏できないCDを演奏しようとした。または傷の多いCDを演奏しようとした。	ディスクを交換してください。
CD LOAD ERROR	CDトレイが障害物などで正しく開いていません。	もう一度 **CD open/close** ▲(CD取り出し)を押してトレイを閉じてから障害物を取り除いてください。
UNFINALIZE	ファイナライズされていないCD-R/CD-RWのディスクを演奏しようとしている。	ファイナライズされたディスクをお使いください。

MDの技術解説

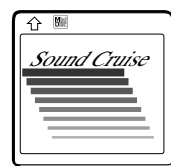
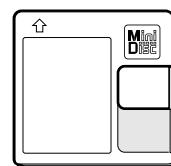
MD(ミニディスク)は直径 64 mm のディスクを使ったデジタルオーディオメディアです。

カートリッジのはたらき

カートリッジの大きさは、68 mm × 72 mm、厚さ 5 mm のポケットサイズです。この中に直径 64 mm のディスクが収められていますので、持ち運びや収納がとても便利です。また、中のディスクは、カートリッジ部およびシャッターによって保護されているために、ほこりやゴミ、キズや指紋をつけることもありません。取り扱いが便利です。

2 種類のディスク

MD(ミニディスク)には、録音できる「録音用 MD 」と再生のみできる「再生専用 MD 」の2種類のディスクがあります。どちらのディスクもレーザー光を照射しその反射によって信号を読み取る方式ですが、記録のしかたが異なります。

再生専用 MD

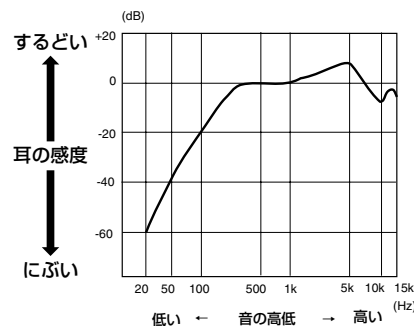
市販の MD(ミニディスク)ソフトに使用されているタイプで、録音はできません。CD 同様ピットと呼ばれる小さなくぼみの有無でデータが記録されています。このような記録方式のディスクを「光ディスク」と呼びます。

録音用 MD

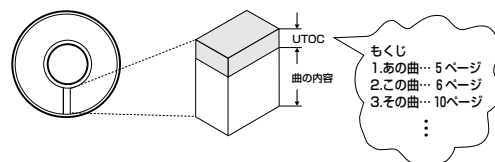
録音用 MD(ミニディスク)で、何度も録音ができるように、磁気を利用してデータを記録します。このような記録方式のディスクを「光磁気 (MO：Magneto-Optical)ディスク」と呼びます。

再生専用MD

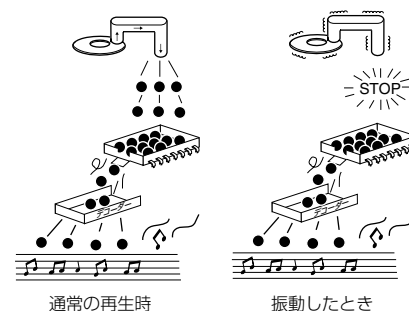
録音用MD

ATRAC (Adaptive TRansform Acoustic Coding)

MD(ミニディスク)は、従来の CD の約半分のサイズですが CD と同等の時間記録することができます。それは、新しく開発された「音声圧縮技術 (ATRAC)」により可能になりました。「音声圧縮技術 (ATRAC)」では、聴感上聞こえない音の成分をカットすることでデータを小さく圧縮しています。 この技術により、記録するデータを元のデータの約 1/5 の量にすることができ、長時間のステレオ録音 / 再生を可能にしました。さらに ATRAC3 の場合、LP2 で元のデータの約 1/10、LP4 で約 1/20 に圧縮しステレオ長時間録音を可能にしています。

UTOC (User Table Of Contents)

録音用 MD(ミニディスク)には、曲の内容とは別に、「目次 (UTOC)」データが収録されています。これには各曲が記録されている位置、曲の区切り、曲順などが記録されていて、この目次を見ることで、頭出しなどが素早くできます。また、編集のときは、この「目次(UTOC)」を変更するだけで、曲の内容を録音し直す必要がありません。

音飛びガードメモリー

MD(ミニディスク)を再生する場合、振動で音が飛ばないように、再生する曲のデータをメモリーにいったん蓄えておく機能があります。これを「音飛びガードメモリー」と呼び、振動でディスクの信号が光レーザーで読み取れなかった場合、「音飛びガードメモリー」のデータが補完することによって、実際に聞こえる音が途切れたりしません。

通常の再生時　振動したとき

MDの制約について

MDは、従来のカセットテープやDATとは異なる独自の方式で情報を記録しています。このMDの記録方式にはいくつかの制約があるため、次のような症状になることがあります。これらは製品の故障ではありませんので、ご了承ください。

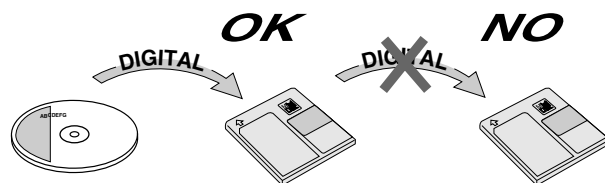
症　状	原　因
MDに示された収録可能時間を使い切っていないのに「DISC FULL」が表示される。	MDは時間に関係なく、録音できる曲数(トラック数)に制限があります。曲(トラック)番号が255以上になる録音はできません。 （録音可能な最大トラック数は254曲まで）
曲番号にも収録可能時間にも余裕があるのに「DISC FULL」が表示される。	部分的に消して録音し直す操作をくり返すと、ディスクのあちらこちらに空き部分ができます。このような録音をしたMDには、１曲のデータが空き部分に細かく分けて記録されます。録音中、分けられた部分が多くなると「DISC FULL」が表示されることがあります。 分けられて8秒以下の部分ができると、その曲は、「JOIN」でつなげることはできません。 また、その部分は消しても残り時間は増えません。 細かく分けて記録されている曲は、早送りや早戻しすると音が途切れることがあります。 また、MDLP規格による録音モードが異なる曲は、「JOIN」でつなげることができません。
「JOIN」機能が使えない。	
曲を消しても残り時間が増えない。	
早送り、早戻しをすると、音が途切れることがある。	
録音した時間と残り時間を足しても、MDに表示された収録可能時間にならない。	MDは、最低でも12秒間(SP：標準モード時)の連続したスペースがないと録音できません。そのため、短かい空き部分のたくさんできたMDは、実際に録音できる時間は、短かくなります。

MDは、CDのクリアな音をデジタル録音することができます。ただし、こうして録音されたMDを他のMDに再びデジタル信号のまま他の機器でコピーすることはできないようになっています。つまり、「コピーのコピー」をつくることはできません。この決まりをSCMS(シリアル･コピー･マネージメント･システム)といいます。
本機は、この決まりに準拠して設計されています。

SCMS (Serial Copy Management System)

シリアル・コピー・マネージメント・システムとは、著作権保護のため、デジタルオーディオ機器間でデジタル信号のままコピーできるのは１世代だけと規定したものです。

あなたがラジオ放送やCD、テープなどから録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。

私的録音補償金についてのお問い合わせ先：
社団法人　私的録音補償金管理協会
☎ 03−5353−0336（代）

ご注意
この規定により、１度デジタル録音されたMDからは、他の機器へデジタル録音することはできません。

倍速録音に関して（HCMS）

録音用MD(ミニディスク)は等速を超えるスピードで録音(コピー)することが可能です。このため著作権を保護するための規制が必要になります。
本機では、CDから一度倍速録音した曲は、その曲の録音開始から74分が経過しないと、その曲の二度目の録音はできません。
例えば、CDの1曲目を倍速録音した場合、倍速録音が開始してから74分間は、そのCDの1曲目を再びMDに倍速および等速（ノーマルスピード）で録音することはできません。

CD、MD、テープの取り扱いについて

CDの取り扱いかた

• ケースからの出し入れ

① センターホルダーを押さえ

② 演奏面（虹色に光っている面）に触れないように持って出す。

① 文字のある面を上にして…

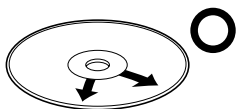
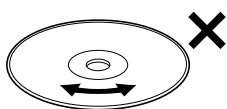
② 上から押さえて入れる。

• CDにテープやシールなどを張ったり、字を書いたりしないでください。
• CDは曲げないでください。

• 文字のある面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO 、 COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable または COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable のいずれかのマークが入っているCDをお使いください。DVDやビデオCDは再生できません。

• ハートや花などの形をしたシェイプCD（特殊形状のCD）は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。

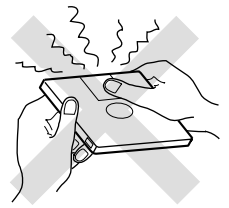
CDのお手入れ

演奏する前に、演奏面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。
必ず内側から外側にふいてください。

必ず内側から外側へ

連続したキズは音飛びの原因となります。

• シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。

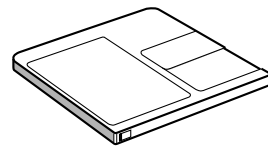
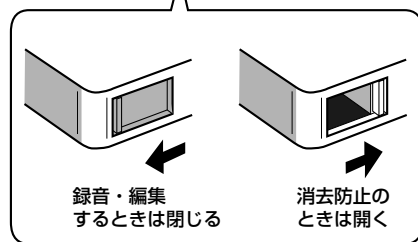
MDの取り扱いかた

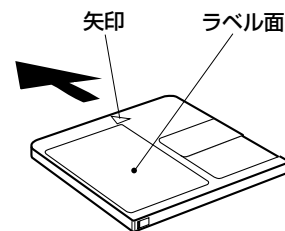
シャッターは開けないで

シャッターは開かないようにロックされています。
無理に開けようとするとディスクがこわれます。

定期的にお手入れを

カートリッジにほこりやゴミがついたときは、乾いたやわらかい布でふき取ってください。

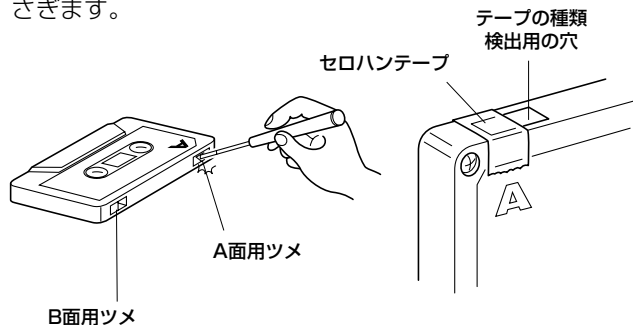
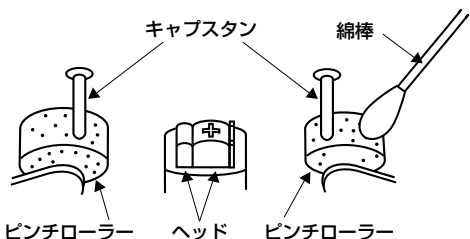
大切な録音を消さないために

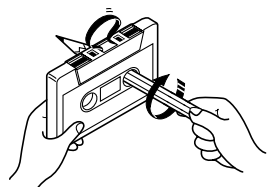
録音用MDには、大切な録音を間違って消さないための、誤消去防止つまみがついています。録音や編集が終わったら、カートリッジ側面の誤消去防止つまみをスライドさせ開いた状態にしておきます。新しく録音や編集をしなおすことができなくなります。録音や編集をしなおすときは、閉じた状態に戻してください。

お知らせ

• 曲名などを記入したラベルは、指定以外の位置に張らないでください。万一、ラベルエリアよりはみ出したり、はがれかかったままMDを挿入すると、故障の原因となります。
• MDは ⇨ や ▻ などの矢印に従って正しく入れてください。間違った方向で挿入すると、故障の原因となります。

CD、MD、テープの取り扱いについて (つづき)

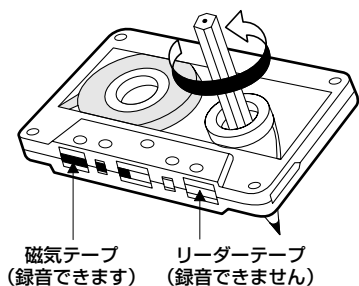
大切な録音を消さないために

カセットテープには誤消去防止用のツメ(タブ)がついています。

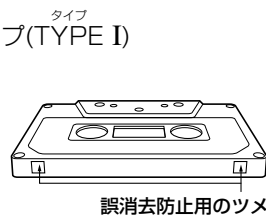
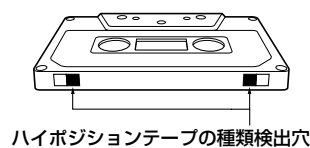
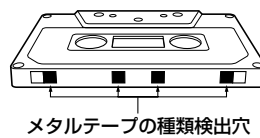
- ツメを折っておくと録音(消去)ができなくなり、誤って消してしまうことが防げます。
- 再び録音したいときはツメの穴をセロハンテープなどでふさぎます。

- ヘッド部の清掃
  音が小さくなったり音質が悪くなる前に、およそ10時間使うごとにヘッドやピンチローラー、キャプスタンを清掃します。

  市販のクリーニングキット(綿棒とクリーニング液)を使うと便利です。

- テープにたるみがありますと、機械に巻き込まれたり、故障の原因になります。使用する前に右図のようにしてたるみを取り除いてください。また、テープを引き出したり、テープ面に触れないでください。

お知らせ

リーダーテープについて

テープの始まりと終わりには、録音できない部分(リーダーテープ)があります。録音する前にこのリーダーテープの部分を巻き取っておきましょう。

カセットテープの種類検出穴について

本機は、オートテープセレクト方式になっていますのでテープの種類は自動的に判別されます。

- ノーマルテープ(TYPE I)

- ハイポジションテープ(TYPE II)
  再生に限り使用できます。

- メタルテープ(TYPE IV)
  再生に限り使用できます。

本体表面のお手入れ

- キャビネット表面の汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。

- キャビネットが変質したり、塗料がはげることがありますので、シンナーやベンジンでふかないでください。また、殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。

故障かな？と思う前に

修理を依頼する前に、ちょっとお確かめください。

症　状	原　因	処　置	参照ページ
音が出ない。	接続をまちがえている。	「準備と接続」のページをご覧になり、正しく接続する。	13
	ヘッドホンがつながれている。	ヘッドホンのプラグを抜く。	—
時刻表示が点滅している。	停電または、電源コードを抜いていたため。	時計を合わせ直す。	16
CD/MDの演奏が始まらない。	CD/MDが裏返しに入っている。	文字のある面が上になるように正しく入れる。	23 28
	レンズが結露している。	電源を「入」にしたまま1～2時間待ち、乾いてから使う。	7
特定の箇所が正常に演奏できない。	CDに傷や汚れがある。 MDにエラーが発生した。	CD/MDをクリーニングするか、または交換する。 MDを録音し直す。	65
入れたMDが出てきてしまう。	MDの入れ方が不完全なため。 すでにMDが入っている。	本体に水平な状態にして、軽くMDを押して入れ直す。 MDを取り出してから操作する。	23
MD/テープの録音ができない。	誤消去防止状態になっている。	MDの誤消去防止つまみを閉じる。 テープの誤消去防止用ツメをセロハンテープなどでふさぐ。	65 66
テープの再生音が小さい。	ヘッドやキャプスタンが汚れている。	ヘッドやキャプスタンを清掃する。	66
雑音が多くて、放送がうまく受信できない。	アンテナの接続・設置が悪い。	アンテナの接続・設置をし直す。	12
ブーンという雑音がでる。	テレビやOA機器がそばにある。	テレビやOA機器などから離す。	7
タイマーがうまく働かない。	現在時刻が正しく合っていない。	正しい時刻に設定し直す。	16
	タイマーが解除されている。	タイマー表示 ⏲ を確認して、設定し直す。	57～61
リモコンが操作できない。	リモコンの電池が消耗している。	新しい乾電池(単3形)と交換する。	11
	リモコン受光部に直射日光などの強い光が当たっている。	直射日光やけい光灯などの強い光が当たらないところで操作する。	—

- 上記の処置をしても正しく動作しないときは
  本機はマイコンの働きで多くの動作を行っております。万一、どのボタンを押してもうまく動作しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、しばらく待ってからつなぎ直してください。そのあと、時計とタイマーを合わせ直してください。

お願い

- 本機の故障または不測の事態により、録音・再生およびCD/MDの演奏などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

保証とアフターサービス

保　証　書（別添）

保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りください。「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、記載内容をよくお読みの後、大切に保管しておいてください。

保　証　期　間

お買い上げの日から１年間

補修用性能部品の最低保有期間

マイクロコンポーネントMDシステムの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後８年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、**お買い上げの販売店**または69ページの**「ビクターサービス窓口案内」**をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　　出張修理

67ページの**「故障かな?と思う前に」**に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは使用を中止し、**お買い上げの販売店**に修理をご依頼ください。このとき不具合が発生したディスクなどのメディアも、一緒にご用意ください。

保　証　期　間　中　は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、お客様のご要望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　名	マイクロコンポーネントMDシステム
型　名	UX-F70MD-C　UX-F70MD-S UX-F70MD-W　UX-NDL21-S
お買い上げ	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も併せてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

便利メモ	お買い上げ店名	☎（　　）　－

修　理　料　金　の　仕　組　み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

＋

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

ビクターサービス窓口案内 (ビクターサービスエンジニアリング株式会社)

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
北海道				
北海道	札幌 S.C.	(011)898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1-2-29
	旭川 S.C.	(0166)61-3659	070-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北見 S.S.	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧路 S.S.	(0154)24-0797	080-0005	釧路市松浦町3番3号
	帯広 S.S.	(0155)24-4493	080-0806	帯広市東六条南12-11
	函館 S.S.	(0138)52-5324	040-0001	函館市五稜郭町4-16函館あおば生命ビル1F
東北				
青森	青森 S.C.	(017)723-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八戸 S.S.	(0178)44-4521	031-0804	八戸市青葉2-21-2
	弘前 S.S.	(0172)28-0165	036-8084	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡 S.C.	(019)637-0121	020-0835	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢 S.S.	(0197)22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田 S.C.	(018)824-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
	大館 S.S.	(0186)43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
	横手 S.S.	(0182)32-8873	013-0064	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台 S.C.	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石巻 S.S.	(0225)94-7711	986-0853	石巻市門脇字四番谷地8-18
山形	山形 S.C.	(023)642-0279	990-2412	山形市松山3-12-18
	酒田 S.S.	(0234)26-7145	998-0842	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山 S.C.	(024)952-6331	963-0205	郡山市堤1-3
	いわき S.S.	(0246)28-4991	970-8034	いわき市平上荒川字桜町19-4
	会津若松 S.S.	(0242)38-1355	965-0831	会津若松市表町1-44ハイツシンフォニー101
	福島 S.S.	(024)553-9437	960-0103	福島市本内字南原26-1
関東・甲信越				
新潟	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(025)241-4003	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	新潟 S.C.	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19
	長岡 S.S.	(0258)24-8391	940-0012	長岡市下下条2-1366-1
	上越 S.S.	(0255)45-1734	942-0081	上越市五智1-11
長野	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(026)221-7607	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	長野 S.C.	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
	松本 S.S.	(0263)25-9165	390-0828	松本市庄内2-4-21
群馬	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(027)255-5982	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	前橋 S.C	(027)255-5921	371-0854	前橋市大渡町1-19-1
栃木	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(028)635-2938	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	宇都宮 S.C	(028)638-1639	321-0953	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	土浦 S.C.	(0298)21-8756	300-0813	土浦市富士崎1-10-1
	水戸 S.S.	(029)246-1560	310-0836	水戸市元吉田町1077
山梨	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(055)227-5773	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	甲府 S.S.	(055)237-4016	400-0864	甲府市湯田2-11-5
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	千葉 S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
	柏 S.C.	(0471)75-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
	浦安 S.S.	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	本郷 S.C.	(03)5684-8254	113-0033	文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	秋葉原 S.S	(03)3251-2128	101-0021	千代田区外神田1-6-6
	練馬 S.C.	(03)3993-7520	176-0014	練馬区豊玉南1-19-1
	大田 S.C.	(03)3727-9385	145-0062	大田区北千束2-20-6
	八王子 S.C.	(0426)46-6914	192-0045	八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	首都圏メンテナンスセンター	(03)3874-5231	110-0003	台東区根岸5-4-3
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大宮 S.C.	(048)654-5241	330-0037	さいたま市東大成町2-658-1
	熊谷 S.S.	(048)553-5105	361-0057	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	横浜 S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区翁町1-3-1
	横須賀 S.S.	(0468)34-9261	239-0831	横須賀市久里浜6-4-1
	川崎 S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル）
	平塚 S.C.	(0463)36-2160	254-0065	平塚市南原2-4-5
	相模原 S.C	(042)776-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4
東海・北陸				
静岡	静岡 S.C.	(054)282-4141	422-8006	静岡市曲金6-5-28
	沼津 S.S.	(0559)22-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
	浜松 S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785
愛知	名古屋 S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河 S.C.	(0564)26-1005	444-2133	岡崎市井ノ口町字河原西31-1
	豊橋 S.S.	(0532)64-0815	440-0853	豊橋市佐藤5-19-1
岐阜	岐阜 S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重 S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
	津 S.S.	(059)229-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
富山	富山 S.C.	(076)425-2397	939-8211	富山市二口町四丁目1-3
石川	金沢 S.C.	(076)269-4821	921-8062	金沢市新保本四丁目65-17
福井	福井 S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西開発3-211
近畿				
滋賀	滋賀 S.S.	(077)582-5812	524-0033	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	京都 S.C.	(075)644-0247	612-8401	京都市伏見区深草下川原町31-1
京都北部	福知山 S.S.	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	奈良 S.S.	(0744)24-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	大阪南 S.C.	(06)6768-5489	543-0028	大阪市天王寺区小橋町10-16
	堺 S.C.	(0722)54-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	大阪メンテナンスセンター	(06)6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山 S.S.	(073)472-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
	田辺 S.S.	(0739)22-9976	646-0031	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	神戸 S.C.	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫路 S.S.	(0792)34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1
中国				
岡山	岡山 S.C.	(086)243-1566	700-0927	岡山市西古松西町8-23
広島	広島 S.C.	(082)243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
	福山 S.S.	(0849)31-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口 S.C.	(083)973-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳山 S.S.	(0834)27-1331	745-0042	徳山市野上町2-35
	下関 S.S.	(0832)51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
島根	山陰ビクター販売(株) サービスセンター (松江・米子担当)	(0852)31-8900	690-0823	松江市学園1-16-39
	出雲営業所サービス係	(0853)21-4611	693-0001	出雲市今市町854
	浜田営業所サービス係	(0855)22-1584	697-0023	浜田市長沢町671-1
鳥取	鳥取営業所サービス係	(0857)23-2151	680-0911	鳥取市千代水1丁目22-1
四国				
香川	高松 S.C.	(087)866-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳島	徳島 S.C.	(088)622-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高知	高知 S.S.	(088)882-0546	780-8122	高知市高須新町4-143
愛媛	松山 S.C.	(089)923-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
	宇和島 S.S.	(0895)20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40
	新居浜 S.S.	(0897)67-1030	792-0881	新居浜市松神子2-2-25
九州・沖縄				
福岡	福岡 S.C.	(092)-431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米 S.S	(0942)-39-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州 S.C.	(093)921-3981	802-0065	北九州市小倉北区三萩野2-9-3
長崎	長崎 S.C.	(095)862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保 S.S	(0956)33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大分	大分 S.S.	(097)543-1422	870-0882	大分市大道町4-1-2
熊本	熊本 S.C.	(096)353-4536	861-4101	熊本市近見町8-1-10
宮崎	宮崎 S.S.	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59
	延岡 S.S	(0982)35-7707	882-0857	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島 S.C.	(099)282-8818	890-0034	鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	沖縄 S.C.	(098)898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。　0501

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。

主な仕様 —本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。—

■ MD/CD レシーバー （CA-UXF70MD/CA-UXNDL21）

アンプ部

実用最大出力	15 W＋15 W (EIAJ/ 4 Ω)
入力端子	LINE×1系統、500 mV/47 kΩ
出力端子	スピーカー×1系統、15 W/4 Ω 適合インピーダンス 4 Ω〜16 Ω ヘッドホン(×1)、15 mW/32 Ω 適合インピーダンス 16 Ω〜1 kΩ

チューナー部

受信周波数	FM : 76.0〜108.0 MHz AM : 531〜1,629 kHz
アンテナ	FM : 75 Ω不平衡型 AM : ループアンテナ

タイマー部

タイマー形式	1日2動作 (DAILY、REC)
スリープタイマー	10、20、30、60、90、120分 (オートディマー)
時刻表示	24時間表示

CDプレーヤー部

形式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
サンプリング周波数	44.1 kHz
チャンネル数	2チャンネル・ステレオ
周波数特性	20 Hz〜20 kHz

MDレコーダー部

形式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
記録方式	磁界変調オーバーライト方式
録音再生時間 (MD80使用)	録音モードＳＰ : 80分 録音モードＬＰ2 : 160分 録音モードＬＰ4 : 320分
サンプリング周波数	44.1kHz
音声圧縮方式	ATRAC/ATRAC3(MDLP)方式
チャンネル数	2チャンネル・ステレオ
周波数特性	20 Hz〜20 kHz

カセットデッキ部

形式	コンパクトカセットステレオ
録音方式	交流バイアス
消去方式	交流消去
ヘッド	消去（2ギャップフェライト） 録音･再生（ハードパーマロイ） ｝コンビネーション×1
早巻き時間	約200秒（C-60）
周波数範囲	60 Hz〜15 kHz (メタル/ハイポジションテープ、再生のみ) 60 Hz〜14 kHz (ノーマルテープ)

共通部

最大外形寸法	幅 165 mm × 高さ 203 mm × 奥行 330 mm
質量	約 5 kg

■スピーカー （SP-UXF70MD/SP-UXNDL21）：1 本当たり

スピーカー部

形式	2ウェイバスレフ型
使用スピーカー	低音用 ： 10 cm 丸形 ×1 中高音用 ： 4 cm 丸形 ×1
定格入力	5 W（JIS）
最大入力	20 W (JIS)
定格インピーダンス	4 Ω
再生周波数帯域	50 Hz〜20 kHz
出力音圧レベル	85 dB/W・m
最大外形寸法	幅 140 mm × 高さ 200 mm × 奥行 249 mm
質量	約 2 kg（1本）

■マイクロコンポーネント MD システム （UX-F70MD/UX-NDL21）

総 合

電源電圧	AC 100V(50 Hz/60 Hz共用)
消費電力	電源「入」時 50 W 電源「切」時 0.9 W
最大外形寸法	幅 455 mm × 高さ 203 mm × 奥行 330 mm (付属のスペーサーを含む)
質量	約 9 kg

• EIAJは日本電子機械工業会規格に定められた測定方法による数値です。
• 本機は、ドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

付属品（➡ 7 ページ参照）

- 電源コード 1
- AMループアンテナ 1
- FM簡易型アンテナ 1
- リモコン（RM-SUXF70MD-W） 1
- 単3形乾電池（リモコン動作確認用） 2
- スペーサー 2

別売りアクセサリー

- CD レンズクリーナー : CL-CDL
- MD レンズクリーナー : CL-ML
- 変換器 : VZ-71A
- 電源コード : CN-325A (1.8 m)
- RCA ピンコード : CN-180G (1 m)
- レコードプレーヤー : AL-E350
- フォノイコライザー : AC-S100J

別売りアクセサリーは、お買い上げの販売店でお求めください。

用語索引

ボタンについては、8～10ページの「各部の名前と働き」をご覧ください。

ご相談や修理は

製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング株式会社**	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 **お客様ご相談センター**
69 ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	**東京 ☎(03) 5684-9311** 〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル **大阪 ☎(06) 6765-4161** 〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

ビクターホームページ　http://www.jvc-victor.co.jp/

パーソナル＆モビールネットワークビジネスユニット
〒371-8543　前橋市大渡町一丁目10番地の1　☎ダイヤルイン（027）254-8952

0401MWMMDWJEM